令和4年度

地域と共にある学校づくり 実 践 事 例 集

一 下 伊 那 地 区 一













長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課 南信教育事務所飯田事務所 目 次

小	学 校			
<飯田市>				
〇 丸山小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1	<豊丘村>	
○ 追手町小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2	○ 豊丘南小 ····································	40
○ 浜井場小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3	○ 豊丘北小 ····································	41
○ 座光寺小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4	<大鹿村>	
○ 松尾小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5	○ 大鹿小 •••••••	42
○ 下久堅小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6		
○ 三穂小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	7	中学校	
○ 伊賀良小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	8	<飯田市>	
〇 山本小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	9	○ 飯田西中 •••••••	43
○ 竜丘小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	10	○ 飯田東中 •••••••	44
○ 川路小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	11	○ 旭ヶ丘中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
〇 千代小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	12	○ 緑ヶ丘中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
〇 千栄小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	13	○ 竜峡中 •••••••	47
○ 龍江小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	14	○ 竜東中 •••••••	48
○ 上久堅小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	15	○ 鼎中 •••••••	49
○ 鼎小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	16	○ 高陵中 •••••••	50
○ 上郷小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	17	○ 遠山中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
〇 上村小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	18	<松川町>	
〇 和田小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	19	○ 松川中 •••••••	52
<松川町>			<高森町>	
〇 松川中央	小	20	○ 高森中 •••••••	53
〇 松川北小	• • • • • • • • • •	21	<阿南町>	
<高森町>			○ 阿南第一中 ・・・・・・・・・	54
○ 高森北小	• • • • • • • • • •	22	○ 阿南第二中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55
○ 高森南小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	23	<阿智村>	
<阿南町>			○ 阿智中 ••••••••	56
〇 大下条小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	24	<下條村>	
〇 和合小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	25	○ 下條中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	57
○ 新野小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	26	<売木村>	
○ 富草小	• • • • • • • • • •	27	○ 売木中 •••••••	58
<阿智村>			<天龍村>	
○ 阿智第一	小	28	○ 天龍中 ••••••••	59
○ 阿智第二	小	29	<泰阜村>	
○ 阿智第三	小	30	○ 泰阜中 •••••••	60
○ 清内路小	• • • • • • • • •	31	<喬木村>	
○ 浪合小	• • • • • • • • • •	32	○ 喬木中 •••••••	61
<平谷村>			<豊丘村>	
〇 平谷小	• • • • • • • • • •	33	○ 豊丘中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
<下條村>			<大鹿村>	
○ 下條小	• • • • • • • • • •	34	○ 大鹿中 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	63
<売木村>				
○ 売木小	• • • • • • • • • •	35	義 務 教 育 学 校	
<天龍村>			<根羽村>	
○ 天龍小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	36	○ 根羽学園 ·········	64
<泰阜村>				
○ 泰阜小	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	37	特別支援学校	
<喬木村>			○ 飯田養護 · · · · · · · · ·	65
○ 喬木第一	<i>بار</i> ر	38		
○ 喬木第二	//\	39		

学	交σ	概要	学校名	飯日	日市	7	と丸!	山力	`		学校	2 <u>1</u>	学校長	中	原秀	樹			児童:	生徒数	457	名
						「뇃	域と	共	こある	学校	きづくり	\J^	向けた	:仕	組につ	いいて	7					
				学校選	置営に	-必要な支	援に係	ƙa	協議の	場					ボラ	ランテ	ーィアの組織化(は	也域的	学校協作	動本部)	について	
運営	全委	昌会(信	言州型コミュ	ニティ	・スクー	ール)			会議	の委	委員構	戊			0	ボラ	ンティアのリストカ	がある				
Ų.	14.	A (II	3/II L - \ -	/-1	<i></i>	/-/	市町	村	教委		自治	台会	代表	\circ	0	ボラ	ンティアの団体だ	がある	(組織	化されて	こいる)	
224-1-	eræ.	₩.₩.₩	人 (一) -	_=.	h	7.)	公民	館	代表	\circ			大表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会	於ある		
			会(コミュニ			地			ーターや 動推進員			· 教理 :校職	質以外の 関員			ボラ	ンティアの方を対	対象と	した研	修会がる	ある	
		いかさ 飯田西	ごしの子ら i由)	うを育	てる会	. , , , = , .			2121				名を記入		学校と	カイ かんかん なんかん かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう おいま おいま かんしゅう おいま かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅん かんしゅ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	する様々な団体					
名	.,	以山口	1.1.)			2	分公民	館:	E事 各	公臣	え館ま7	っつ	くり委員	Į	や地域	との	連携調整を行う	地域=	コーディネ	- <i>9</i> -	3	人
称																	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		学校協			
															ħ	の人	数を記入)	委員	推員(表 会の委	嘱を		人
						回5月11日		第	第2回7月	月11	日(月))			中心的	オペコ	ーディネーター		受けた者			
	議			1/2	第3回	回2月9日(7	木)										リストより選択)	公民	館職員(公民館長	長・公民館 🗄	主事)
1	催数		3 回開)催日 予定)													(その他を選択し	八日	是館主	車		
																	・役職を記入)		工品。	7		
					営委	長員会また	:は学	校:	運営協	議会	会の協	議	内容及	.Ωŧ	也域と	協働	した活動状況	兄				
学杯	>数:	育 月標	○やさしい○かんが		:																	
, 1	.,,,	13 17 181	○たくまし	ハ子																		
地域	と共	有され								ける	子											
	□ ではいって																					
雷官	□ 世界を力:たくましい心体の子、役立つ自分を感じる子 ■営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) ・ 地域と協働した活動状況 ・ 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ・ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □																					
Н	□ ○確かな学力:自ら学ぶ子、基礎学力を身につける子 □ 豊かな人間性:相手の思いに寄り添う子 □ ・															П						
1	□ ②豊かな人間性:相手の思いに寄り添う子 「育てたい子ど」 「健康体力:たくましい心体の子、役立つ自分を感じる子 「型営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ □ 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																					
2	育てたい子どもの姿																					
3	地填	或の実	情や課題	質につ	いて	<u>.</u>					0	2	地域のできて			題に	ついて学校とは	ドラン	/ティア	で、情	報共有	0
4	子と	ぎもにと	ごんな地は	或貢南	けがっ	できるかに	つい	T			0	3	ボラン	テイ	アの方の		場所や交流ス 目的で使用する					0
H																			ボランテ	イア	約50	人
5	教耶	戦員の	任用に関	する	一般	的な要望	につい	17				4	協働活人数	5動	に参力		たボランティア	~ F	登録者	工 、		
													八奴						参加者 人数	1	00以上	: 人
		登下	校の見守	: ŋ	0	読み聞か	せ	0	児童会	₹、生	上徒会	0	クラフ	、音	『活動	\circ	給食			休み		
	Ī		清掃			ICT			学習ポ	デラン	ケィア			りな。 間支	学習の :揺	0	コロナウィルスネ の消毒・清掃			放課後 体験:		0
地	ļ		目・長期休業			也域の伝統文		\bigcirc	子ども:				防災学			\circ	遠足•登山		0 +	ャリア教	(育(職場	
均学			斗·体験学習 人権教育	Ĩ		継承に係る活 国際理角				託児	連携								+	体験を	古む)	
学校協	:	学	CTEAN H	400	-	国际在方	+					112	Ballia I	T UT U	10000	Н			_		M	811
協働	1	校																				
汪	i	家庭		// 0	1/1								3			4			1	3-1		
動の)	地域	THE STATE OF THE PARTY OF THE P							Ā		[-J.			1					TY		
概		協		T		1					-	-		1		•				18 =	+J	1
要	•	働し								1	3	-					A n	1				S.
		た 取			2	3//	84					1			3		MIN			9		
		組 例	青空ス	ベクー	ル (有])						の時間				かざる	こし	タイム	(木曜	月)	
				(E	の写	ー 直の3つの	野りい名						動の取組 を選択し			力容	を教えてくださ	(N)				

○本校では、各学年の生活科や総合的な学習の時間で地域のボランティアの方々が講師となって関わっていただいており、野菜作り・米作り・ 地域のお祭りと花火について・地域の防災・地域に伝わる獅子舞などたくさんの活動を実施している。

○今年度の3年生は、運動会で踊る獅子舞を2つの地域の「獅子舞保存会」の方から、歴史や獅子舞の種類等の説明をお聞きすることができ 学ぶことができた。その後、「羽場獅子と東野大獅子」 の舞を実際に見ることができ、「足が大きく開いていてかっこよかった」「頭が左右大きく まわっていた」「動きのスピードが一緒、第二本物に触れたがに、自分たちの動きを振り返ることができた。

まわっていた」「動きのスピードが一緒」等、本物に触れながら、自分たちの動きを振り返ることができた。 ○自分たちが練習してきた舞を保存会の方に見ていただき、アドバイスをもらったり、保存会の方々が自分の舞を一緒に踊ってくださり、生き生きとした表情で活動する様子がみられました。地域の方からいただいたアドバイスを意識しながら舞う子どもたち。自己を振り返り、更に成長していく姿があり、地域の伝統獅子舞を引き継いでいきたい子どもたちの思いも多く見られました。地域の方の力、影響は大きいです。ありがたいです。

学校の概要 学校名 飯田市	立 追手町小 学	学校長 曽	我 佳伸	児童生徒数 138 名
	「地域と共にある学校づ	くり」へ向けた仕	組について	
学校運営に必要な	は支援に係る協議の場		ボランティアの組織化(地域学校協働本部)について
運営委員会(信州型コミュニティスクール)	会議の委員		○ ボランティアのリスト:	がある
		自治会代表		がある(組織化されている)
学校運営協議会(コミュニティ・スクール) (公民館代表 ○	PTA代表 〇	○ ボランティアと学校の	の情報交換会がある
	地域コーディネーターや 地域学校協働活動推進 学 員	校長・教頭以外の 学校職員	ボランティアの方を対	対象とした研修会がある
追手町小学校学校運営協議会	[その他の委員]※具体的		学校と協働する様々な団体	地域コーディネーター 1 人
名称	地域住民、ボランティア代	、	や地域との連携調整を行う コーディネーター等が学校	
称			職員以外にいるか(それぞ れの人数を記入)	地域学校協働活 動推進員(教育 委員会の委嘱を 受けた者)
5月19日(木 会議 今年度 開催数 3 回開催日) 7月7日(木) 2月1	5日(木)	中心的なコーディネーター の立場(リストより選択)	公民館職員(公民館長・公民館主事)
(予定) (予定)			具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入)	公民館主事
	または学校運営協議会の	の協議内容及び	地域と協働した活動状況	況
「信自」「愛他」 学校教育目標				
了以 投 自 1 / / / /				
地域と共有され た育てたい子 どもの姿	・愛他の精神に満ちた子ども			
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	議内容(本年度もしくは昨年)	度)	地域と協働した活	 5動状況
1 上記の「地域と共有された育てたい	・子どもの姿」について	0 244122	S. C. 177 [77 [1644] . LL	ナンしょ ケー・フル
2 学校運営への必要な支援につい [*]	7		シティアで上記「地域と共 :有されている。	付されに育くだいすども
		世域の宝	青や課題について学校とス	ボランテノアで 桂却 北右
3 地域の実情や課題について		○ 2 できている	00	0
4 子どもにどんな地域貢献ができるな	かについて		アの方の居場所や交流ス 3屋や他の目的で使用する	
5 教職員の任用に関する一般的な望	五切について	協働活動	っに参加したボランティア	ボランティア Pの 登録者人数 170 人
3 教職員の圧用に関する 原がなる	文主に ブバ・し	人数		参加者延べ 人数 150 人
登下校の見守り 〇 読み間	聞かせ ○ 児童会、生徒	会 ○ クラブ、音	『活動 ○ 給食	休み時間
清掃 ○ IC	TT 学習ボランテ	イア 総合的な 時間支		
地 土日・長期休業 地域の伝		ども 防災学習(調		, キャリア教育(職場 _
数科·体験学習	系る活動 ⁾ カフェ)との連 理解 託児	携	2/2 32/1	・ 体験を含む) ○
校	700			
協校。		7.3		
古 E 動 ·	and of			海手即小学校憩立150周年記念
の地域の	4 4			「楽」いできた思い
の概象の協働	2 2 M			
The state of the s	The second	Section 1		1011177
た 取 組 例 交通安全教室	立 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	音楽コンクール伴	表古塔 15	50周年記念事業

校内音楽会や合唱団の合唱コンクール出場にあたって、「音楽専科以外にもう1名伴奏者が必要」と課題が、ここ数年挙げられていた。本年度、年度当初学校運営協議会の中で課題を伝えたところ、公民館主事から地域の方の中で協力者(石原路子さん)を紹介していただいた。 支援者の石原さんには、始業前の合唱団の練習や音楽会に向けて低学年の練習中心に、一日数時間、週数日来校していただいた。 これまでに比べ、音楽専科以外に伴奏者がいることで、音楽専科が指揮者をすることができ、児童の歌声のバランスや合わさり具合などの指導が適切にできるようになった。 また、指揮者の求めに応じて適切に伴奏していただけることで、子どもたちにとってもより多くの練習につながっていた。 また、伴奏に合わせて気持ちよく歌うことができ、子どもたちの発表したいという意欲にもつながっていた。

学校	校の概要	学校名	飯	河市	立	浜	井場小		学校	4	学校長		-	木丁	· 潤児	₹	児	己童生徒数	118	名
					「地域と	:共1	こある	学杉	きづくり	<u></u>	向けた	:仕	組につ	いい	C					
		<u> </u>	学校運営	に必要な	支援に係	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの	組織化(地域	域学核	交協働本部	について	
海岸	·禾昌 <i>△ (l</i>	:州型コミュ	ーティフィ	7—11.)			会議	のす	委員構	戊			0	ボラ	ンティブ	ア のリストがま	つる			
世	安貝云(1)	が一型コミユ	·/1/^>	7—70)	市町	丁村	教委		自治	台会	代表	\circ		ボラ	ンティア	の団体があ	っる(糸	組織化されて	ている)	
254.1-1	··=	A (>		h) (已館付	代表	\circ	РΊ	[Af	表	0		ボラ	ンティブ	と学校の情	報交	を換会がある		
		会(コミュニ			地域一	·ディネ 協働?	ーターや 「動推進員	\circ		· 教理 :校職	頁以外の 員			ボラ	ンティア	の方を対象	きとして	た研修会が	ある	
ř	兵井場小名	学校学校追	重営協議	会			> · > 12 ·	※具	体的な	役職	名を記入		学校と	な価.	ナス样ノ	な団体地				
名					主任児民生児		~ ~ ~						や地域	との	連携調	整を行う	吸コー	ディネーター	2	人
名称					, , ,								職員以	外に		ス) ■	加推進 議員会	校協働活 員(教育 の委嘱を た者)		人
	議	今	左座 7月	13日	•								中心的 の立	なコ 場()	ーディネ リストより	ネーター 選択)		職員(公民館	長・公民館	主事)
		3 回開	催日 2月 予定)	22 FI													:民飢	官主事		
			運営	委員会	または学	≥校:	運営協	議:	会の協	議	内容及	ぴ	也域と	劦偑	しただ	5動状況				
20011	運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 「誠実にして知性に富み、健康で実践力のある子どもの育成」〜かしこく・やさしく・たくましく〜教育目標 しつくり学ぶ子思いやりのあるやさしい子本気でがんばる子と共有され																			
学校	誠実にして知性に富み、健康で実践力のある子どもの育成」〜かしこく・やさしく・たくましく〜 教育目標 と共有され てたい子ど																			
た育	「誠実にして知性に富み、健康で実践力のある子どもの育成」〜かしこく・やさしく・たくましく〜 交教育目標 或と共有され 育てたい子ど もの姿 営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○																			
運営	予定) 具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 公民館主事 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 「誠実にして知性に富み、健康で実践力のある子どもの育成」〜かしこく・やさしく・たくましく〜 交教育目標 じつくり学ぶ子 思いやりのあるやさしい子 本気でがんばる子客でかんばる子客でない子どもの姿とまたは学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」について の次」が出有された育でたい子どもの姿」が出有されている。 学校とボランティアで上記「地域と共有された育でたい子どもの姿」が出有されて介える。																			
1 _	個数														・子ども					
2	一																			0
3 ±	地域の実	情や課題	見につい	て					0	2	できて	いる	00							
4	子どもにと	んな地域	或貢献か	ぶできるか	いこつい	て				3						・交流スペ 吏用する部	屋と	の兼用で		
5 1	教職員の	任用に関	する一	般的な関	望につ	いて	-			4		舌動	に参加		とボラン	ノティアの	登	ランティア 録者人数	34	人
	•			Ţ							人数						参力 人数	加者延べ数	118	人
	登下	校の見守	b 0	読み問	引かせ	\circ	児童会	₹ 、4	上徒会				『活動	\circ		給食		休み		
	L	清掃		IC			学習ボ			0		りなり 間支	学習の :援	0		ウィルス対策 肖毒・清掃	į	放課後 体験	:教科· 学習	
地		1・長期休業 4・体験学習		地域の伝継承に係			子ども: カフェ				防災学	習(避	難訓練)		遠	足·登山		キャリア 参 体験を	育(職場	7
域学校協働活		権教育		国際				託児										11-01-0	ц о,	
校協	学 校	776	REAL PROPERTY.	-CUEUC				L		Ashini		1				T E		9	6.76	-
働	家			A A						-		_1	-		4					
古動	庭									P										
の概	地域の			行多				N		k		ı.	1					II	6	
要	協働		1		THE STATE OF THE S			7					41					8		
	し た 取			a la	100		8	*		-	1	N	1					1		
	組例	3年	書写支	援(6月3	0日)		V	はま	っ子ク	ラフ	ブ(6月~	~1:	2月)			読み聞	かせ	5月~2	月)	
							代表的	な協	動した	活!	動の取締	祖例								

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

○3年 国語(書写)「木」

- ・初めて毛筆書写に取り組む3年生が、書写の基礎を学ぶため、書写の学習ボランティアに授業支援をしていただいた。
 ・1回目の書写の時間は、担任の指導のもと、道具の準備や片付けの仕方、姿勢や筆の持ち方を確かめた。2回目の授業で学習ボランティアの方々に書き方を中心に支援していただいた。「木」を書く活動では、水黒板にお手本の文字を書き、黒板で始筆の形を確かめ、「止め」や「はらい」の基本を示していただいた。実際に児童が書く段階では、お手本を示したり、手を取ったりしながら丁寧に「木」を書くポイントを教えていた だいた。
- ・全体でポイントを示したり個別に筆の使い方を教えていただいたりしたため、児童は書いていく中で「止め」や「はらい」を意識して字形が整っ ていった。
- ・初めて毛筆書写を学ぶ子ども達の期待感に応えるように支援していただいた。

学校	交の根	既要	学校名	飯田	市	7	立 座)	光寺	小		学校	<u> </u>	学校長	塩	澤 裕.			y	己童生徒	数 23	3 名
		· ·				Γ₩	地域と	共に	ある	学校	ざくり]^	向けだ	:仕	組につ	いい	7				
			Ē	学校運営	営に必要	を支持	援に係	系る協	議の	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(均	也域学村	交協働本部	阝)につい	て
海岸	- 禾 呂	△(/⇌.	州型コミュ	/7	カ it .)				会議	の委	員構成	戈			0	ボラ	ンティアのリストカ	ぶある			
建品	安貝	云(旧)	川至コミユ	/1^	.9 — / レ)		市町	村教	委		自治	会	代表	\circ		ボラ	ンティアの団体が	ぶる(;	組織化され	にいる)	
가건 1-1	· ~= 24	.l.h.≃¥. /\	. (>		. h . a \		公民	館代	表	\circ	РΊ	Ή	代表	0		ボラ	ンティアと学校の	情報交	で換会があ	る	
子仪	(理'呂	肋護士	ミ(コミュニ	-フィ・^	クール)	11	地域コー: 地域学校協					· 教理 校職	頭以外の 戦員			ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会だ	がある	
<u>Je</u>	至光ミ	寺小学	校学校道	重営協議	義会	<u> </u>	[<i>そσ</i>	他の	委員]	※具	体的な征	殳職	名を記り		22442	l++ t=l	L-7 14 . L-17 4.				
名													児童委り 座光寺		や地域	との	する様々な団体 連携調整を行う	地域コー	ディネーター	2	人
称												シリノ	座儿寸,	X			ーター等が <u>学校</u> いろか(それぞ		校協働活		
																		委員会	の委嘱を		人
				6)	月4日(Ⅎ	_)									th. / . 6/-	1/2-	 デ / シ カ	受け	けた者)		
		1 _	一今	年度 10	月18日	(火) *)												公民館	職員(公民館	長・公民館	官主事)
10 000		3			3 10 H (/\`)									具体的な	よ役職	は(その他を選択し	八尺名	点巨, 八日	2.給子車	
																			ほ 文・ 公□	7.阳土争	-
									内容及	び	地域と	協賃	した活動状況	7							
学校	会議 開催数 (予定) 3 回 (10月18日(火) 2月16日(木) (10月18日(火) 2月16日(木) (10月18日(火) 2月16日(木) (10月18日(水)																				
于仅	運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 一人ひとりが輝き「まことごころ」にあふれる学校																				
	一人ひとりが輝き「まことごころ」にあふれる学校 学校教育目標 ○もとめる子 ○つながる子 ○きたえる子 「意気と希望と人の和で未来を拓く子」(中学校区で共有している育てたい子の姿)																				
	一人ひとりが輝き「まことごころ」にあふれる学校 学校教育目標 地域と共有され、「意気と希望と人の和で未来を拓く子」(中学校区で共有している育てたい子の姿) もの姿																				
雷党																					
	会議																				
1 _	金銭 3 日月4日 (土) 日月18日 (火) 日月18日 (火) 日月18日 (火) 日月18日 (火) 日月18日 (火) 日月18日 (火) 日月18日 (大) 日月18日																				
会議開催数 (予定) 10月18日(火)																					
3 ‡	也域の	の実情	うつ 課題	につい	いて					2				題に	ついて学校とオ	ジランラ	ティアで、	情報共			
1 -	エレゼ	とにど	ムナン抽出	北音掛:	がでキス	くカンして	~\\\`	T				2	ボラン	ティ	アの方の						
4	1 ⊂ €	3100	ひない	以只 II (/	0-666	J/J~(C	. JV ·					3	(専用)	の剖	屋や他	<u>リ</u> の [目的で使用する		ランティア		
5 #	分莊	昌の仁	日用に関	オス_	- 約分さ	再切	115-01	ハて				4	協働剂	壬動	に参加		とボランティア		録者人数	37	人
0 5	10000000000000000000000000000000000000	只小	_/II(C)	37 2	川又ロブす	、女主	(C)	,				4	人数					参	加者延べ数	70	人
		登下村	交の見守	:b C	読み	な聞か	4	0	児童会	≥ , 4	三徒会		クラフ	八音	『活動		給食		1	,時間	
	H		清掃	, ,	-	ICT		_			ティア				学習の		コロナウィルス対	策	放課	後教科・	+
ᇸ	-		長期休業	4	地域の		な化の				(こども			間支			の消毒・清掃			資学習 教育(職:	場
地 域	L	教科	体験学習		継承	こ係る	活動		カフェ	<u>.)</u> とσ	連携		防災字*	智(避	難訓練)		遠足•登山			を含む)	***
域学校協		人	権教育		国	際理角	解	\circ	i	託児	ı										
協	学校	:	TREE		人。到	14				1017	HC				V.						
働 活	家庭			VA.		449					HIRE										
動	地					1	4		نع	-			à dedicie								
の概	域の	:		ST.	74					7-17	11/7/0		3 6 1		AAA.						
要	協働				TA.					lo	2		123	W							
	した	:											14					A		*	
	取組例	1	足踏み	脱穀体	5験(10	月 25 I	日)	1	50周年	平記:	念式典で	での	人形劇_	上演	(11月12	2日)	読み聞か	せ(6	 i月より毎	月1回)
	19"		/										動の取								

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

コロナ禍の継続で地域との交流活動にも慎重にならざるを得ない面もあるが、感染状況が落ち着いてきている時期に合わせて活動を計画す るなど、昨年に比べて少しずつ活動の機会が増えてきている。

中央の写真にあるのは4年生による人形劇の発表の様子である。毎年4学年が総合的な学習で人形劇に取り組んでいるが、今年は150周年

中大の子系にの300/1634十上による人が原すくためできた。 記念式典の中で、多くの来賓を前に発表することができた。 この人形劇は、地域にあるける人形館の館長先生にご指導をいただいて創りあげたものである。人形作りや人形の動かし方、お囃子などの 演出についての指導を受け、子どもたちが考えた座光寺小学校創立150年のあゆみを題材にしたストーリーを劇に仕立てた。自治センターや 公民館の協力もうけながら地域の文化祭で発表する機会も得ることができ、表現力やコミュニケーション力、自己肯定感などの高まりにつながる 活動となった。

学	校σ	概要	学村	交名	飯田市	į	立 松	尾小	`	į	学校	2	校長	成田 純	i子			児童生徒	数 722	名
							「地域。	と共	にある	学校·	づくり		向けた	士組にて	いて	5				
					学校運営	営に必要な	支援に係	系るけ	劦議の均	易				7	ドラン	ティアの組織化(地	域学	校協働本部	3)について	
潘伯	少禾	昌 <i>스 (信</i>	洲刑	73.	ニティス	カール)			会議	の委	員構成	ţ		0	ボラ	シンティアのリストがな	ある			
Į.	3 女.	貝云(16	川王		— /1/1.))[)	市町	丁村	教委		自治	会	代表	0 0	ボラ	ンティアの団体があ	ある(糸	組織化されて	ている)	
224.4	午/生	公女芸	<u>۸</u> (· -	二, 7	h. 11) (_	え館′	代表	0		_		0 0	ボラ	シティアと学校の情	青報交	で換会がある	, ,	
					ティ・スク	Ť	地域コー地域学校	-ディネ 協働活	ベーターや 舌動推進員			教頭 交職)	以外の学 員	0	ボラ	ンティアの方を対象	象とし	た研修会が	ある	
	松尾	《小学校	を学	校運営	営協議会	2						と職:	名を記入	- 学校	レ協働	する様々な団体	11s de-12s	ーディネーター	1	1
名							地域任	氏、	主任児	重委員	貝			や地	域との	連携調整を行う	也吸口。	-7 14-9-	1	人
称															<u>ト</u> にい	かか記れ)	動推進 員会の	学校協働活 員(教育委 多属を受け た者)		人
	\ =\c					22日、7.	月13日、2	2月2	:日							ーディネーターの	その併	h		
	À議 催数		3	今 ⁴] 開	年度 催日									7	[場(リ	ストより選択)	C +> E	_		
	产定				定)											(その他を選択し ・役職を記入)	育成	会会長		
					運	堂委昌会	または	学校	運堂长	建議会	の位	送	力宓及7			した活動状況				
					まけるた	2]				7) LP30, 224	(0) () ()	LPSS I	1000		<i>UM</i> (=0.	0/2/13/17/70				
学村	文教:	育目標	考え	る子	·心豊	かなやさし	い子・じ	じよう、	ぶな子											
حاد ما دا	11. 1. 4	. / - /- 10	地垣	戊に学	び、地域	或を大事に	よする気持	寺ちを	さもつ子	ども										
		:有され :い子ど			のできる 会はざ		た垂いっ 毛り	^ 0 0 0	- 7 184											
	もの	姿	• 图	まにも:	負けす、	粘り強く治	5動に取り	り組も	プナとも	1										
運	含	員会ま	たはき	学校選	運営協議	会での協	議内容(本年	度もしく	は昨年	年度)				地均	域と協働した活動	勆状	況		
1	上記	己の「地	1域と	共有	されたす	育てたい	子どもの	姿」	につい	て	0		学校とボ	ランティ	アで	上記「地域と共有	されか	を育てたい	子どもの	
2	学村	交運営	への !	必要 7	な支援に	こついて					0	1		有されて			_,, ,,	213 (72)	, = 0 %	
3	地均	ずの実	青や詩	課題は	こつい	T					0	2	地域の気		題に [、]	ついて学校とボラ	ンテ	ィアで、情	報共有で	
1	ス.1	34.17 L	12.70	抽載	舌掛が	できるか	について	_				3	ボランテ	- ィアの方		場所や交流スペ				7
4	1 <	. 8142	ハル	地坝	貝肌が	(600)	() ()				+	ى 	用の部屋	量や他の	目的	で使用する部屋と		使用でも可 ランティア)	
5	秋旺	4日の	红田)	ア月月~	ナス一点	役的な要	切けへに	17				4	協働活	動に参り	加した	ニボランティアの		録者人数	60	人
5	4又4	戦員の	工力(וו פאף	又ロソム女。	主にフ۷	. (4	人数					:加者延べ .数	250	人
		登下	校の	見守り	0	読み	引かせ	0	児童会	会、生	徒会		クラブ、	部活動	0	給食		休み	み時間	T
	Ī		清掃	i i		IC	T		学習ポ	デン ラ	ティア	0		な学習の 支援	0	コロナウィルス対象の消毒・清掃	策		後教科・ 演学習	0
地			日・長其 斗・体懸	明休業 金学翌		地域の伝	統文化の 系る活動		子ども食	食堂(こ)との連				(避難訓練	į)	遠足•登山		キャリア	<u>教育</u> (職場 を含む)	•
垣学材材 價	<u>.</u>		· 作				理解			託児	-1/7							17-400	едв/	
杉は	2	字 校	-					•	5		The same	7	300	100		4	金克	The same	1	-
偅	j	家			FE .	-6	-		d.	1		+	生			The same of				
注	ī 1	庭							8	1	W.			6			A.	Part	9	
σ.)	地域	X				-		6	A SE						T. T.				
根要	[[協価		V	9				-		1	1	1							
	女働した																	ob i		
	粗 ミングボランティア(6月)											孟	(6 H = 0	H /		*11	+~	海針/11	H)	
	1	例		ミンジ	ヘハフン	/ 1 / (6	月丿						(6月~9			めい	رى	運動(11	カ 丿	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

松尾小学校及び松尾地区で大切にしている「あいさつの充実」と「地域とのつながり」の具現化のために、11月に6日間計画をして行っている。今年度で3回目の実施となった。参加者は松尾まちづくり委員会、PTA、各区長そして呼びかけに応じていただいた、松尾地区選出の市議会議員も来校 していただいた。

地域の方は玄関前でのぼり旗を持って登校する児童とあいさつを交わし、PTAの方は校内であいさつをする。子どもたちは、多くの方とあいさつを 交わすことができ、気持ちよく一日をスタートできている。また、地域の方も松尾の子と関わりを持つことができ、大切な機会と捉えている。

学校	の概要	学校名	飯田市	fi	立下	久雪	圣小		学校	当	校長			山口	隆志		児童生	徒数	122	名
					地域と	:共(こある	学校	づくり	٦^	向けた	:仕	組にて	いっ	C					
		ē	学校運営	に必要な	支援に係	系る	協議の	場					ボ	ランテ	ィアの組織化(均	也域学	学校協働ス	本部)に	ついて	
電骨 ラ	£昌 <i>△(信</i>	州型コミュ	ニティス	クール)			会議	の委	員構足	戊			0	ボラ	ンティアのリストカ	がある	5			
建 百分	ス 見 ス リ ス リ に り に り に り に り に り り り り り り り り り り	i川王<ユ	/1/	, ,,,,	市町	丁村	教委		自治	会	代表	\circ	0	ボラ	ンティアの団体ス	がある	(組織化	されてい	ハる)	
学 扶 、		<u>ー</u>	-ティマ	クール)〇			代表	0			表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	段交換会か	ぶある		
			·		地域学校	員		\circ	学	校職			0	ボラ	ンティアの方を対	対象と	:した研修	会があ	る	
下	久堅小	学校学校通	重営協議	会	_						名を記り		学校と	協働	する様々な団体	Hits Hoft:	ューディネータ		1	人
名称											E部長、 ランティ		や地域	との	連携調整を行う -ター等が学校	7E/9K-	- 711 7		1	人
称					代表、	ひさ	かた和	紙の	会会長	ē, f	保育園县	<u></u>	職員以	外に	ッ ザ <u>ゲイ</u> いるか(それぞ 数を記入)	動推委員	学校協働/ 生進員(教育 (会の委嘱/ そけた者)	Ĩ		人
			年度	27日 6月	13日 9	月1	7日 2)	月24日	1						ーディネーター ストより選択)			民館長・	公民館主	三事)
10 14 11																				
			運営	委員会ま	たは学	校:	運営協	議会	の協	議	内容及	びt	也域と	協賃	した活動状法	兄				
(予定) 「(予定) 具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 「実際のは、関連を制度を表し、関係を表し、となって、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、																				
字仪都	運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 『主体的に学び、思いやりを持った、心身ともにたくましい子ども』 ~久堅の大地に根っこを育む子ども~ 学校教育目標 は域と共有された音でない子どもの であるさとを愛し、豊かな心と夢に向かってたくましく生きる力を持った子どもの育成」 と育てたい子どもの姿																			
た育っ	『主体的に学び、思いやりを持った、心身ともにたくましい子ども』 ~久堅の大地に根っこを育む子ども~ を校教育目標 「ふるさとを愛し、豊かな心と夢に向かってたくましく生きる力を持った子どもの育成」 「ふるさとを愛し、豊かな心と夢に向かってたくましく生きる力を持った子どもの育成」 でもの姿 『営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) ・地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について																			
運営:	運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 『主体的に学び、思いやりを持った、心身ともにたくましい子ども』 ~久堅の大地に根っこを育む子ども~ 地域と共有された育てたい子ともの 電営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ロール域と共有された育てたい子どもの																			
	会議開催数 (予定) 4 中の立場(リストより選択) 公民館職員(公民館長・公民館 具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 連営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 事件で表すとしている。 「主体的に学び、思いやりを持った、心身ともにたくましい子ども」 ~久堅の大地に根っこを育む子ども~ 地域と共有された育てたい子どもの姿」についてというともの姿」についてというともので表す。 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」についてと対しては呼音と対してはいる。 2 学校運営への必要な支援についてというともの姿」についてと対してはいる。 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育でたい子どもの姿」が共有されている。 3 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有なできている。 1 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和についる。														7 187					
									0	1						有さ	れた育て	.72V \	たとも	0
3 地	域の実	情や課題	質につい	て					0	2				題に	ついて学校とな	ドラン	/ティアで	、情報	B 共有	0
4 子	どもにと	ごんな地域	或貢献為	ぶできるか	につい	て			0	3					場所や交流ス l的で使用する					
5 教	が職員の	任田に関	まナス―	般的な要	望につ	11.17	_			4		舌動	に参加	旧しか	こボランティア		ボランティブ 登録者人数		43	人
0 4	(1945-7-)	工/11(0)人	1, 0	/IXF3'65X	王(6)	,				_	人数						参加者延^ 人数	<	43	人
	登下	校の見守	:n O	読み聞	かせ	\bigcirc	児童会	- 生	徒会				『活動	\circ	給食	let-	· ·	木み時		
		清掃		IC.			学習ボ			0	総合印時	内なさ 間支	学習の :援	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃		0	課後教 体験学	習	
地 域		l・長期休業 l・体験学習		地域の伝統継承に係		0	子ども: カフェ				防災学	習(避	難訓練)	0	遠足·登山			リア教育 :験を含		0
地域学校協	J	権教育	0	国際理	里解		<u> </u>	託児												
は協働活動の概	字校・家庭・地域の								0											
要	協働した取組	IT W.	1 05) D W 101	44			-t-1-		#1	7		10世		7.11.		- J. J. 1	D 1/2/	Fig	
	例	以字 年	=(1•3年	手)の学習	文援		代表的				室・避難 動の取約				一	シブ	方たちと	の米付	作り	
			/ 1 -		- T-11	٠	で文的	'み 加		/白	シリンノスズオ	יייי בא 		<u></u> .						

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

・学習習慣の形成と理解度に応じた学習指導の実現のため、1年生には毎日2時間、3年生には週2日2時間ずつボランティアに来校いただい ・子音音頂の形成と理解及に応じた子音指導の美税のため、「千生には毎日2時间、3千生には週2日2時间 うつがプンティアに未受いただい て、国語と算数を中心に学習支援をお願いしている。担任と一緒に宿題やプリント類のチェックをしていただいたり、校長や教頭にその日の子 どもたちの様子を報告していただくなど、学校と緊密に連携しながら子どもの育ちを支えていただいている。「書くことが苦手な児童が心穏やか に作文に取り組めるようになった」、「相手の気持ちを考えて協力して活動に取り組んでいた」、「ボランティアさんに細かいところまで配慮してい ただけてありがたい」という担任の声があり、後述を観アンケートでも「補助的にクラスに入っていただけており、1年生の大きな支えになってい ることが心強い」という保護者の感想が寄せられた。

子どもたちもボランティアの来校を心待ちにしており、休み時間などでも楽しく談笑している。担任にとっても子どもへの接し方や指導に関して の相談相手となっており、学校に大きな力を貸していただいていることが感じられる。

学校	の概要	学校名		飯田市	立	三種	息小	学校	学	校長	神戸	真真	由美	È	児	童生徒	数 73	名
				Γ	地域と	共にある	学校	づくり]^	向けた	仕糸	且につ	いて	C				
		<u> </u>	学校運営に	必要なる	支援に係	る協議の	場					ボラ	ンテ	ィアの組織化(地均	找学 校	医協働本部	3)について	
運営	< 昌 <i>△ (信</i>	別刑コミュ	ニティスクー	- 11.		会議	の委	員構反	犮			0	ボラ	ンティアのリストがあ	る			
建西罗	ズ リ ス リ ス い に り に り に り に り に り り り り り り り り り り	1711生4、4	-/1/2	10)	市町	村教委		自治	会	代表	0	0	ボラ	ンティアの団体があ	る(組	且織化され	ている)	
225 T-F-74	5 W 14 34	A (1	,) (公民	館代表	\circ	PT	`A什	表	0	\circ	ボラ	ンティアと学校の情	報交	換会があ	る	
字仪』	E宮 筋譲	会 (コミュニ	-ティ・スクー	-111)		ディネーターや B働活動推進員	0	学校長·学	· 教頭 校職				ボラ	ンティアの方を対象	とした	た研修会が	ぶある	
名称	穂学校道	重営協議 <i>会</i>	47		公民館 まちづく 生活安 民生児	他の委員] 長 (り副会長 全委員長 童委員協 育成委員長	3 () () () () () () () () () (E任児i 保育園 元PTA	童委 長	,		や地域 コーデ 職員以	との; ィネー <u>外</u> に	連携調整を行う -ター等が <u>学校</u> いるか(それぞ 地 ************************************	域学校 加推進 :員会(では、	1	人人
会詞			第1 第2 第2 第3		22日(4	金) 土)	-				T			ーディネーター ストより選択)		た者)	· 公民館主	三事)
開催			作日 第3 7定) 第4		22日((その他を選択し・役職を記入)				
			運営委	員会ま	たは学	校運営協	議会	会の協	議	内容及(ブ地	域と	劦働	した活動状況				
学校教	女育 目標		7)	ババキィ	合う学	校校	~ <u>}</u>	シャバ		い• 思	l/\	合心	١•٠	きたえ合い。	\sim			
た育て	三穂小学校の子どもたちは、明るく大変素直です。小規模学校であり、幼いころから互いのことを知り、人間関係が安定しているため、言葉で伝えない。なくとも通じ合うこともあり、積極的に自分のことを伝えたり、表現する姿が全体的に少なくたくましさに欠けると感じています。そのため、自ら進んで様々な活動に取り組み、多様な経験を重ねる中で学び合い、思い合い、きたえ合う主体的な子どもの姿を願っています。もの姿 重営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) ・地域と協働した活動状況 ・上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																	
運営	きしました。																	
1 上	記の「地	地域と共有	すされた育	てたい	子どもの)姿」につ						された	た育てた	い子ども				
2 学	校運営	への必要	な支援に	ついて				0		- \ -								
3 地	域の実	情や課題	iについて					0	2	できてい	る。			ついて学校とボラ				\circ
4 子	どもにと	んな地域	或貢献がて	ごきるかり	こつい	C		0	3					場所や交流スペー I的で使用する部				
5 教	職員の	任用に関	する一般	的な要望	望につい	ハて			4	協働活 人数	動	こ参加	ルガ	ヒボランティアの	登鉤	旧者延べ	31 50	人人
	登下	校の見守	b 0	読み聞	かせ	〇 児童会	会、生	:徒会		クラブ、	、部	活動	\bigcirc	給食			,時間	
		清掃		ICT	,	学習は	ドラン	ティア	\bigcirc	総合的 時間	な学 引支担		\circ	コロナウィルス対策 の消毒・清掃	0	放課1 体點	後教科・ 食学習	0
地域学校協	教科	・長期休業 ・体験学習 、権教育		域の伝統 継承に係る 国際理	る活動	○ 子ども カフュ		連携	0	防災学習				遠足•登山		キャリア	教育(職場 を含む)	
校協働活動の概要	学校・家庭・地域の協働した取組例	丰万次郎:	かぼちゃの	の苗うえ	(5, 26		\$ 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35	きとめく	The state of the s	三穂(10	0, 2	22)		クラフ	活動	助(11,	2)	
						代表的	な協	働した	活動	めの取組	例							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

ふるさと三穂巡りは、学校(児童)・地域・保護者三者が共催し毎年行っている、地域の自然や文化に触れながら、地域を巡る行事です。 昨今 のコロナ禍により5年ぶりの開催実施となりました。昨年度は、これまでの実施内容では難しいとの声が上がり、3者協議の場を持ちコースの見 直しを行いました。本年度は、親子で地域の自然や文化に触れ地域の方とのコミュニケーションを大切にするなど従来の目的はそのままに、コ 直しを行いました。本年度は、親子で地域の自然や文化に触れ地域の方とのコミューケーションを入りにするなど使来の自由がよていままた、ユロナ禍でも対応できるよう新型コロナウイルス症感染対策を盛り込み、安心・安全な内容に変更して実施の方向を探ってきました。その中で、公民館主事さんが入念なコースの下見をしてくださり、地域の皆さんと子どもどもたちをつなぐ役割を担ってくださいました。細かく実施内容を検討した結果、実施時期に感染レベルが下がったこともあり、本年度は実施することができました。これまでできなかったことがようやく実施できた。 喜びと、地域の自然や文化に触れる尊い学びを、親子・地域の皆さんで経験した喜びが参加者の皆さんから伝わってきました。三穂の良さを再発見し地域の良さを改めて実感することができました。三穂を将来に渡って大切に思う気持ちを育むことにつながっていく取組であると考え ています。それと共に、地域の皆様、保護者の皆様に協力していただき3者共催で実施できたことに感謝しております。

学校	の概要	学校名		飯田	市立		伊賀良小	ト 学	校	学	校長			高	坂 徹		児童	生徒数	808	名
					「地域と	:共	にある学	校づ	くり] ^ [向けた	仕	組につ	いい	7					
		学	单校運営	に必要	な支援に	系る	協議の場						ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	域学	学校協	働本部)(こついて	
運営	:昌仝(信州型コミュニ	ニティス	クール)			会議の	(委員	構瓦	戈			0	ボラ	ンティアのリストか	ぶある)			
建白罗	マスト	.旧川王 、二	- /1/1/	, ,,,,	市町	丁村	教委		自治	会代	大表	0	0	ボラ	ンティアの団体が	ぶある	(組織	化されて	いる)	
学标语	学协	義会(コミュニ	テルフ	カー 11.)	<u> </u>	4	代表			`A代		0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会	会がある		
子仪是	≥ iii m	表云 (ユヘユー	71.7	, ,,,	100000	ディス協働に	トーターや 舌動推進員	学村		· 教頭」 校職員	以外の 員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研	修会があ	る	
					[そ	の他	の委員]※	具体的	な名	殳職 名	を記入		***** 1. 1.	d 141.	上2世、4円仕					
名					〇主信 O.J.A.5		童委員(2: 트	名)					や地域	との	連携調整を行う	地域二	ューディネ	ーター	1	人
称		笠松運営	協議会		○児童	シ	ブ館長								ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		学校協			
					〇公臣	館	主事								数を記入)	委員	能進員() (会の委	嘱を		人
			4月	28日(7	木)								rts 2, 65	1+>-	ーディネーター	5	をけた者	-)		
会訓		今年	F度 9月	10日(土	=)										リストより選択)	公民的	館職員(公民館長	•公民館主	E事)
開催		4 回開係	崔日 11/ ·定) 2月	月10日(16日(ラ	.不) 木)								具体的な	2役職	銭(その他を選択し	Λ E	1 &+ ->-			
	_,												た場合は	t立場	・役職を記入)	公日	是館主	. 尹		
			運営	委員会	または覚	₽校	運営協議	美会の)協	議内	P容及	び±	也域とt	劦偅	した活動状 源	2				
学校参	:共有され 「たい子ど 清き心と活力に満ちた「いがらっ子」の育成 知徳体のバランスのとれた人間形成																			
丁(人名	対育目標 かしこさ 思いやり 健やかさ 共有されたい子ど 清き心と活力に満ちた「いがらっ子」の育成 知徳体のバランスのとれた人間形成の姿																			
	#有された方でたい子どもの姿」について () 健やかさ 地域と協働した活動状況																			
	数育目標 かしこさ 思いやり 健やかさ は共有され にたい子ど の姿 委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 こ記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 「学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども」																			
(番号を	対育目標 かしこさ 思いやり 健やかさ 共有されたい子どもの姿」について ロックでは、対策を表している。 かしている という はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと																			
	が自標 かしこさ 思いやり 健やかさ 共有されたい子ど 清き心と活力に満ちた「いがらっ子」の育成 知徳体のバランスのとれた人間形成の姿 地域と協働した活動状況 記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」について で で で で で で で で で で で で で で で で で で で															П				
1 上	 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 教育目標 かしこさ 思いやり 健やかさ 共有されたい子ど。の姿 清き心と活力に満ちた「いがらっ子」の育成 知徳体のバランスのとれた人間形成の姿 委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 こ記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ロッシュが共有された育てたの姿」が共有されている。 														すてたい	子ども	\circ			
2 学	校運	営への必要	な支援	につい	て				\bigcirc		の 安」だ	沙天	有され	(()	'ఏ.					
3 地	域の領	実情や課題	につい	て					\bigcirc	.,				題に	ついて学校とボ	ラン	ケイブ	7で、情	報共有	\bigcirc
					2.2-				_	7			,	の居	場所や交流スイ	°	スが学	を校内に	ある。	
4 子	ともに	どんな地域	《貝献》	いできる	かについ	(\bigcirc						的で使用する	部屋	量との 🧦	兼用でも		\circ
	mbb 🖂	- 14 ED 1 EB	1	4m. / / 2			_			H	協働沒	5動	に参加	ל. ום	たボランティア		ボランテ 登録者		48	人
5 教	職員の	の任用に関	する一	般的な	要望につ	() T					人数	-1>-	(-> /		2,7,7,7,7	-	参加者		97	人
	77/4	740 P = 1		=+: ~	HH))]	_	旧本人	11.7+	^	H	2	اماد ۲) T E.	_	A A4	4	人数	/1.7 #		$\overrightarrow{\Box}$
	登	下校の見守り	U		聞かせ	\circ	児童会、			oxdot			活動	\cup	給食 コロナウィルス対	笙	\perp	休み時		Ш
		清掃			ICT		学習ボラ			\circ	総合的時	別な!		\circ	の消毒・清掃			放課後 体験引	2習	
地域		:日・長期休業 (科・体験学習			伝統文化の 二係る活動	0	子ども食むカフェ)と			1	防災学習	習(避	難訓練)		遠足•登山		0 +	ヤリア教 体験を3		
学		人権教育		1	際理解		託													
域学校協働	学 校	100	W a		Control of the second	-		line la							William				hidi	
働	家		3		1		0.0				and the same	檐	7		MINE WE				#44	
活 動	庭				1			Filtra		1	3.	4			2016	14	4	1	10 1	
の	地域			Th						-		A.				A			15	
概 要	協									1							0		76	
•	働 し た	A A	A STA	M				147									A law			
	取	7	1810) >\n\lim\1	进 (11 /15	\		TH エリ	THE	±4.	÷ (11	/			⇒± ~	7. HP	12.11	(F /OF)		_
	例	アップルロ	レードりん	かこ 収れ	隻(11/15)	代表的な				室(11				読∂	ナゴ	かせ	(5/25)		
			(FØ	写直の3	3つの取り	組み								内容	を教えてくださし	(۱,				

- ○りんご並木の基本的な管理はまちづくりのりんご愛護会が中心となり行っているが、4~6年生の児童が、アップルロードのりんご並木の除草 作業で関わらせていただいている。また、愛護会のメンバーが少なくなっていることから、PTAもりんごの手入れに関わる機会を今年度より増や している。
- ○りんごの収穫は全学年で取り組み、アップルロードの成り立ちなどの話を聞いた後、一人2個ずつ収穫させていただいた。 ○11月には国道事務所やNEXCO、まちづくり協議会に集まっていただき、りんごの収穫祭が行われた。収穫祭も今年で31回目となり、コロナ対策のため、6年生のみの参加となったが、児童による活動報告のあと、児童会長・副会長にりんごが贈呈された。 ○子どもたちは、アップルロードに限らず、様々なおかないでは、できたの方々に支えられていることを知る機会となった。また、自分が大人になったとき
- には、地域に貢献できる人になりたいといった感想を持つ児童もいた。

学	校の	概要	学	校名		飯田市	立		山本	小学	丝校	肖	校長		富田	章			児童生徒	数	237	名
							「地域と	:共(こある当	学校で	うくり	^۱	向けた	:仕	組につ	いいて						
				学	校運営	に必要な	支援に係	系る [®]	協議の均	易					ボラ	ランテ	ィアの組織化(地	域学	校協働本	部)に	ついて	,
海岸	4禾目	3 今 (相	÷ J.J.J. #F	型コミュニ	ティフ	7-11			会議	の委員	構反	戈			0	ボラ	ンティアのリストが	ある)			
理	当安县	₹ ८ (16	i //11/13	ローイエー	-/1/	7—70)	市町	[村	教委		自治	会	代表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアの団体が	ある	(組織化さ	れてい	る)	
254.1	te vers à	¥ Lh ⇒±	^ <i>(</i> -	->					代表	0	РТ	`Af	表	0	0	ボラ	ンティアと学校のケ	情報	校換会が	ある		
						ケール) (地域コー地域学校	ティネ を協働 員	活動推進	〇		· 教耳 校職	頁以外の ≹員	0	0	ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	きがあ	る	
	キツ	ズ山本	コミ:	ュニティ	ースク・	ール			の委員]※						学校と	な.働っ	する様々な団体	ut. tak				
名									代表 民 杵原学						や地域	とのi	車携調整を行う	吧攻二	ーディネーター		1	人
称							ランティ	171	代表 環										学校協働活 進員(教育			
							民館主	: 争							れ	の人		委員	:延貝(数月 会の委嘱を さけた者)			人
	۸ = ۵				1	74年5月	21日 9	月2	2日 12	2月15	日:	2月	16日				ーディネーター		館職員(公民	館長・	公民館主	:事)
	҈≹ 催数	ζ 4	1	今年 回 開催	日										の立	場(リ	ストより選択)					
(-	予定))		(予定	E)												(その他を選択し ・役職を記入)	公民	是館主事			
					運営	委員会は	たは学	校:	運営協	議会(の協	議	内容及	びナ	也域と	協働	した活動状況	2				
学は	か数さ	育目標	かし	こい子と	どもさ	わやかな	子どもう	元気	な子ども)												
Ť.	X 4X F	9 口1示																				
	型域と共有され た育てたい子 どもの姿 軍営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																					
	た育てたい子ともの容ととも、思いやりのある子ともの育成ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿																					
運	*自分で考え主体的に行動ができる子とも、思いやりのある子ともの育成ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿																					
1	*自分で考え主体的に行動ができる子とも、思いやりのある子ともの育成ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿ともの姿とは学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について																					
2	学坛	海沿	$\sim a$	い必要を	2 去 垤	について	_					1	子校との姿」だ					∃ ∂ ⁄	れた育く	こい・コ	126	0
													地域の	宝小	まや書	額に、	ついて学校とボ	ラン	ティアで	情報	3. 土有	
3	地填	の実	情さ	き課題に	こつい	7					\circ	2	できてい	ハる	0							\bigcirc
4	子と	きにと	ごんり	な地域	貢献が	ぶできるカ	につい	て			0	3					場所や交流ス〜 的で使用する	部屋	との兼用			
_	±44π;	*!早の	ИΠ	日)ヶ日日二	トフ	ᅘᄱᆉᄼᄼ	'亡月)ァ へ	.1 \~	_			4	協働活	5動	に参力	 L/	こボランティア		ボランティア 登録者人数		60	人
Э	乳事	以貝の	1土 月	月(に)約 9	9 ST	般的な要	・主につ	' '	(4	人数						参加者延べ 人数	2	200	人
		登下	校の	う見守り	0	読み聞	かせ	0	児童会	、生徒	ŧ会		クラブ	、音	『活動	\bigcirc	給食		休	み時	間	
	ľ		清	帚		IC'	Γ		学習ボ	ランテ	イア	0	総合的時	りな。 間支		\circ	コロナウィルス対	策		₹後教 験学		0
爿	1			期休業 験学習		地域の伝統継承に係		0	子ども食 カフェ)				防災学習			0	遠足•登山		キャリス		(職場	
均当材据	<u> </u>			数育		国際		0		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-174								14.4	лен	8/	
村 17	ξ -	学校	7								1	116	1 12		S. 10	`		-	-	1		_
任	Ď	· 家								F]	100	S.		-						T		
重	b l	庭								-	1			GI S				2	-			
<i>0</i> 相	,	地域の		Cont.		1902	F 150				1							-				
要	Į.	協働										K		S				10	K			
		し た	2				1						1								A	
		取	人干		校交流	i会(10月	15 FI)		-	校园	定 較	備((9月25	· 日)	\dashv	お課	後当	学習(年1	2回)		
		19]	<i>y</i> \ /						代表的	な協働	した	活!	助の取締	且例					, 11 (71	- ⊢1/		
					(上の	写真の3つ	の取り	組み	の中か	ら1つ	の活	動	を選択し	八清	動の内	内容	を教えてください	١)				

・学校運営協議会、地域、PTAと願う子ども像を共有し、今年度の活動方針を「子どもが主体的に活動に取り組む力を育む」とした。その方針

ですり、ディスとは、ドイスと願う」とも家を発育し、ディスとの活動が動き、デともが生体的に活動に取り組む力を育む」とした。その方面にもとづいて公民館が主となり学校間交流会を発案、実施した。 児童が目標にしてきた人形劇フェスタが中止になったため、新たに発表できる場となった。学校間交流会だけでなく、地域高齢者施設での人形劇の発表の場もつくっていただいた。地域の方々に人形劇を発表することで、子どもたちは思い切り表現することができ自信を得た。高齢者の方々が喜ぶ姿を見たり、一緒に会話をしたりすることで温かい交流の場となり、子どもたちは地域の一員という意識をもった。

学	校σ	概要	学	校名	1	飯	田市	立	竜	丘小		学校	2	学校長			Щ	﨑	啓		児	童生徒数	351	名
								「地域と	:共(こある:	学校	ざくり	^را	向けた	仕	組にて	いい	τ						
					学校	運営	に必要な	支援に係	系る [*]	協議の	場					ボ	ラン -	ティア	の組織化の	地域	学校	協働本部)	について	7
運	せ 季	昌会(*	信州;	型コミ	ュニテ	ィスク	'ール)			会議	の多	\$員構 _B	戊			0	ボラ	ランラ	ーィアのリスト	があ	る			
7	1 1	~~ (10711			1. /	,,,			教委				代表	0	0			イアの団体				/	
学材	☆運	党 協議	議 <i>会 (</i>	コミュ	ニティ	・スク	'ール) (\	4	代表	\circ			大表	0	0	ボ	ランラ	イアと学校	の情報	報交担	奐会がある	1	
1 1	~~	III (20) P3	αД (/ -1		/// (100000	ティネ協働活	ーターや 動推進員	\circ		· 教母: :校晴	頁以外の 関	0	0	ボ	ランラ	イアの方を	対象	とした	研修会が	ある	
									.—	12				名を記入		学校と	佐価	ナス	样ヵた 団体	Z				
名	か . r	<u>م</u> در ، م		_	. . .		J.									や地域	との	連携	調整を行う)	コーア	イネーター	1	人
称	甩工	E小子	・1父コ	ミユー	-フィー	ーヘク	ール								1	職員以	炒	こいる	5か(そ <u>れぞ</u>	. 地	或学校	で協働活		
																ħ	נ סק	人数を	記入)	委	員会の)委嘱を		人
						I										中心的	うなこ	ューラ	ディネーター			-	3 A D 64	ala salar l
			3		今年度 盟保日	4月	28日、7	月22日、	2月	10日						の立	場(リスト	より選択)	公日	ご 胆 職	貝(公氏館ま	·公氏館	土争)
			J			-,,	,,,	,,	-/•											公公	民館	主事		
				Ш	4			L				A - 14									42.0			
			471	~/					••		議	内容及	U)	地域と	協個	助し 7	た活動状	況						
学村	会議 開催数 (予定) 3 回 今年度 開催日 (予定) 4月28日、7月22日、2月10日														安									
地垣	金藤 前丘小学校コミュニティースクール (学者ボランティア)、公民館主事 (学習ボランティア)、公民館主事 (学習ボランティア)、公民館主事 (学習ボランティア)、公民館主事 (学習ボランティア)、公民館主事 (学習ボランティア)、公民館主事 (学できなりにもの選問して、できない。 金藤 関僧権用 (予定) (予定) (予定) (4月28日、7月22日、2月10日 (予定) (7元度)																							
	電丘小学校コミュニティースクール 復子ども教室コーディネーター、竜丘図書館長(学習ボランティア)、公民館主事 にロッティネーター、竜丘図書館長(学習ボランティア)、公民館主事 に関連し外にいるか(それぞ																							
VED.	会議 別の人数を記入) 動態進員(教育 表員会の委嘱を受けた者) 会議 別の人数を記入) 対して、定的職員(公民館長・公民館主事 別のな職(リストり選択) 公民館職員(公民館長・公民館主事 公民館主事 公民館職員(公民館長・公民館主事 公民館主事 公民館主書																							
連	(中心的なコーディス・カー)														状 か	t .		-						
1	上記	12の「	地域	と共	有され	れた [:]	育てたい	子どもの	り姿	」につ	いて		1	学校と	ボラ	ンティ	アで	上記	2「地域とま	も有さ	sht.	上育てたい	子ども	
2	学村	交運営	営へ(の必	要なえ	支援(について	<u>-</u>				0	1											
3	地址	或の実	き情 タ	や課	題に~	つりい	T						2	できて	いる	00								0
4	子と	ごもに	どん	な地	域貢	献が	できるか	につい	て			0	3											
														力 (新) 2	工制	.)ァ シ +	ını .	t1	シード	マの		ンティア 者人数	107	人
5	教耶	戦員 <i>の</i>)任月	用に	関する	5一角	段的な要	望につ	いて	•			4	人数	う 野川	川(こ参力	µС.	/これ	・ノンノイ	, 0)		者延べ	200	
	-																1				人数		320	八
		登-	下校の	の見 '	守り	\circ	読み間	かせ	0	児童会	会、生	上徒会				『活動	0		給食	1 1 6060		休み	* 1. *	
				掃			IC	Т		学習ポ	-		0		りなっ 間支	学習の 泛援	0		ュナウィルス の消毒・清:			放課後 体験	: 教科・ 学習	0
爿 +=	b #			長期休 な験学			地域の伝統		0	子ども: カフェ				防災学	習(避	難訓練)			遠足•登	Ц	0	キャリア教 体験を		
均勻材協價活重	×. <u>≠</u>		人権	教育			国際:	理解		i	託児													
杉 17	交	学 校	8	W E		No.		推	_					1			-					and the		М
賃	i j	家	1											THE PERSON	elle:							- Marian		
万重	5 力	庭	P								1	A A							8	0	1		n	
0)	地域の									STP.	i de la co	w.			Al N						1		
相要	瓦	協働												-										
		した	K												Ment d				1		1	THE PARTY		*
租 公共分次(5/17) 公人(5)												乍り (10	/11				カラブ	泛 副	1(1	1/11他				
	ag 幼竹狩り(5/17) 米作り・和 代表的な協働した。																	シノノ	白男) (I .	1/ 11他	14년)		

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

6年生は、鵞流峡復活プロジェクトに参加して、景観維持や竹の有効利用を目的とした活動の取り組みを進めてきた。幼竹狩りでは、NPO法人のプロジェクトを進めている方々や地域の方々と共に作業を行い、環境維持のための活動を知る中で、環境を守っていくことの大切さについて意識を高めた。またメンマづくりでは、地元企業や地域の方々にも協力をいただきながら、メンマの製造過程を教えていただいたり、パッケージのラベルデザインの作り方を教えていただいたりして、自分たちの発想やアイディアを生かしたラベルをつくった。販売についてはチラシ作りやホームページ作りなどを分担しながら行い、販売方法や宣伝方法なども考えて進めてきた。これらが子どもたちの主体性、創造性、問題解決力などの育成につながったと思われる。また、お店での接客、宣伝活動を通して、地域の方々とコミュニケーションを取ることもでき、活動に関わる方々や地域の方々の願いや優しさに触れたことで、ふるさとへの思いを感じとり、地域への思いをより深める活動となった。

学	校の	概要	学	校名	飯	対田市	立	JI	路小		学校	当	校長			浅川	川 浩		児童	全生徒数	10	4 名
							「地域と	:共(こある	学校	づくり		向けた	-仕	組につ	いて			_			
				学	2校運営	に必要な	•	•	-						_		ィアの組織化	上(地域	学校协	協働本部	につし	て
NET N	v. .	- A / E	AUUT	nu s					会譲	髪の委	員構用	龙			0	ボラ	ンティアのリ	ストがあ	る			
連門	了委员	員会(信	手州な	型コミュこ	ニティス	クール)	市田	丁村	教委		自治	台会	代表			ボラ	ンティアの団	体があ	る(組約	哉化され`	ている)	
27. T	-)\\ + =\\	A /			. .) (代表	0	РΊ	`Af	大表	\circ	0	ボラ	ンティアと学	校の情	報交換	会がある)	
字社	父連'	呂協議	会(:	コミュニ	アイ・ス:	クール)(リ 地域コー 地域学科	ディネ 交協働 員	ーターや 活動推進	0		· 教显 :校職	頁以外の	0		ボラ	ンティアの方	を対象	とした	研修会が	ある	
							_						名を記り		学校と	ね働っ	する様々な団	1休 114	*_ <i>-</i> ' .	4 5	1	ı
名		川路っ	子ニ	ミュニ	ティース	クール							∃治振興 員長 •±		や地域	とのi	連携調整を行 一ター等が学	丁う 一つ	岐コーディ	ネーター	1	人
称		運営す	:員:	会(川路	各っ子応	(援団)	域森材	体	険学習:	指導	員 •	主信	£児童		職員以	外に	いるか(それ	ぞ 地	域学校 推進員			
							員 •	休月	T •2	公民即		11日口	1書		れ	の人	数を記入)		員会の	委嘱を		人
	△≃					和4年5月 和4年10)											ーディネータ		民館職員](公民館	₹•公民	館主事)
屏	合議 催数	女 :	3	回開作	崔日 令	和5年2月	9日(木)	,								~	ストより選択					
(-	予定)		(予	·定)												(その他を選打 ・役職を記入)					
					運営	委員会	または学	校	運営協	協議会	€の協	議	内容及	び±	也域と	協働	した活動	状況				
学术	☆数:	育目標				体に鍛え 素直に生き																
1 1	~3^	n H W				自ら高める																
	からだを鍛え、わを作り、じぶんを高める『か・わ・じの子』 どもの姿 重営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																					
	からだを鍛え、わを作り、じぶんを高める『か・わ・じの子』 型営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども																					
運7	からだを鍛え、わを作り、じぶんを高める『か・わ・じの子』 型営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 「																					
1	■															£						
2	学村	交運営	·~0	の必要	な支援	そについて	<u> </u>				0	1						-27 11	_ 4 07 _	H (/C.	, _	
3	地填	或の実	情々	や課題	につい	て					0	2	地域のできて			題に	ついて学校	とボラ	ンティ	アで、情	報共	有〇
4	子と	ぎもにと	ごん	な地域	大貢献	ができるた	いについ	て			0	3	ボラン	ティ	アの方の		場所や交流 的で使用)
													,					,	ボラン	ティア	61	人
5	教耶	戦員の	任月	用に関	する一	般的な要	見望につ	۰۷ \	C			4	協働流人数	舌動	に参力	口した	こボランテ	イアの		音人数 音延べ		
						ī			1				/ \ 3/						人数	1/4	35	人
		登下	校位	の見守り	0 0	読み間	引かせ	\circ	児童会	会、生	徒会				『活動		給食			休み	* 1. *	
			清			IC			学習は					りなら 間支	学習の :援	\circ	コロナウィル の消毒・			放課後 体験	学習	
均	b t			:期休業 :験学習		地域の伝継承に依		\circ	子ども カフュ	食堂(c)との			防災学	習(避	難訓練)		遠足・登	£Щ		キャリア教 体験を		場
均学材材	2)	人権	教育		国際	理解			託児												
協	くっか	字 校	4	A.	. 13					La Marie							泰清	坤乾				
重 元 重	ђ Б	家庭			- 3					H				1	8 +	T Co	TITE		I	T		
重	j j	地		THE R				1														
<i>d</i> . 根	#	域の				M	M	No.		4						15.		F.65	Th.	N. T.		
夛	5	協し										4										
		た 取							1	2		2			A							
		組 例		交通	安全教	文室(R4.5	.2)						聞かせ					人形	剝練習	図(R4.7)	
					(上の	写真の3つ	つの取り						動の取紀 を選択し			内容	を教えてくた	:さい)				
\bigcirc	取組	の内容	な(と	ごのようだ		を、どこで											- 7					

[3学年人形劇練習]

[3学年八形劇練音] 3学年では毎年、飯田市人形劇フェスタや川路文化祭出演に向けて人形劇に取り組んでいる。今年度も8月にある人形劇フェスタ出演を目標にして、自分たちでシナリオを考えたり、人形を作ったりしてきた。その中で地域の方の力をお借りして、人形の作り方や動かし方、見せ方などの指導をしていただいた。何度も学校へ足を運んでいただき、子どもたちの質問に答えてもらったり、アドバイスをもらったりすることで、コツがわかり、自信がつき、だんだんと子どもたち同士でも意見を出し合って工夫をすることができるようになった。人形劇フェスタは中止になってしまったが、川路文化祭や学校人形劇の祭典などにも出演し、地域の方に喜んでもらい、子どもたちも達成感を味わうことができた。

学	交の	概要	学	校名	飯田市	市	立千	代人	<u> </u>		学校	<u> </u>	学校長	伊	藤政子				児童生	徒数	30	名
							「地域と	:共(こある	学杉	きづくり	١^	へ向けた	:仕	組につ) [1	7					
				芎	学校運営	営に必要を	す支援に位	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	域等	学校協働:	本部)に	ついて	
運営	(季)	■ 会 (信	計型	1237	ニティス	クール)			会議	あす	\$負構 <i>B</i>	戊			0	ボラ	ンティアのリストか	ある)			
Ą	1 5 3	4 4 (II	1/11	. _	. / . / .	, ,,,			教委	\circ			代表	\circ	0		ンティアの団体が	-, -	(//==////		いる)	
学权	涌	並協議	수(=	137.=	ティ・ス	クール)	<u> </u>	4	代表	0			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	を換会が	ぶある		
, ,	·~	- 100 Max	4		7 1 7 .	, ,,,	地域一	ディイ協働活	ベーターや 舌動推進員	\circ		· 教母: 校晴	頭以外の 戦員	\circ		ボラ	ンティアの方を対	象と	:した研修	会があ	る	
	千代	:小学村	交学を	交運営	協議会	Ì			の委員]	※具	体的な行	殳職	名を記入	(学校と	カイ かんしゅう かんしゅう ないましゅう かんしょう かんしょう おいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしょう はいしゅう しゅうしゅう はいしゅう はい	する様々な団体					
名							地域住	民							や地域	との	連携調整を行う	地東=	ューディネータ		2	人
称															職員以	外に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動推委員	学校協働 達進員(教育 会の委嘱 受けた者)	Ĩ	0	人
	· =\					19日 1)月17日	2月	13日						中心的	なコ	ーディネーター	公民	館職員(公	民館長・	公民館	主事)
	₹議 催数	τ :	3 [今 ⁴ 回 開	年度 崔日										の立	場(!	リストより選択)					
(三	定)		(予	定)												銭(その他を選択し ・役職を記入)					
					運営	全 昌委	または学	杪	運堂協	.議:	会の協	議	内容及	7 🕻 t	地域と	な 価	ーーーー した活動状況	7.				
			やさ	しくだ		たくまし		1/	Æ 🗆 W	U (1956 -	<u> </u>	J LITER	770		2-AC		10/2/11 30/0/0	_				
学核	教育	育目標																				
titi tab	レ#	右され																				
た育	てた	い子ど																				
*主体的に学び、進んで表現する子 ・ふるさとを愛し、自ら動き出す子 運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 2 学校運営への必要な支援について																_						
1 .	地域と共有された た育てたい子ど もの姿 ・ふるさとを愛し、自ら動き出す子 運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) ・上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ・学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ど															子ども						
2	2 学校運営への必要な支援について																					
3	地垣	【の実	情や	課題	につい	て				できて	いる	00							0			
4	型域の表情や課題について □□2 できている。 □□2 できている。 □□3 ボランティア																場所や交流スイ 目的で使用する					
													↓カ ほい	工士	.) z 2 2 h	m) s	とざい ニ ワ		ボランティア		70	人
5	教罪	銭員の	任用	に関	する一	般的な	要望につ	いて			0	4	協働行 人数	古男	ルに参り	ЦU/	とボランティア		登録者人数参加者延り	_	٥٢	
Ш					- 1	1		1				_							人数		35	人
		登下	校の	見守り	<i>b</i> 0	読み	聞かせ	0	児童会	会、 ^结	上 徒会				活動	0	給食	Artes	·	木み時		Ш
			清掃				CT				ケィア	0		的な。 間支	学習の ご援	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	束		課後拳 体験学		
地				胡休業 険学習			:統文化の 係る活動	0	子ども カフェ		(こども)連携		防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			リア教育 :験を含	f(職場 む)	\circ
学			人権差				理解			託児												
域学校協働活		学校			1//				3						Anom 👑	ľ		أعدد	Ato N		1	A POPUL
働		家		41.		48.18			-		. 6	4			550°	ere ere						
動		庭			A L		II.		-	220		IJ				100					NUMBER	
の概		地域の	*								A	1		D.						2		
要		協働					21	1		-		A			13-63							
		し た	1					9	100	-		1 3			6				1. 16	Sel.	1	
		取	地域を	·知る#	受業 和	太鼓演奏	(7月20日	1)	終	/主	紙作り	(6.1	月22日2	نا _خ	`4同)		炭 焼き	* 体	験(11月	25 F)	16
	型 地域を知る授業 和太鼓演奏(7月20日) 絵手紙作り(6月22日など 代表的な協働した活動の取組例														シくがしく	- 17	~/\ (II)	, 20 H	,			

- 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)
- ・地域を知る授業は、全校児童を対象に年に3回計画され、自分たちが生まれ育った地元の良さを知る機会となっている。
- ・一回目、7月に行われた和太鼓演奏では、全校で迫力ある演奏を聴いた。2学期に入り、この和太鼓の演奏者でもあるIさんから指導を受けた 1・2年生が、10月に行われた参観日の交流会で、実際に和太鼓の演奏を披露した。
- 1 2 千 上が、10万 に口がないとの戦日の文伽芸で、天際に和人政の優楽と収略した。
 ・二回目は8月に行われ、地元の千代幻豚の養豚農家Oさんから、豚を育て売りに出すまでの苦労や工夫などのお話を聞いた。3年生は、地域の産業の学習で、実際にOさんの養豚場を訪れ、仕事の様子や生産者の思いなどを再度詳しく学習した。
 ・三回目は10月に行われ、Sさんの人生に学んだ。何十年も続けている天気や気温調べのこと、恩師の言葉をきっかけに書道に取り組んだこと
 ・ シング間は、なさなさいませた。これを持ち、高くな
- などについて聞き、好きなことに打ち込む良さを学んだ。

学	校0)概要	<u> </u>	学校名	飯田市	Ħ	立千	栄力	`	:	学校	<u> </u>	学校長	大	池世	生		児	記童生徒?	数 31	L 名
							「地域と	:共1	こある!	学校	づくり]^	向けた	:仕	組につ	۲۷.	(
				Ė	学校運営	に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地域	学材	交協働本部	3)につい	て
潘	かり かいかい かいかい かいしゅう かいしゅ しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅ しゅう いまり いまり いまり いまり いまり いまり いまり いき いまり	昌会	(信州	刑コミュ	ニティス:	クール)			会議	義の委	員構局	戊			0	ボラ	ンティアのリストがあ	る			
圧	白女	只云	(10711	エーヘム	— / 1/1,	, ,,,	市田	叮村	教委	\circ	自治	会	代表	\circ	0	ボラ	ンティアの団体があ	る(糸	組織化され	ている)	
学#	か:番	份 切	議会	(7>,-	テルフ	クール) (\	4	表	0			大表	0		ボラ	ンティアと学校の情	報交	を換会があ	3	
7-1	人生	当 加	找云	(-/1://		地域コー		ーターや 動推進員			· 教母 :校職	頭以外の 裁員			ボラ	ンティアの方を対象	として	た研修会だ	ぶある	
	千岁	於小学	之校追	重営協議	§ 会		[そ	の他の	の委員]	※具体	体的な行	殳職	名を記り	(254大1.4	力压。	ナス栄をお召休				
名							・主任・民生								や地域	との	連携調整を行う	成コー:	ディネーター	1	人
称							・千栄	小を	考える										校協働活		
							・しゃく	くなけ	で会理	里事長	:				れ	の人		員会	員(教育 の委嘱を		人
				П	6月	3日 7月	4日 10	月 19	日 2月	7日					由心的	ナトコ	ーディネーター		けた者)		
	会議				年度												カストより選択) 地	域住	:民		
	催数 予定		4	回開	定)												(その他を選択し				
																	・役職を記入)				
			1,	1 - 2				学校:	運営協	議会	の協	議	内容及	ぴり	也域と	劦偅	した活動状況				
学村	交教	育目相		د کار	やさしく	たくましく															
					- 1.2	<i>k</i> & =	»v →														
		すされ	n 🔑			つなぐ 千 Bり合い、i		う子	ども・1	自分~	づくり、	仲	間づくり	, <i>\$</i> -	るさとづ	うくり	・身も心も汗まみ	\h!	尼まみれ	になれる	3子ど
/C F	もの	<u>-</u> い子 変	£ .	,,-			_,							•		, -					, _
運	営委	員会	またに	ま学校選	軍営協議	会での協	議内容(本年.	度もしく	は昨年	年度)				t	也垣	と協働した活動	状	 況		
1	F.	記の [- +約 ta	むと土ま	ゴされた	育てたい	インド	の姿	ルテつ	いて											T
						-		75](C)	V · C		1			ンティア :有され		上記「地域と共有る ろ	され	た育てた	い子ど	5 0
2	学村	交運'	営へ	の必要	な支援	について					\circ										
3	地块	或の領	実情	や課題	iについ	て					0	2				題に	ついて学校とボラ	ンテ	-イアで、1	青報共	育 ○
4	1 子どもにどんな地域貢献ができるかについて ○ 3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。 (専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可) は 個価活動に 参加! たボランティアの 登録者人数 35															,					
1	4 子どもにどんな地域貢献ができるかについて ○ 3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。 (専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可) ボランティアの 登録者人数 35																				
5	数围	部員(の任	用に関	オる一	般的か要	望につ	しいて	_			4		舌動	に参加	117	たボランティアの			35	人
0	3,71	W, M,	· /	/11(-12)	1 2	MXHJAX	土(0)		•			1	人数					参加人数	加者延べ 数	18	人
		登	下校	の見守	р I _O	読み間	かせ	0	児童会	会、生	徒会		クラフ	ブ、音	『活動	0	給食		休み	,時間	
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+	IC		H	学習オ				総合的	内なっ	学習の		コロナウィルス対策	t	放課	後教科・	+
封	ь		:日・	長期休業		地域の伝	統文化の		子ピも					間支	(援 (難訓練)		の消毒・清掃 遠足・登山	\vdash	キャリア	食学習 教育(職	場
			女科・(本験学習		継承に停	る活動	\cup	カフェ	c) との			奶火子	白()斑	: 关肚 司川 於果)		逐足•登川	\vdash		を含む)	+
均勻材協價沒重	<u>₹</u> ' \$	学	人格	全教育		国際:	埋解	Ц	-	託児			Dr. Care	-				L	N 60 N Ha	170000	
ti	力力	校・	-			-								4		100					
19	si 舌	家庭	I			all a				**		2				3450		f			
重 0	ħ С	· 地	7								0							n			
相	既	域の							9				S. Brahman		1	- 18	N.			100	
3	툿	協働			THE.					deliner	May Co.	V							·库里		
		し た 取		W W		91	365			1.3		Vil.				V.	TO SERVICE MANAGEMENT			15.5	
			どんく	ぐりの会	読み聞ね	かせ(5/12	他年10[回)		ク	ラブ(12/	/2他年	3回)		6年総合千代	ネギ	*栽培(5	月~1	1月)
					/ -	D 古	- OF-11	40 →	代表的	な協	働した	活.	動の取	組例	. EL A -	جئم ريا	+ *L = / L+ L+				
					(上の	与具の31	の取り	組み	の中か	1617	つの活	虭	を選択し	ノ、バ	5動の₽	Y容	を教えてください				

・本の読み聞かせやクラブ活動等で、読み聞かせの上手な方や素晴らしい技能を持つ方と接する中で、本に親しむことができたり、いろいろな体験をすることができた。また、あいさつをしっかりと行ったり、地域に住む方へのあこがれを感じたりすることができた。 ・地元の伝統野菜である千代ネギや、大豆を栽培したり、よこね田んぼで田植えや稲刈りをする活動に取り組んだ。地域の方々が長年培ってきた技能や知恵を知り、野菜作りや稲作の楽しさ、苦労を学ぶことができた。千代ネギ栽培については、植え付け準備の段階から販売にいたるまで、「千代ネギ保存会」の方々に継続してご指導をいただいた。千代ネギの特長や、歴史についても学ぶことができた。よこね田んぼの田植えや稲刈りでは、保全委員会の皆さんの手を借りながら、粘り強く作業に取り組むことができた。

学	交の	概要	学	校名		飯田市	<u> </u>		龍江	小肖	学校	学	校長			大	池 満		児童生徒数	110	名
							地域と				うくり]^	向けた	c仕	組につ	いい	7				
				学校	運営	に必要な	支援に係	系る	協議の均	易					ボラ	ランテ	イアの組織化(地	域学	校協働本部)について	7
軍尚	·禾目] 今(4	할사네ㅋ	型コミュニラ	ティス	クール)			会議	の委員	員構 反	戊			0		ンティアのリストカ				
更	女员	₹X (II	37113	EU(JU)	1/1	7 70)	市町	丁村:	教委	0	自沿	台会付	大表	0	0	ボラ	ンティアの団体か	ぶある	(組織化され	ている)	
半六	c)ŒA	当协業	: 🛆 (·	-> -=	, 7	7. 1.) O	公臣	能	代表	0		A代		\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会がある	5	
子巾	(里)	马肠部	云(コミユーソン	1•^;	クール) 〇	地域学校	ティネ を協働 員	活動推進	〇		·教頭 :校職	i以外の 員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会が	ある	
							[その	り他の	の委員]シ	※具体	的な行	没職 名	名を記力	(学校と	∆ ∰	する様々な団体	tot. 1-45	1		-
名.	## \^	- 1 A	Y44	· >>< +÷ >== :	224 I .1	7-光 人									や地域	との	連携調整を行う	地域コー	ーディネーター	1	人
名称	同 国化	Γ/] νΞ	子仪	学校運	呂庞	協会											ーター等が <u>学校</u> _ _ いるか(それぞ		学校協働活 進員(教育		
															れ	の人	数を記入)	委員:	会の委嘱を		人
		Т				和4年 5.									中心的	ナトコ	ーディネーター		けた者)		
	議		0	今年度 回 開催日		·和4年10 ·和5年 2											ノストより選択)	公民館	自職員(公民館:	長・公民館	主事)
	催数		3	(予定)		7HO — 2,	/,10 н										(その他を選択し	公民	館主事		
					<u> </u>														(서다 그 구		
			ı		運営	委員会ま	たは学	校	運営協	議会	の協	議内	内容及	.U±	也域と	協價	した活動状況	7			
学校	教育	育目標				倭	まやか	で	よく賞	やさし	<	かしこ	_<	たくましく~	~						
tili teb	1.44-	ナ キム	・だ	れにでも	明る	らいあいさ	つので	きる	子	·友/	の考	えもよ	く聞	いて自	分	の考えを伝え	合っ	て学習に	取り組む	3子	
た首	 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 学校教育目標 健やかで よく学ぶ子 ~ やさしく かしこく たくましく~ 地域と共有された育でたい子どもの姿」について 単域と協働した活動状況 ・だれにでも明るいあいさつのできる子 ・友だちの考えもよく聞いて自分の考えを伝え合って学習に取り組・龍江のよさを語れる子 ・電営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」について ② 学校運営への必要な支援について ③ で校とボランティアで上記「地域と共有された育でたい子どもの姿」が共有されている。 2 学校運営への必要な支援について ③ 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情を課題について学校とボランティアで、情報共和の実情や課題について学校とボランティアで、情報共和の実情を課題について学校とボランティアで、情報共和の実情を課題について学校とボランティアで、情報共和の実情を課題について学校とボランティアで、情報共和の実情を課題について学校とボランティアで、情報共和の表面に対して学校とボランティアで、情報共和の表面に対している。 																				
Ę	学校教育目標																				
運営	(委)	員会ま	たは	学校運営	協議	会での協議	人格(2	本年	度もしく	は昨年	度)				ţ	也域	と協働した活	動状	況		
1 .	上記	∃øſ¦	也域	と共有さ	れた	育てたい	子どもの	の姿	ミ」につ	いて	\circ		学校と	ボラ	ンティブ	アで	ト記「地域と共え	有され	1.た育てたい	・子ども	
2 :	学材	を運営	~0	り必要な	支援	について					\circ							,, ,,	0/2/3 (/2.	, = 0	0
H	Hh Ha	tの生	· k s s s	お細題)を	\sim 1.0	· · ~						9	地域の	実	青や課題	題に	ついて学校とポ	ラン	ティアで、情	青報共有	+
\vdash							_									カ民	場所やが流ス/	°	スが学校内	アあろ	+
4	子と	もに	どん	な地域真	で献え	バできるか	につい	て									目的で使用する	部屋	との兼用で		
	let wet						alam v						協働活	壬重	に参加	ר. וח	たボランティア		ジランティア 登録者人数	58	人
5	教罪	銭負の	仕片	打に関す.	る一	般的な要	望につ) \ \~					人数	H 274	1100%	н О 7	C.V. / V / / /	参	*加者延べ	80	人
	1	マシコ	- 1 -t	り見守り		読み聞	A. 11a		児童会	. #-4	+. ^.	H	45-	n +	7、江、玉山		給食		数休み		T
	ŀ	笠				10-711		0						h+\2	ド活動 学習の	\cup		·笛	放課後		+
	L	1. 1	清:			IC.			学習ボ			0		間支	子音の	0	の消毒・清掃	/IN	体験	学習	
地域	L			期休業 験学習		地域の伝統継承に係	に又1500 る活動	\circ	子ども1 カフェ			Ш	防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山		キャリア巻体験を		
学		,	人権	教育		国際理	里解		Ī	托児											
学校協		学 校		NAME OF THE PARTY								1		W.	4				6 74 1	- 8	
働 活		家			#	1					1			1	N			A R	- in .		
動		庭 • 地									1				1	2	2				
の概		域の				33.0					1			B		Ŋ		T .		AL SHE	
要		協働	J.	N.			V					1		V		1					
		た	K			Mi a						X		1	12-4		Transition of the second			4	
		取	7	学校りんご	- 園(の活動(追	6年)		竹ラン	タン化	乍りに	向け	け竹伐キ	采(9	月29日	1)	地域クラブで	ミニ猫	師子舞作り(10月13	日)
	_	例			. بحصر		- 1 /		代表的								200 //	. 7		-,,120	/

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

- ・5年生は、昨年度から継続して取り組みを続けている「龍江の竹」について、今年は竹害についいて地元の「はちくの会」の方からお話を聞き、竹林整備や竹の有効活用について学習を進めた。そこで、龍江小学校創立150周年記念式典での発表や花火の夕べの際に、会場を手作りランタンの光で演出しようと、竹ランタンの製作に取り組んだ。
 ・地域の方の竹林に出かけて指導を受けながら、竹をランタンの長さに切り学校に持ち帰った。地域の竹細工専門家の方をお招きして各自が考えたデザインで竹ランタンを完成させ、記念式典で龍江の竹について学んだことを発表するとともに、お披露目を行い、花火の夕べでも会場を幻想的な光で演出することができ子どもたちは満足した。
 ・5年生の竹の活動以外にも、他の学年でシャルルビルメジェール市との交流や、地域の公園にポイ捨て禁止の看板整備などの活動に取り
- 組み地域の多くの方の力を借りながら、子どもたちが地域のよさや課題に目を向けた学習を展開し、150周年記念式典で学びの成果を地域 の皆さんに向けて発表することができた。

名
人
人
主事)
-
\forall
0
0
0
人
人
\dot{T}
\forall
$\overline{}$
W

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

【めだか池復活プロジェクト~4年生】

- 学友林の中にある通称「めだか池」のめだかが激減している。何とか自分たちの手で「めだか池」を復活させたいと取り組んだ活動 -

- 学及杯の中にある通标であたが他」のあたがが版成している。何さが自分にちの子でであたが他」を復名させたい。 ・めだか池の清掃や看板設置 ・めだかを増やすために公民館長にめだか名人を紹介してもらい,名人から飼育方法を学び繁殖させて放流。 ・地域の方にお願いしてめだかが繁殖している池に赴き,実際にめだかを捕獲。 ■本校の自慢の場所を,自らの手で整備することで,愛校心を育むことができた。 ■公民館長の紹介で,地域の方や地域外の方と関わることができ,新たな地域の魅力や知識を得ることができた。 ■生き物を育てる中で命の大切さや,世話をする大変さ充実感を感じることにつながった。

学材	交の	概要	学校	名	飯田市	Ħ	立鼎	小			学校	2	学校長	楜	澤直	樹			児童	生徒数	679	名
							「地域と	!共:	こある	学校	づくり		へ向けた	:仕	組につ	いい	τ					
				学	校運営	に必要な	支援に係	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	域等	学校協	働本部)	について	'
海岸	→禾目	3 今 ()信	. I/I/ #II ~	73	ニティス	カーエー			会議	の委	員構用	戈			0	ボラ	ンティアのリストか	ぶある	5			
建呂	安月		川空-	111.	ーノイ へ:)—//)	市町	丁村:	教委	\bigcirc	自治	会	代表	0		ボラ	ンティアの団体が	ぶある	5(組織	化されて	ている)	
255 1-1	· Vert 3	4 l h = 34	A /	,		.		と館/	代表	\bigcirc	РΊ	`Aſ	代表	\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	B交換:	会がある		
						クール)(地域一	ディネ 協働活	ベーターや 舌動推進員	\circ		· 教! 校雅	頭以外の 戦員			ボラ	ンティアの方を対	象と	こした研	肝修会が.	ある	
Ž	な	えコミニ	ュニテ	ィーン	スクール	,							名を記入	,	学校と	カ 価	する様々な団体					
名							鼎地区 主任児		どもを育 委員	む変	員会	5月	長		や地域	との	連携調整を行う	地東=	コーディネ	スーター	1	人
称									ピーツ推	推進委	受員						ーター等が <u>学校</u> いるか(それぞ	地域	学校協	動活		
															れ	の人	、数を記入)	委員	推進員(員会の委 受けたむ	候嘱を		人
△	議			<i>△t</i>	± ± 10	18日(水 月24日(Á)								中心的	jなコ 担 ()	ーディネーター Jストより選択)	公民	館職員	(公民館長	長・公民館主	三事)
開作	崔数		口	開作	崔日 2月	24日(金	2)															
(子	定)			(予	·定)												銭(その他を選択し 場・役職を記入)	公臣	民館長	Ė		
			•	•			•	•-		議会	会の協	議	内容及	びり	也域と	劦偅	した活動状況	7				
			心豊水	かでた	こくまし	ハ鼎の子 えよう ~	自主・共	生】	うた主	和十	スカの	去	tha.									
学校	教育	育目標	「あ	りが。	とう」を任	云えよう~	~思いや	り支	え合う人	人間目	関係の	育店	戊~									
・ 笑顔を伝えよう 〜学びを通して交流する社会力の育成〜地域と共有された育でたい子どもの姿 では、自己有用感、共に生きる感覚をもつ子ども〜地域を要員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																						
地域と共有された育てたい子どもの姿 「心豊かでたくましい鼎の子」 へ自己肯定感・自己有用感、共に生きる感覚をもつ子ども~ 「運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																						
でしていする。 もの姿 運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																						
正常を引きまたは学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○															大協働した活	計	伏況					
Ь.															-	-6-9		3/11	<i>// // L</i>			П
1 -	L pl	ברילטי.	出収と	共有	C10/C	.月 てたい	,1500	ク安	·] (C-)	V · C	1						有さ	れたす	育てたい	子ども	\circ	
2	学校	運営	へ の』	必要.	な支援	について					0		3,13		.,		- 0					
3 ‡	也坷	の実	情や調	課題	につい	て					0	2	できて	いる	00		ついて学校とポ		•			\bigcirc
4	子ど	もにと	んな	地域	貢献為	ぶできるか	パンパ	て			0	3					場所や交流ス√ 目的で使用する					
									_				拉桶	F.垂l	ルマ糸巾	- וח	たボランティア		ボランジ登録者		17	人
5	 致暗	員の	任用に	こ関	する一	般的な要	望につ	いて				4	人数	1 到	八一沙刀	μ (/	こペ・ティ ノイノ		参加者		180	人
	-	₹	校のり		0 0	⇒⇒フ、日	引かせ		児童会	\ #	· 什 人		75-	, 4	8活動		% ∧. &		人数	14.7.		八
	-	五:1.		-) ()			0				_			学習の	0	給食 コロナウィルス対	策	-	休み 放課後		\vdash
ᅫ	-	+ =	清掃 ·長期			地域の伝	T 統文化の		学習ボ				時	間支	援	0	の消毒・清掃		4	体験		
地域学校協働活動	ŀ	教科	· 体験	学習	0	継承に住	系る活動	\circ	カフェ	:)との	連携		防災学	当(避	(難訓練)	\circ	遠足•登山		- -	体験を		
字校	Ļ	<u></u>	権教	育		国際	理解		i	託児												
協	1	交		FA.	3	4	T.A		Marie A	1						No.				-1	-19	
断活	3	家			ST.		1	X		E L					NAME:					7		4
動の	1	也	100			1				T				1		•				Cress	3/4	
概要	1	或り		M		(h)	17.0		無			1				10		-		200		1
要	1	島動	1	4	11					100	A CONTRACTOR			V				THE STREET		-		
		文 文		V	No.	X N	No.		To Vol	1		-		1			10 C	1985				7
	1	狙		稲	到り(1	10月6日)			4	学習	ボラン	ティ	ィア (11,	月1	8日)		防災	訓絲	鯟(11	月14日	1)	
					# 稲刈り(10月6日) 学習ボランテ 代表的な協働した活																	

- 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)
- ○(内容)米作り(田植え、観察、草取り、稲刈り、脱穀)体験、米作りについての調査、自己課題研究、米作りに関わってくださった方へのお礼 を込めた収穫祭
- ○(どこで・誰と)学区内(「飯田市鼎下山)の田んぼ・夢かなえ隊の皆様
- ○(成果や効果)自分の地域に目を向けながら、普段口にしている米がどのような過程で、どんな工夫や手を入れながら作られているかを学ぶとともに、米作りの大変さや収穫の喜びを感じることができた。普段、日常的に田んぼの様子を見に行けない自分たちに代わって、田の手入れを行ってくださりるなど、自分たちの学習活動を支えてくださっている地域の方々の思いにもふれながら、食を支える農家の営みに感謝の気持ちを抱くとともに、自分たちの生活が多くの人に支えられていることを知ることができた。

学	交の	概要	学	校名		飯	田市	立	Ŧ	郷小		学校	بز	学校長	村	松亮	彦		اِ	見童生徒	数 736	名
							Γ	地域と	共	こある	学校	づくり	\ <u>\</u>	へ向けた	c仕	組につ	۱.) درا	7				
				亨	之校道	軍営	に必要な	支援に係	Ŕる [·]	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	校協働本部	那)について	7
運営	(季	昌会(f	言州	型コミュ	ニティ	ィスク	'ール)				の委	員構用				0	ボラ	ンティアのリストが	ある			
7.	,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,			. /			教委				代表	0			ンティアの団体が				
学ゎ	海、	堂 協諱	: ()	コミュニ	ティ・	・スク	'ール) 〇			代表	0			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の作	青報ろ	を換会があ	る	
					•	/	77,70	地域コー 地域学校	ディネ	ーターや 活動推進員	\circ		· 教》 :校耶	頭以外の 戦員	0		ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会	がある	
	上組	『の子	どもる	を育む	会		-	[その	り他の	の委員]	※具体	本的な	役職	名を記力		学校し	カ働	する様々な団体。				
名								社会教生活安								や地域	との	連携調整を行う	也域コー	・ディネーター	2	人
称								青少年	健	全育成語										校協働活		
								学校ボ 地域住		ティアイ	代表					ħ	の人		委員会	進員(教育 会の委嘱を	0	人
						5月	24日(火)	,,_		(水)(臨	.時)					由心故	1727	ーディネーター	受り	ナた者)		
	議				十大	11)	月30日(水	() 2月	24	3(金)								リストより選択)	公民館	職員(公民館	i長·公民館	主事)
	催数 P定		4	回開	年日 ・定)													銭(その他を選択し	八巳	館主事		
																		6*佼城を記入)		4年		
							委員会ま	たは学	校	運営協	議会	≹の協	議	内容及	.∵t	也域と	劦偅	した活動状況	,			
学杯	一级	育目標		る気 思	いん	>b)																
,	(.)/(13 F M																				
地域	と共	有され		気と希望	星と人	へのす	和で未来を	を拓く子														
	てた もの	い子と 姿																				
油	金米	吕스님	:+-1-	+学技選	计许温	が詳る	会での協議	中央(7	卜任	庶ま! /	1+11-	Ι				₩₩	は協働した活動	타나	:0			
-													1		•	-U-5	にここの一切したころう	別1人	ŊĿ		$\overline{}$	
1	上記	己(/) [也项	ど共有	121	いて	育てたい	十とも0)安	.] (こつ)	(\ ' (0	1					上記「地域と共有	「され	た育てた	い子ども	
2	学村	交運営	;~(の必要	な支	援	こついて					0		(グ) 安] 7	か天	有され	(V)	'රිං				
3	地垣	或の実	情~	や課題	につ	いい	T					0	2	地域のできて			題に	ついて学校とボ	ランラ	ティアで、	情報共有	•
4	子と	きに	どん	な地域	太 貢南	獣が	できるか	につい	て			0	3					場所や交流スへ 目的で使用する語				0
H																			ボ	ランティア	43	人
5	教耶	裁員の	任月	用に関	する	—	段的な要!	望につ	いて				4		舌動	に参力		とボランティアの		録者人数	43	八
														人数						加者延べ 数	200	人
		登-	校	の見守	り	\bigcirc	読み聞	かせ	0	児童会	会、生	徒会				『活動	0	給食			み時間	
	ſ		清	掃	1	Ţ	ICT			学習ボ	 ドラン	ティア	0		内なっ 間支	学習の 接	0	コロナウィルス対象の消毒・清掃	策		後教科• 験学習	
地	!			を 期休業 よ験学習			地域の伝統継承に係		0	子ども: カフェ				防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山		キャリア	教育(職場 を含む)	<u> </u>
垣 学 核 協	:		人権	教育			国際理	1解		i	託児											
杉セ		学 校			-								19						100		1	
偅)	家		-			17			8	1500 117	allow-							N		1	
活動		庭				A	A	Sin:						920						The last		
σ)	地 域	-		in	Y	17	100						-1								
根要	ī	協				À.					E				4			LFE				
 		働 し た	H			4																
		た 取 	-) :				=+ v == :) (5 t	. \			Ann a	e dan	× × × / -	/6:			5 At 10			0 (0=)	
## おはなしツリーハウス読み聞かせ(7/11) 上郷 代表的な協働													ンジ(9				ミシンボ	フン	ティア(1	0/25)		
										ル茲的	ひ 協	関しに	-/0	当リリノ以ば	ᄣᄁ							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

上郷チャレンジ(クラブ活動)では、卓球、茶道、囲碁・将棋、百人一首、人形劇、ペタンク、手芸、焼き物、ニュースポーツ、歴史、理科工作、絵画クラフトの12のクラブに、1回につき約40名の地域のボランティアの方が講師として来てくださった。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のために、回数を1回減らすこととなっが、1回につき2時間近い活動を計4回行うことができた。ボランティアの皆さんが専門的な知識や技術を丁寧に指導してくださり、子どもたちは意欲的に活動に取り組むことができた。ボランティアの方も、とても楽しそうに指導してくださった。職員にとってもボランティアの方の専門的な知識や指導に触れることができ、指導法について学ぶよい機会になっている。

学	交の概要	学校名	飯日	田市 :	<u>//.</u>	上村/	1/	学校	2	学校長		7	北原	文雄		児童	生徒数	数	19	名
				Γţ	也域と	共にあ	る学校	交づくり	\ <u>\</u>	向けた	仕	組につ	いて							
		学村	交運営に	こ必要な支	援に係	る協議	の場				I	ボラ	ンティ	アの組織化(均	也域:	学校協	國本部	3)につ	いて	
海岸	·禾昌 <i>△(信</i>	州型コミュニ	ティフカ	- n.)		£	議の多	委員構成	戊			\circ	ボラン	ケィアのリスト	がある	3				
建产	安貝云 旧	が一生コミュー	71/2	, ,,,,	市町	村教委		自治	台会	代表	\bigcirc	0	ボラン	ティアの団体	がある	る(組締	歳化され	てい	3)	
224.1-4	**年份447学	人 <i>(</i> >=		7.)		館代表	\sim	PΊ	ſΑf	表	\bigcirc	0	ボラン	ティアと学校の	り情報	吸交換	会があ	る		
子杉	(連呂 協議)	会(コミュニテ	イ•^グ	-/2)	地域コーラ地域学校	・イネーター 協働活動指 員	進		•教园 校職	頂以外の 貴員			ボラン	ティアの方をタ	付象。	とした研	开修会力	がある		
				L			員]※具	・体的な	役職	名を記入		学校と協	な働す	る様々な団体	Lik kelt	コーディン	÷. 7.	1		
名	.1. 7. 4.	5 - L - K	17E24		呆育園 民生児	長 童委員						や地域	との連	携調整を行うター等が学校	地攻	コーティ	ベーター	1		人
称	かみむ	らっこ応援団]連呂多	7月云	主任児	童委員	. =					職員以	<u>外</u> にい	るか(それぞ	地域	学校協	働活動			
				Ī	市立図	興センク 書館分						れ	の人数	を記入)		員(教育 嘱を受)				人
	議	今年月	芝 쎀 一	回…4月22 .回…7月91	2日 日								_	·ディネーター 、トより選択)	公民	館職員	(公民館	長·公	民館主	と事)
	催数 3 定)	回 開催 (予定	口一一	回…2月24	日(予	定)					ľ			その他を選択し役職を記入)						
			運営	委員会また	とは学	校運営	協議	会の協	議	内容及び	戊均	也域とは	劦働し	た活動状法	兄					
学校	教育目標	自ら学び、豊	豊かな心	<i>ふ</i> をもち、た	くましく	生きる」	上村の	子												
地域と てた	:共有された育 い子どもの姿	郷土を愛し、	社会の)一員として	、自立	した生	活がで	きる子と	ども											
運営	(委員会ま	たは学校運営	営協議会	€での協議に	内容(本	年度も	しくはど	作年度)				爿	也域と	:協働したほ	動	状況				
1 .	上記の「地	也域と共有さ	された育	育てたい子	こどもの)姿」に	つい	C 0		学校とボ	デラ	ンティア	でト	記「地域と共	右さ	れた	育てた	い子。	じも、)
2	学校運営	への必要な	支援に	こついて				0	1	の姿」が	-			,,	1,7 -	.,	., .,_			0
3	地域の実	情や課題に	こついて	<u> </u>				0	2	地域の領できてい			夏につ	いて学校とス	ドラン	ノティ	アで、忄	青報!	共有	0
4	子どもにと	ごんな地域す	貢献が	できるかに	こつい	7		0	3	ボランテ	イブ	アの方の		所や交流ス 的で使用する						
														ボランティア		ボラン	ティア	2		人
5	教職員の	任用に関す	一る一般	段的な要望	望につ	いて			4	人数	끬	(二参刀	10/	<i>いフ</i> ン ノ 1 ノ	V	参加者	_	80)	人
	登下	校の見守り		読み聞か	元	○ 児i	童会、/	生徒会		クラブ、	部	活動	\bigcirc	給食		人数	休み	,時間	1	
		清掃		ICT		- /		ノティア		総合的時間	な学	習の	_	コロナウィルス対策消毒・清掃	(O		放課	後教科·		Н
地	数	日·長期休業 科·体験学習		地域の伝統文継承に係る流		O 754	- 会堂(こ) との連	ビもカフェ) 擽		防災学習	(避	難訓練)		遠足•登山	[ア教育	to)	
域学		権教育	0	国際理			託児										(194 %) 11	-W-C-D	J,	
校	学		THE R.					1		100		1								
協働	家							1100	H	I. E							3 3,5	2	5	
活動	. 庭 • 地											60			Y				3	
の	域							64		A P	٠,				1/	Ц "	AC.	1/	į	
概要	協働	-11		AHERSTANDIOUS A			75	0 11		-					y	3	0	10		
<i>5</i> 2	し た 取		-	100			100	E			V	X		V		/u	Tr.			
	組例	地域•保護	者•児	童プール	清掃					A講演会				KGCかみ・	っこグ!	リーンクラ	ラブ自然顰	キャン	プ	

○ KGCかみっこグリーンクラブ自然塾キャンプ

9月24日(土)にデイキャンプへ変更して以下の内容実施①竹の灯篭作り ② 川探検(川の生態系の講習) ③火起こしと飯ごうでご飯炊き ④しらびそ高原: 天体望遠鏡で星空観察。公民館主事が中心となって、「キャンプ実行委員会」(公民館・学校代表・地域ボランティア"どんぐり隊")で、5月25日に計画を立てる。 「キャンプに向けた学習会」を7月17日に行い安全面に対する学習会と宿泊場所の清掃等(保護者も参加)をする。必要に応じてZOOMミーティング。当日のキャ ンプは、地域、学校職員、保護者で行った。児童は、自分たちの地域のよさと地域に支えられ、大切にされていることの再確認できた。日頃できないダイナミック な活動ができたこと。保護者は、上村に支えられていることのありがたさを実感できた。特認校の保護者と上村在中の保護者同士が話をする時間が取れた(火お こしやカレー作りの準備の最中)。地域は、特認校の保護者との関わりを多く持つことができ理解し合えた。

学	校の	概要	学	校名	負	反田市	立	和	田小	į	学校	当	校長		护	「西	多恵子	اِ	児童生徒	数 32	名
							「地域と	:共(こある!	学校·	づくり	^۱	向けた	:仕	組につ	۲).	7				
				学	学校運営	営に必要な	支援に係	系る	茘議の	場					ボラ	シラ	イアの組織化(地	域学	校協働本語	部)につい	て
·#.λ	4 <i>=</i> 1	ョ ヘ <i>()</i>	÷ 1.11:	EI >	_=				会議	の委	員構匠	戊			0	ボラ	ンティアのリストが	ある			
理	3 安」	貝会 (1	5 <i>)</i> 11/2	望コミユ、	ニティス	(クール)	市町	丁村書	教委		自治	会	代表	0		ボラ	ンティアの団体が	ある(組織化さ	1ている)	
									弋表	0	РΊ	`Af	表为	\circ		ボラ	ンティアと学校の忖	青報	交換会があ	る	
					・ティ・ス	クール) 〇		員			学	校職				ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会	がある	
	わた	う子に	泛援	隊					212 12				名を記力		学校と	左 働	する様々な団体		,		
名							南信濃南信濃					:長			や地域	との	連携調整を行う	地域コー	ーディネーター		人
称							南信濃	と 公月	民館副創										校協働活		
							主任児	量多	5員						れ	の人		委員会	進員(教育 会の委嘱を	1	人
					5,	月 9日第1	日	适	美山三 村	交合同	学校	運営	含協議会	×1.	由心的	1727	ーディネーター		けた者)		
	会議		_	- 今年	年度 7.	月11日第2 月13日第3	可回			5月20 1月26							リストより選択)	校職	員(教頭及び	「教頭以外の)職員)
12.1	催缕 予定	•	5	回開(子	崔日 10 之(定) 12	月13日第3 月23日第4	回			1月26 2月 6					具体的な	:役鵈	(その他を選択し		±×1.	ar.	
	, , _				2.	月28日第5	口								た場合は	立場	・役職を記入)		教	與	
					運営	を負金を	たは学	校	軍営協	議会	の協	議	内容及	びţ	也域と	劦偅	した活動状況				
244	大 払 ;	育目標		豊かな国		の子 勇気															
子作	父教	育日悰	<i>)</i> L;	*(·×(=	ガメ し															
地垣	戊と共	有され				的をもち、這							ún. > -> ->								
た		とい子				究する子 やりのある-			:ひこみ と「南信				段える子 子	•							
		- '											,					-1 11			
運	宮委	負会ま	たに	学校選	官協議	養会での協調	義内容(2	本年	芟もしく	は昨年	丰度)		ı		İ	也均	と協働した活動	卽状	況		
1	上記	己の[:	也域	と共有	「された	と育てたい	子どもの	の姿	こにつ	いて	0	1	学校と	ボラ	ンティア	っで.	上記「地域と共有	「され	いた育てた	い子ども) (
2	学校運営への必要な支援について																				
												_	地域の	実	青や課題	頃に	ついて学校とボ	ラン	ティアで、	情報共有	1
3	型域の美情や課題について □ 2 できている。															\circ					
4	3 地域の美情や課題について 2 できている。																				
_	-lv1. m-	\$ □ <i>σ</i>	HI	III) ~ HH	ニーフ	6n.44.45 ===	・七月)マ -		_				協働活	壬動	に参加	1 1	たボランティアの			80	人
5	教耶	裁員(/	仕	用に関	するー	一般的な要	・望につ) (\ \ \ (-			4	人数					参	加者延べ	50	人
	T	2 % -	_+×	のロゲ	n I	会出 ツ、FF	1.A.1L		児童会	<u> </u>	生 人		カニー	s, 4	7江玉		∜∧ △		.数		
	ŀ	豆		の見守り	_			0				0	クラフ総合的		P活動 学習の		給食 コロナウィルス対策	舿		み時間 後教科・	+
				掃	С	IC'		Ш	学習オ			0		間支		0	の消毒・清掃	^	体	験学習	
片 ta				·期休業 ·験学習		地域の伝統継承に係		\circ	子ども カフェ	食室(、 :)との;			防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			教育(職: を含む)	易
均当材材	* *	,	人権	教育		国際理	里解			託児											
村	₹ 12	字 校	8		Sec.		0.00		1			1			5 9		/		11/10	1	-
個	j)	家												- 元	屋	1					
河重	5 h	庭		4										癅	5			1		L	
0)	地 域								2					MA		The state of the s			The last	
相	艺	協		7 0	- 68	-45					Report of the second		100	36							
		働した			-		1				-49	-/		N.						-0	
		た 取 組		La Nic	16-10-2	1777 AF	383	,	111.1-4	, 4.00	曲 //-	L/_ · 2	ne ,	1. 7	11 11 5		1 & > - 4 ===	41	6+c1	- Aug	
		例	日々	体の米4	作りを'	ずろり 4 月	~10月									J片	わだっ子応援隊	Kと-	一緒に大打	市除 7月	26日
					(上の	写真の3つ	の取り						動の取約 を選択し			容	を教えてください)			

「日本の米作りを守っていこう」をテーマに掲げ、地域の方にご指導いただきながら米作りを行った。田おこし・代掻き・田植え・草取りという一連の作業を経験した子どもたちは、収穫の時期を迎えると、農協の方に米の水分量を量ってもらい、稲刈りの時期を決めた。また、地域の米屋の主人に精米する様子を見せてもらい、米の品質についての評価もしてもらった。街道縁日という地域の祭りで米を販売するため、米の品質評価をもとに話し合いを通して販売価格を決めるなど、多くの方の協力のもとで活動が展開された。11月には、遠山中学校区で行われている三校絆プロジェクト交流会において、児童・生徒・保護者・地域の方に向けて米作りの過程とその課題について発信した。現在は、課題となった「米の消費」に向け、「米粉」の普及がなぜ進まないのかについての問いの解決に向け、調べ学習を進めている。

学	交の	概要	学	校名	杉	公川町	r	7	と 松月	IJţ	央小		学校	T	 学t	交長	小豆	平 知	行			児童	直生徒数	537	名
								「地	!域と	共に	こある	学校	きづくり	L Jj.	<u>へ</u> に	うけた	仕	組につ	いしいつ	7					
					学核	交運営	に必要					•					Ī			- -ィアの組織化(±	也域:	学校協	協働本部)	について	
海科	/ 禾=	소(F	.\ \ ±	刊→⊃	,	ティファ	ケール)				会議	その多	 長員構	成	_		╗	0	ボラ	ンティアのリストカ	がある	5			
理	一女月	云 (1言	7114	ドーぐこ	ユーラ	, 1 <i>0</i> 0	, 7V)		市町			\bigcirc			会代	-		0	ボラ	ンティアの団体が	ぶある	る(組約	哉化されて	いる)	
学Ł	2.围冶	· 协議/	<u></u> △. (·	78		<u></u>	ケール)		公民			0			4代		\bigcirc	0	ボラ	ンティアと学校の)情幸	最交換	会がある		
					一 ノ	1·/>		地地	地域コー	ディネ 島働活	ーターや 舌動推進員	\bigcirc	学校長		教頭以		\bigcirc		ボラ	ンティアの方を対	†象と	としたね	研修会があ	ある	
	学校	運営委	員	会			_				の委員]	※具	体的な	役項	職名	を記入		学校と#	a.fil	する様々な団体	111-1-2			0	1
名称								通	重学区	.区±	支							や地域	との	連携調整を行う	地域	ユーティ	・ネーター	2	人
称																		職員以	<u>(外</u> に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動物	推進員	委嘱を	0	人
	議				7年月	度	12日	10月	6日	12)	月15日	2,	月(予)	定))			中心的	なコ 場(リ	ーディネーター リストより選択)	公民	館職員	員(公民館長	··公民館	主事)
1	催数 予定)	4		回 開 (-	ቑ催₽ 予定															ま(その他を選択し ・役職を記入)	公臣	民館上	툿		
						運営	委員会	また	:は学	校i	運営協	議	会の協	品詞	養内	容及(いす	也域と	劦偅	ルた活動状況	兄				
244	\$ *** *	よく学び よく遊び よく働き 思いやりのある子 育目標 ・よく聴き、考え、学び合える子 ・友だちを大切にし、なかよく遊 ができる子																							
子化	〈教育	まく学び よく遊び よく働き 思いやりのある子 育目標 ・よく聴き、考え、学び合える子 ・友だちを大切にし、なかよく遊べる子 ・黙って掃除か とい子ど ができる子																							
た育	校教育目標 ・よく聴き、考え、学び合える子・友だちを大切にし、なかよく遊べる子・黙って掃除ができる子・気持ちよい挨拶・															挨拶•迈	支事								
運	[委員	ますされ とい子ど かできる子 の姿 を員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域 記の「地域と共有された育てたい子どもの次」について															也域	と協働した活	動	状況					
1	上記	の「地	1域	と共	有さ	れた	育てた	い子。	どもの)姿	」につ	いて	· C)	در	5.1公子	ri=	\ <i>\</i>	ファデ	L 글그 『 454 464 】 . 그드:	ナン	. J. J.	女 テと)、	7.184	
2							につい						С)				ンテイル 有され			71 C	4U/C	月(たい)	ナとも	0
3	地域	の実	情々	き課是	須に	つい	て						С) '2	2 7	できてい	いる	0		ついて学校とホ					
4	子ど	もにと	`\	な地	域貢	貢献が	ぶできる	かに	つい	て			C) ;						場所や交流スー 目的で使用する					
														T	1:	力働江	- 新-	17条和	n) -}	こボランティア	σ		ティア	80	人
5	教職	員の位	任月	月に厚	関す	る一点	般的な	要望	につい	いて				4	/ -	か割石 人数	1判	マングル	μ レ/	こいノイ ノイノ	v	参加者	当八級	213	人
	\top	科下	松石	の見句	子り	0	蒜 7	ょ聞かっ	计	\bigcirc	旧帝/	≥ β	上往今	_	+	カラブ	立	『活動	\cap	給食	ᅱ	人数	休み目		
	F	五.1.			1 7				~	\cup				╁		総合的				コロナウィルス対		\vdash	放課後	4 11.4	\vdash
地	,	土目	・長	畑 :期休氵	業	++	地域の				学習オ		(フィノ :(こども				間支	援		の消毒・清掃		;	体験*	学習	H
垣	-	教科	-•体	験学習		++	継承に	こ係る活	舌動	\cup	カフェ	<u>:</u>)との	り連携	+	- 18	ッ火子首 -	1、姓	天田可川常果)	$\vdash \vdash$	遠足•登山	\dashv	\dashv	体験を		H
杉			作	教育		Ш	山	際理解	牛	_		託児		L					Ц		_				
均学材協働記	1 A	交										in the second		-		100				1/3/		-13	1		
注 重		家 莲 •				以下(本) 全主 主人	File								-						1/4	3	-4	1	
σ.) 1	也或				8 6									-1					TV					
根要	t d	の 品 動	M												L							1			
	15 1	- -							t			1	Top				7					*			
	*	牧 狙 列		ゆうき	き給	食届	け隊(5	5/6))	\dashv		ク	'ラブラ	を抄	爰隊	ҟ(10/	<u>-</u>)	\dashv	地域を知る	ろう	隊	稲刈り(9	26))
	1,																		_	_ 31 _ 2				,	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

【クラブ支援隊】

今年度は昨年度より2つ多い8つのクラブ(バレーボール、ニュースポーツ、卓球、落語、折り紙、工作、囲碁将棋、地域めぐり)で地域の方の支援をいただいた。地域めぐりをのぞく7つのクラブは校内や隣接する町体育館で、地域めぐりクラブは町のマイクロバスを利用し町内を巡った。地域めぐりクラブでは町内の名所などとあわせ、旧東小にあるショップボット(木工加工機械)の体験を組み入れるなど、工夫していただいてい

クラブ活動は実質年4回の活動が確保されているが、日頃の授業とは違った体験ができるため、楽しみにしている児童が多い。 今年度新設され た落語クラブでは活動を通し話すことに自信をつけた児童や、情感込めてアナウンスをするようになった放送委員会所属の児童など、変容が 見られるようになった。

学	校σ)概	要	学校	名		松川	町	立	松丿	川北小		学校	当	校長		5	鈴才	マ 康貴		児童生	徒数	104	名
								Г	地域と	共に	こある	学校	づくり	\ <u>_</u>	向けた	士仕	組につ)L).	7					
					学	校道	運営に	必要なる	支援に係	₹るt	協議の:	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(サ	地域学	や校協働	本部)に	こついて	
運:	せ 季	昌会	:(信州	型:	13-13	ニティ	ィスクー	·ル) ()				の委	員構				0	ボラ	シティアのリストカ	ふる	ı			
7			(107)					,,,,	市町	, , , ,	~~	\circ			代表	Ш	0		ンティアの団体か	-, -	(//==////		いる)	
学村	☆運	受協	議会	(23	:	ティ	・スクー	-ル)	公臣	4		0			大表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会が	ある		
J 1.	~~	ш <i>и</i>	JHX A	(-		/ -1	,	,,,	地域コー 地域学校	ディネ 協働活	ーターや 動推進員	\circ		· 教以 - 校職	頁以外の ≹員			ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修	会があ	る	
	松丿	町	保育園	氢• /,	中	学校	運営協	議会	[その	り他の	の委員]	※具体	体的な	役職	名を記入	,	学校と	カ働	する様々な団体					
名																	や地域	との	連携調整を行う	地域コ	!ーディネータ		1	人
称																	職員以	外に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動推委員	学校協働 進員(教育 会の委嘱 けた者)	Ĩ	0	人
	^ =×-						5月12	日、10月	6日、1	2月]	15日、2	2月91	Ħ						ーディネーター	公民館	館職員(公	早館長・	公民館主	事)
	会議 催場		4	口	今年 開催	F度 崔日											の立	場(!	リストより選択)		H-1905 (24)	-VAH 2		. 4-7
	予定				(予	定)													k(その他を選択し ・役職を記入)	公民	能長			
				<u> </u>		29	2 学 禾	吕企士	+_ +	· #*	雷学协	金金人	~ ω ₩		中央で	754			かした活動状況	_				
			学	:7 K	今レハ			、ひとりで										加博	ルンパンロ 当月1人の	Ե				
学村	交教	育目		0 1	- · ·	H-C	, п.	, 0 0 ,	2 (2),	, _ (,,,	0477		J / -1 1	_ ,	, ,							
			ıl.	.曲ナ	12/2	萬心	よ大きく	,																
		ķ有さ こい子 シ姿	11 . 8	りあ	てを打	持つ	て主体	、 的に学	ぶ子 る子															
運	営委	員会	きまたり	は学	校運	営営	協議会で	での協議	内容(2	ト年 ノ	度もしく	は昨	年度)				j	地垣	はと協働した活	動物	犬況			
1	Ŀ≣	己の	「+th to	ポレ:	出右	ナナ	た苔	てたい	エ どもの	つ次	11501	いて												
		子どもにどんな地域貢献ができるかについて															ンティブ 有され		上記「地域と共 ^っ	有され	れた育て	たい	子ども	\bigcirc
2	学村	交連	宮へ	かり	必要	な支	送援に	ついて					0		3,13		.,		- 0					
3	地域の実情や課題について 子どもにどんな地域貢献ができるかについて														できて	いる	00		ついて学校とオ					0
4	子どもにどんな地域貢献ができるかについて 教職員の任用に関する一般的な要望について																		場所や交流スペ 目的で使用する					0
																			,,	7	ボランティン	7	58	人
5	教耶	哉員	の任	用1	こ関	する	一般的	的な要質	望につ	いて	-			4	協働活 人数	古動	に参加	11	とボランティア	_ <u> </u>	登録者人数	:		
															7 (3)						人数		178	人
		圣	き下校	このり	見守り)	0	読み聞	かせ	0	児童会	会、生	徒会		クラブ	、音	『活動	0	給食		ſ	木み時	間	
清掃 ICT 学習ボランラ													ティア	0		りな。 間支	学習の ・援	\circ	コロナウィルス対 の消毒・清掃			課後拳 体験学		
地	地 土目・長期休業 地域の伝統文化の 子ども食堂(防災学				遠足•登山		キャ!		頁(職場	
学-	域 教科・体験字習 継承に係る活動 カフェ)との担 学 人権教育 国際理解 託児																							
材料	数科· 体験字音														, ,	I B						15		5
偅	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·														-	9				4	-			
垣	5 h	庭							4	4	A		-	U.S	1/3		-	8				-	-	
O 相)	地域の							A STATE OF THE STA			-				K			14 4	9		1	To be	
要	l E	協働		5					a second		=	13		_				1				0 认		70
		した		1			12	例》	uids (teris			1			1	V	1	9	THE REAL PROPERTY.		1			X
粗 地域学习の口(5月9日) カラー											ラブ	壬和	(6月28	2 II)	2	主'它	学习	图(10月	18日)			
																青子	1	ョ (10月	10日	,				

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

そばクラブは、今年度より発足した新しいクラブです。発足に当たり、粉や水、道具の準備からそばを打って食すまで、大人でも何時間もかかってしまう大変な作業を45分間で行うという時間の問題に加え、コロナ感染症やアレルギー対策等、課題も山積みでした。しかし、講師の方が毎回活動計画書を作成してくださり、担当職員と講師の役割分担も示されていたため、なかなかいいコンビネーションでスムーズに活動を進めることができました。さらに、今回は「水回し」、次回は「こね」、その次は「切る」等、1回のクラブで、そば打ち全工程のどこかひと工程に絞って体験をさせ、その前後の工程は講師が行うといった工夫をしてくださり、45分間という短い時間の中で、子どもたちは毎回そば打ちの体験もでき、食すこともでき、満足感を得ることができました。子どもたちも会場に入るなり「今回はどこをやる?」と聞き、今日は自分たちがそば打ちのどの工程を教えてもらえるのか楽しみな様子でした。最終日には、保護者も来て一緒にそば打ち体験をしていただく予定です。講師の方が、学校の実情に寄り添い、全面的にバックアップをしてくださっているとともに、ただの体験ではなく「学び」をコーディネートしてくださっているおかげで、地域の方の温かさに触れながら充実したクラブ活動を行うことができました。

学	校σ)概要	学	校名	高森町	1	立高	森‡	上小	4	学校	当	学校長	松同	岡香代	:子			児i	童生徒数	t 11	4 名
		<u> </u>					「地域と	:共(こある:	学校	づくり]^	向けた	:仕	組につ	۱.)	7					
				Ħ	学校運営	に必要な	支援に係	系る [·]	協議の	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	域与	学校†	協働本部	につし	て
潘	台 禾	昌会(信	÷./.\/ ₹	刑コミュ	ニティスタ	ケール)			会議	の委	員構足	戊			0	ボラ	シンティアのリストが	ある)			
圧	与 女	貝云(旧	17112	エーヘム	— / 1/1/	, ,,,	市町	丁村:	教委	0	自治	会	代表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアの団体が	ある	5(組)	織化され	ている)	
学#	か:雷	骨协議	△ .(72,-	ティ・フィ	クール)〇		4	代表	0			表	\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換	奥会がある)	
1-1	人生	山川明玄	<u>م</u> (۱		7 4 20	<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	地域	ディネ 協働活	ベーターや 舌動推進員			· 教母 :校職	頁以外の	\bigcirc		ボラ	ンティアの方を対	象と	:した	研修会が	ある	
		ミぶきほ 重営協議			ユミュニ ラ	ティスクー	_				体的な行	殳職	名を記入		学坊い	カ働	する様々な団体					
名	/ レ.た	色色 防弱	找云				ほたる主任児		会委員 委員	長					や地域	との	連携調整を行う	地域=	コーディ	ィネーター	1	人
称							11,117		^								ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ			協働活員(教育		
															れ	の人	、数を記入)	委員)委嘱を	1	人
	会議			A.		和4年5月1 和5年2月1											ーディネーター Jストより選択)	学校』	職員((教頭及び刺	效頭以外	の職員)
屏	催舞	汝 2	2	回開	催日									ŀ								
(-	予定)		(1	定)												銭(その他を選択し ・役職を記入)	教頭	頁、C	CS担当教	員	
					運営	委員会ま	たは学	校	運営協	議会	の協	議	内容及	び均	也域と	劦偅	した活動状 源	2				
学村	交教	育目標								ふんり	ばる	おも	いやる	ひで	びきあう)						
66.1	N 11																					
		:有され :い子ど :次					ЩĢ	火•7	高森に	学び、	山吹	高	森を愛し	人、山	吹•高	森を	:想う子ども					
:雷:			t_1+	- 学坛::	10世纪 11世	会での協調	美内宓(7	木在	ロロ カンドロ かんしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅ かいしゅう かいしゅう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう しゅうしょう はいしょう はいしょ はいしょう はいしょ はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ	1+0-4	午 庄)				+	ah ta	はと協働した活	まれる	+ :D	1		
1						育てたい					+皮)							-				
								75	٠_ ارد ی	V . C	0	1	学校との姿」				上記「地域と共7 る。	有さ;	れた	で行てたい	・子ど	ŧ O
						について					0		地域の)実情	まや書	頃に	ついて学校とボ	ラン	/ティ	ィアで. 信	報共	有
					につい						0	2	できて	いる。	0		場所や交流スペ					
4	子と	ごもにと	Ĭh.	な地域	は 貢献か	バできるか	につい	て				3						部屋	量との	の兼用で		° ()
5	5 教職員の任用に関する一般的な要望について 4 協働活動に参加したボランティアの を対する ボランティア を経着人数 を対する 50															人						
)	2/1	7,2	111/	17 (- 17)	, ,	72117 052						_	人数						参加 人数		80	人
		登下	校	の見守り	b 0	読み聞	かせ	0	児童会	会、生	徒会				活動	0				休み		
			清			IC			学習は			0	総合的時	的な学 間支		0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		放課後 体験	学習	
封 +2		土日 教科	1・ 長 ∤•体	期休業 験学習		地域の伝統継承に係		0	子ども: カフェ	食堂(防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			キャリア 体験を		場
均勻材材值污	×. •			教育		国際理				託児												
f:	父力力	学 校	n V			and the	day				4		114			Z.	THE STATE OF THE S		-	CHEN		
個	力 F	家	V.		11	SALE!				4		and .	1								الرو	
重	力	庭 · 地					Land.			1				1				di			1	
相		域の	8	100												-		۵,				33
相	Ę	協 働				6							3	葡								7
		た				6/10				-	-				1			N				
		取 組 例		クラ	ブ活動	b(6月7日))		Name of Street	5学	之年和	IK)	り(10月	5日)		学校保任	建委	き員	会(8月	17日)	
		671								な協	働した	:活!	動の取締	組例					- \			
0	TT .//		5/1	0-17		写真の3つ た ビェベ										N容	を教えてくださし	(۱,				

・学校創立150周年事業の中で、地域の方々に学校行事を中心に参加していただく機会を多く取った。 ・学校保健委員会(8月19日実施)では、PTAに加え、地区方々、クラブの講師、学習ボランティアの方々に声をかけ、参加していただいた。前半は、本校児童の健康に関わる話題や新型コロナウイルス感染症に関する地元の医師の方からの話しを聞いた。後半は、小グループに分かれ、育てたい子どもの姿について話し合い、それを参加者で共有することができた。

学标	交の	概要	学	校名	高黎	阿		立		高森南	小	学校		学校長			塚起	支 を	野英		児	童生徒数	t 648	名
							Γ	地域と	共	こある	学杉	さづく	<u>, l</u>	へ向け	た仕	組につ	いいつ	7						
				:	学校選	営に必要	要なま	支援に係	系る	協議の	場					ボ	ランテ	イア	の組織化(地域	学校	協働本部)について	7
雷岩	*季]]	言小1	型コミュ	ニティ	スクール)				会議	をのす	5負構	成			0	ボラ	ンテ	ィアのリスト	があ	る			
建产	女员	RA (II	□7H2	主ーヘコ	L—/1					教委	\bigcirc	自	冶金	会代表		0	ボラ	ンテ	ィアの団体	があ	る(組	織化され	ている)	
学坛	温度	分协議	△ (73	-ティ	スクール)				代表	\circ			代表	0	0	ボラ	ンテ	ィアと学校の	の情報	報交担	奥会がある	5	
子仅	,Æ;	台 1707 时3	(,)		-/1:	~		地域コー 地域学校	ディネ 名働活	ベーターや 舌動推進員	0			対頭以外の 職員) 0	0	ボラ	ンテ	ィアの方を	対象	とした	研修会が	ある	
								_			※具	体的な	役	職名を記	入	学校と	お価	ナスホ	兼々な団体					
名。	+0	. Ш — 2		·= ,¬	. Э	(金)	举人	主任児 子育て		•						や地域	なとの	連携	調整を行う 一等が学校	AE-094	コーア	ィネーター	1	人
名称	ήlΩ,	生山?	、ユー	-フィ스	(<i>y</i> —):	レ運営協議	飛云									職員以	<u>人外</u> に	いる	- 寺か <u>字校</u> か(それぞ 記入)	地動委	推進員	交協働活 員(教育)委嘱を で者)		人
	->4-					柿の里コ	ミュニ	ティスク	7—,			5月26							ィネーター			(教頭及び	か頭 以外の	(昌舗
	:議 崔数		6	今 回 開	年度 催日	高森町小	中学	校運営	協詞	義会 4	月21	1月26 日 9	月1	.2日		の立	場(リ	リスト。	より選択)	1 1	<1H4.5~	(4,5,7,7,0)	M-98-0// 1 * 2	7144,5-4,7
	予定) (予定) 12月6日 運営委員会または学校運営協議会の より強く より豊かに 生きる 市田の子ども (1)ねばり預																							
		(予定) 12月6日 2月14日 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地 より強く より豊かに 生きる 市田の子ども (1)ねばり強く たくましい子ど (3)温かく思いやりのある子ども (3)温かく思いやりのある子ども (3)ないたい自分への挑戦」①自分の良さを知り自他を大切にする子ども ②意欲的に表現する子ども																		況				
			より	強く					**	÷ (1)ね(ばり強	<	たくまし	い子。	ども(体	:) (2) É	ら考え	実行				
学校	教育	育目標								(3))温/	かく思	15	やりのあれ	る子と	ごも(情)) (4	4) to	のごとにけ	けじめ	のま	らる子ども	」(意)	
た育	開催数 (予定) 6 回開催日 (予定) 高森町小中学校運営協議会 4月21日 9月12日 12月6日 2月14日 具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 建営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 **校教育目標 より強く より豊かに 生きる 市田の子ども (1) ねばり強く たくましい子ども(体) (2) 自ら考え 実行できる子ども(知(3) 温かく思いやりのある子ども(情) (4)ものごとにけじめのある子ども(意) 地域と共有されて育てたい子どもの姿 (3) ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢を大切にする子ども (3) ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢を大切にする子ども 重営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ 2 2 学校運営への必要な支援について ○ 2 3 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報できている。																							
運営	李	(3) 温かく思いやりのある子ども(情報															地域	ا طرژ	は働した!	壬動	状污	7.		
\equiv		### (3) 温かく思いやりのある子ども(3) 温かく思いやりのある子ども(4) 温かく思いやりのある子ども(2) 意な的に表現する子ども(2) 意欲的に表現する子ども(3) ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢を大き(3) ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢を大き(4) 最近に対して(4) 第2																						
-						1 5 00	15	:](C)						「地域と共	有さ	いれた	と育てたい	ハ子ども	\circ					
\vdash		② 意欲的に表現する子とも ③ ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢 資会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 文運営への必要な支援について 」 学校とボーの姿」が多 できている できている 「ないまた」といる。 「ないまた」といまた。 「ないまた」といまたまた。 「ないまた」といまた。 「ないまた」といまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまた。 「ないまたまたまた。 「ないまたまたまた。 「ないまたまたまたまた。 「ないまたまたまたまた。 「ないまたまたまたまたまたまた。 「ないまたまたまたまたまたまたまたまた。 「ないまたまたまたまたまたまたまたまたまた。 「ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた															目百1ヶ	~ 1.∵	ア学坛い	T, 2.	ゾテ	ノマベ ド	生把 北方	-
3 1	也垣	記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 0 1 学校とボラの姿」が判して 0 2 地域の実																						0
4	子と	もにる	どん	な地域	或貢南	犬ができ	るかり	につい	て			\subset) :											\circ
														協働	活動	に参加	mì <i>.†</i>	トボ	ランティブ	ア の		ンティア 者人数	85	人
5	 教暗	銭負の	任月	村に関	する	一般的為	よ要望	望につ	いて				4	4 人数		11000	пОТ	C.4.) v) - /	•/	参加	者延べ	100	人
	T	彩丁	マ校で	の見守	±n	○ 読。	ム関・	かせ	\cap	児童会	<u>ب</u>	上往今	+	カラ	ブ 立	『活動			給食		人数		時間	T
	ŀ	-57. 1		·掃	9	О вы	ICT			学習は			╂			学習の	\cap	コロ	ナウィルス	対策	Н	,	後教科•	
地	ŀ		日・長	期休業		地域の		文化の		子ピも					寺間支	援難訓練)			の消毒・清抽 遠足・登山		H	体験 キャリア教	学習 数育(職場	· ·
域	ŀ			験学習	X E			る活動	0)連携		例火于	一日(地	关此 1月 17年7	H	,	逐足。亞山	-	Н	体験を	(含む)	" ()
域学校協働活	ŀ	· 学 I	八惟	教育		玉	際理	E 月年			託児	A. seed		of 20th	-	4/					Ш			
協働		校	W				4	3		3		1/3		THE		4			-				The same	
活動		家 庭 •	N. Control	1		182		1						on law		1								
の		地域	1			11.7	1	·			B		1		-							8		
概要		協																						
	- [働 し た		S	F	15	4								7					1	N I			
		取 組	<u>щ</u>	年生-	타	i-ブくり (1	1日	4 F)		ケケは	つたー	丁作(0	/28	•10/12•1	n/98•	11/4•1	1/8)	ŧ	売み聞かっ	H- JI	ラン	ティア(日9.2万	∃)
		数													1/0/	ıΰ	ロッン1111/14.	达 41)	//	/1/(/14・9년	<i>⊒/</i>		

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

【4年生干し柿づくり】

《内容》干し柿作りで11月に柿の里コミュニティスクールの皮むきボランティアの方に教わりながら、柿の皮むき、燻蒸、つるし作業を行った。 《成果•効果》

- ・手慣れた皮むき名人のおかげで皮むきは子どもたちもピーラーで柿の皮むきができ、柿すだれができあがると「オレンジ色のカーテンみたいだ」などの声が上がっていた。
- た」などの声が上がっていた。 ・大豊作の柿を地域の方の手を借りながら自分たちで干し柿にできることに満足感をもてていた。 今回来てくださったボランティアの方からは「地域の伝統を子どもが体験し継承していくことにこの活動の意味がある」という言葉をいただいた。 このような地域の方の思いを子どもに伝えることで、子どもたちが地域とつながる自分を感じとっていくと思われる。

学校	の概要	学校名	ßi	可南町	<u> </u>	大	下条小	. :	学校	学	校長			木	下:	武	T	児童生	主徒数	95	名
					「地域。	と共に	こある!	学校	づくり]^	向けた	:仕	組につ	いて	ς						
			学校運営	営に必要	な支援に	係るは	協議の	場					ボラ	ランテ	ィア	の組織化(地	域学	2校協賃	かない (本部) (こついて	
運労	委員会(信	:川刊コミ-	ーティフ	カール)	\cap		会議	の委	員構反	戈				ボラ	ンテ	ィアのリストが	ある				
連吾	安貝云 (Ti	/川至 - (こ	1-71/	9. 10)	市	町村碁	教委	\bigcirc	自治	会任	代表	\bigcirc	0	ボラ	ンテ	ィアの団体が	ある	(組織(とされて	いる)	
治长	定学协学	ا د (جا≥ ،	, 7	71. 11.\	公	民館作	大表	0		`A代		\bigcirc		ボラ	ンテ	ィアと学校のヤ	青報	交換会	がある		
	運営協議			9—10)	地域コー地域学校	ーディネ 交協働活	ーターや 動推進員	\circ	学校長・ 学	· 教頭 校職		0		ボラ	ンテ	ィアの方を対象	象と	した研	多会があ	る	
٤	ちっ子育	成委員会	会				12				名を記入		学校と	ね働っ	ナスホ	兼々な団体 #	ilu delte			1	
名						11.045	€ 人権 泌ボラ				児童委	負	や地域	とのi	車携	調整を行う	也吸口	ーディネー	-4-	1	人
名 称					読み	聞かせ	ナボラン	ティブ					職員以	<u>(外</u> に	いる	13-(CAUC .					
					地元》	自沙区	11分団:	艮					れ	の人	数を		委員	会の委	属を		人
			5)	11日									中心的	なコー	ーデ	ィネーター ュ					
		4	年度 10	月5日 月7日													教育	委員会	職員		
			予定)	, i H																	
			\	4 .		34 I.L.S		A	- 1-			- 41					1				
	1		連四	李貝全	きまたは	字校词	連宮協	議会	きの協	議	7容及	VΙ	也域と	刕働	しだ	:沽動状況	,				
学校	教育目標	ともに学	び心ゆた	かでたく	ましいふ`	ちっ子	一の育品	戊													
	会議 開催数 (予定) 3 回																				
	会議 3																				
	地元消防団分団長 地元消防団分団長 和の人数を記入 動推進頁(教育 委員会の委嘱を受けた者) 受けた者 和の人数を記入 数育委員会職員 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択) 製育委員会職員 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択) 製育委員会職員 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択) 製育委員会職員 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択) 製作のな受職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) ともに学び心ゆたかでたくましいふちっ子の育成 ともに学び心ゆたかでたくましいふちっ子の育成 地域と共有され																				
運営	会議 3 回 今年度 10月5日 2月7日 中心的 の立刻 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日														と協	婦した活動	動物	犬況			
1	会議 開催数 3 回														Fig. I St. II. I		, ,	-2.	-		
		-														地域と共有	で	れた育	てたい	子ども	
2 =	产仪連名	への必要	学な文括	きについ	. (\circ		4-1411	<i>t</i> → 1:	± A-≃⊞ F	1±1) =		- 244-1 1Y			~ l±:	eπ 11 -	
3 均	也域の実	情や課題	頃につい	て					0	2	できて	ハる	0								\bigcirc
4	子どもにと	んな地域	域貢献	ができる	かについ	て				3											
											しわ ほしょ	r. ÆL	1 - 4 +	mì J	- 12:	5 ,5 ,7		ボランテー登録者丿		10	人
5 孝	対職員の	任用に関	関する一	般的な	要望につ	いて					励制に 人数	5期	に参加	IIし/3	[孙]	フンテイチリ	´ -	がかれるが		10	
				1														人数		40	人
	登下	校の見句	子り 〇	読み	聞かせ	0	児童会	会、生	徒会				活動	Ц		給食	toda .		休み馬	* *	
	L	清掃			CT	<u></u>	学習は	デラン: 	ティア		総合的時	りな ^会 間支		\circ		ナウィルス対策 D消毒・清掃	栽		放課後 体験学		
地		・長期休訓 ・・体験学習			伝統文化の 「係る活動)	子ども: カフェ				防災学習	習(避	難訓練)	0	ì	遠足・登山			rリア教育 体験を含	育(職場	0
域学校協働活		権教育			祭理解			託児	XE104										IT WALL	10/	
校	学							A. Land	M		1		(Call	111						-	194
働	校 · 家					alter)				h	No.	Ш			1/1/2		A-in	ā 6		5	
活動	庭	Age	• 6	-1-	1	III	1		A			J.	7.1				1	2			
の	地域	1	-	1	111	A		A	10	E	1	Z.	la de	Á			1	Van			
概要	協協				816				1	7			0	12		No.	2				THE REAL PROPERTY.
	働 し た	1	U,			A Section	1	Ch					-								
	p.L. ***) / ===	1/2 1	A	E 701	1		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		77 Zer (_ /-:		-								
all 防犯ボランティアとの顔合わせ(4/28) 防災											6/4					深見	.池:	学習(7/8)		
			(F M	写真の3	こっつまい									力灾。	七数	えてください	1)				

・学年ごとに防災学習を実施。阿南消防署、防災士、飯田建設事務所の方等に講師をお務めいただき、担任とTTで防災について学んだ 1年・2年:煙体験(煙の怖さや避難方法について、避難訓練)3・4年:土石流模型実演 5年非常持ち出し袋について 6年:応急手当(止血と 固定、応急担架の作成など)

・防災について、外部の方と一緒に学ぶことで、新鮮な気持ちでより自分事として取り組むことができた。また、参観日に合わせ、親子で学ぶことを通して、家庭でも防災について考えるきっかけとなった。

学标	校の概要	学校名	阿南	j町 立		和合	小	丝校	学	华校長	Ī	髙本	誠二郎	y	己童生徒	数	9	名
				「地域と	:共!	こある当	学校で	さくり	^۱	向けた	仕組にて	つい	τ					
		学	ዸ校運営に必要	な支援に	系る	協議の均	易				ボ	ランラ	ティアの組織化(地	域学	交協働本語	部)につ	いて	
演骨	禾昌仝(信	川刑コミュ	ニティスクール)			会議	の委員	構局	戊		0	ボラ	ランティアのリストカ	ぶある				
建百	女貝云 (旧	川至らくこ	-/1// ///	市町	丁村	教委		自治	会	代表	0	ボラ	ランティアの団体か	ある(;	組織化され	れている	5)	
学协	運営协業	<i>△(¬≥</i> –	ティ・スクール)		4	代表			`Af		0	ボラ	ランティアと学校の	情報交	を換会があ	る		
子仅	是 四 励 哦:	Z (-\-	711777 70)	地域学科	交協働	ベーターや 活動推進			· 教頭 :校職	類以外の :員		ボラ	ランティアの方を対	象とし	た研修会	がある		
3	チーム和合			[その		の委員]%	《具体	的な行	殳職	名を記入	224-4-1	1.++ t=1	L-714 . L-714					
A													する様々な団体 連携調整を行う	地域コー	ディネーター	1		人
名称													ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		校協働活			
													数を記入)		員(教育 :の委嘱を			人
			4月15日、2	2月15日							4.34		-1 L L	受け	rた者)			
	議			27,110 [ューディネーター リストより選択)	公民館	職員(公民館	官長・公臣	民館主	事)
	崔数 2 ·定)		崔日 ·定)								具体的	た役職	戦(その他を選択し					
(1	\L/		,										場・役職を記入)	公民館	官長			
			運営委員会	または学	校	運営協	議会	の協	議	内容及び	 が地域と	:協個	めした活動状況	2				
224	I.	かしこく ゞ	やさしく たくまし	ス														
子仪	教育目標																	
地域	と共有され	和合で育り	ち たくましく生															
た育	和合で育ち たくましく生きる子ども に育てたい子 どもの姿 型営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 〇																	
											III	_						
連営	委員会ま#	とは学校選	営協議会での	協議内容(2	本年	度もしく	は昨年	(度)		1		地垣	なと協働した活	動状	況			
1 -	上記の「地	域と共有	「された育てた	い子ども	の姿	ミ」につい	ハて	\circ		学校とボ	デランティ	アで	上記「地域と共々	有され	た育てた	い子と	<i>*</i> *5	0
2	学校運営・	への必要	な支援につい	て				\bigcirc	1	の姿」が	共有され	てい	る。					\cup
\vdash									_	地域の領	実情や課	題に	こついて学校とボ	ランラ	ーィアで、	情報共	有	\bigcirc
3 1	也域の美1	育や課題	について					\circ	2	できてい		~ -		0	28374 1-4-1			\cup
4	子どもにと	んな地域	は貢献ができる	らかについ	て				3				¦場所や交流スイ 目的で使用する					
										1+1417	4 0-4-	L)	2 11-1		ランティア	25		人
5	教職員の何	壬用に関	する一般的な	要望につ	1110	T			4	協働店 人数	動に参		たボランティア		は有人数 加者延べ			
										7 1 301				人		103	3	人
	登下	校の見守り	う 読み	は聞かせ	\circ	児童会	、生徒	ŧ会		クラブ、	部活動		給食		休	み時間		
		清掃		ICT		学習ボ	ランテ	イア			な学習の 支援	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		後教科 験学習	•	
地	401 451	・長期休業		伝統文化の	0	子ども食					(避難訓練)	遠足•登山		キャリア	教育(耶		0
域学校協	教件	体験学習権教育		二係る活動 祭理解	H	カフェ)	アライス 七児	- 1男				+		+	14年期中	を含む)	
校	学	作权月		尔·生/叶		Д	L)L						115/			or China	UL AU	Q.
協働	校 •				1			-	١.	1	60		A PARKET	1		10		
働活	家庭	1						1		The same				1	大人			in the
動の	地							7			III S	ST.			10			
概	切 の カ	A.							T			11						
要	働							1	11			M		and a	a T		e i	
	た取				N.		1			84	CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE	Y	W. N.	W.		•		¥.
	組例	地域花	壇の苗植え(6	6月9日)		Á	念仏呂	甬り0	D練	習(7月:	20日)		稲	XI]D(9月26日	1)		
			/ Lの写主の/	例 地域化域の開発(0月9日) 代表的な協働した														

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

○全校児童による米づくり

本校では、年間を通しチーム和合のボランティアの皆さんと全校で機械に頼らない米づくりを行っている。児童主体、教科横断的な学習活動 本代では、千旬を通じケーム和合のホノンノイルの皆さんと主代で機械に頼らない木・パッを打っている。元重主体、教科傾倒的な子音活動を展開し、子どもたちの豊かな感性育成をねらっている。現在までに、もみ蒔き、田おこし、田植え、田の草取り、稲刈り等の活動を終えた。児童は自ら問いを持ち、芽生えた課題を追究し、学びを積み重ねてきている。米づくりの専門家のみなさんから、一連の活動の方法や意味づけ、つながりについて学ぶ中で、他地域(機械化した農業)と和合の米づくりについて比較し、それぞれの良さに気づき、なお一層和合への愛着や手作業、安全性へのこだわりを持ってきた。児童は、米づくりや地域伝統行事の保存活動(念仏踊りの練習)、地域の景観維持活動(地域花壇の管理)を地域の方と共に行う中で自分ごととして捉え、和合の「ひとものこと」に学ぶ活動となっている。今後も児童が、和合の大自然の恵や伝統文化を肌で感じとり、豊かな感性を伸ばしつつ、活動の終末に向けて更に学びを深めていってくれることを願っている。

学校の概要学校名阿南	町	立	新野小	2	学校	学村	交長		野	寸 修治	ļ	児童生徒数	21	名
	Γ	地域と共	にある	学校:	づくり	」へ に	りけた(士組に	つい	て			*	
学校運営に	必要なる	支援に係る	る協議のは	場				7	^デ ラン	ティアの組織化(坩	地域学	校協働本部)	こついて	
運営委員会(信州型コミュニティスクー)			会議	の委員	員構瓦	戈		0	ボ	ランティアのリストか	ある			
連貫安貞云(旧川宝ュマユー) イバクー	7)	市町村	寸教委	0	自治	会代	表 (0	ボ	ランティアの団体か	ぶる (組織化されて	いる)	
学校運営協議会(コミュニティ・スクー	r .)	公民館		\circ		A代表		0	ボ	ランティアと学校の	情報	交換会がある		
	/V)	地域コーディ 地域学校協働				·教頭以 校職員)	ボ	ランティアの方を対	象とし	た研修会があ	つる	
新野学校コミュニティスクール			也の委員]			ひ 職名	を記入	学校	レ協価	する様々な団体	Life felt-un	ーディネーター	1	
名		民生児童	፪麥貝地區 比全育成₫		•			や地	域と0	連携調整を行う	地域コー	ーティネーター	1	人
名称								職員	以外	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 人数を記入)	動推定委員会	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を けた者)		人
△議 △左座 27日)					会(4	4月15	日、1月				地域信	主民		
(予定) 4 回 開催日 花の木	なかよし	し会反省会	会(12月14	4日)										Ţ
運営委	員会ま	たは学校	交運営協	議会	の協	議内	容及し	が地域と	└協信	助した活動状況	7			
学校教育目標 進んで学ぶ・やさしい	心・じょ	うぶな体・	だいすき	新野										
4														
運営委員会または学校運営協議会で	の協議	内容(本年	主度もしく	は昨年	(度				th:	或と協働した活	動状	· 況		
1					, <u>,</u>									
					0						有され	に育てたい	子ども	0
3 地域の実情や課題について					0		也域の身 ごきてい		果題に	こついて学校とオ	デラン ラ	ティアで、情	報共有	0
4 子どもにどんな地域貢献がで	きるかり	について			0					号場所や交流ス√ 目的で使用する				
5 教職員の任用に関する一般的	りな要望	望につい	て			// / -	協働活! 人数	動に参	加し	たボランティア	の 参	ランティア 学録者人数 かお番延べ 数	20	人人
登下校の見守り	読み聞	かせ(児童会		走会		クラブ、	部活動		給食		休み間	寺間	
清掃	ICT		学習ポ				総合的	よ学習の 支援		コロナウィルス対 の消毒・清掃		放課後		0
44 AL	或の伝統 承に係		子ども1	食堂(こ		ß		避難訓練	į)	遠足•登山		キャリア教体験を含	育(職場	
学 人権教育	国際理	1解	Ē	託児										
教科・体験字音 教科・体験字音 人権教育 学校・家庭・地域の協働した取象					To be a second									
All 小中合同での盆踊り講	'営会(7月26日)) 代表的:				11月2 の歌組			雪祭り	横笛	作り(11月4	日)	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

阿南町新野地区には国重要無形民俗文化財が二つあります。一つは「新野の盆踊り」、二つ目は「新野の雪祭り」です。この二つの祭りは室 町時代から約600年余り、祖先から受け継いできた宝です。

しかし、ここ新野でも少子高齢化が進み、伝統芸能の継承も困難になってきていますが、2002年に地元の方々が協力し「郷土芸能子ども教 室」を立ち上げ、小学校3年生から中学校3年生までを対象に、新野地区の伝統芸能、自然、言い伝え、文化財について学ぶ機会を提供して っただいています。

毎年1月の雪祭9の行列には郷土芸能子ども教室全員の子どもが横笛で参加します。新野小学校では雪祭りに向けて、隔年で5・6年生が雪 祭りで吹くための自分の横笛を自分の手で作製します。今年度の横笛の作製は11月4日から始まり、地域の方に来ていただき3回に分けて作 ぶっていていいロカック展出をロカック子とIF終しよう。マキ及の映画ッIF終は11月4日から始まり、地域の方に来ていたださ3回に分りて作製をします。横笛に使用する竹は山から採ってきて、日陰で2年間干した物を使用します。12月から地域の指導者に来ていただき3~6年生が篠笛練習を行い、休日に行われる郷土芸能子ども教室での全体練習を経て、1月13日の雪祭りお下りでの本番に備えます。地域の伝統文化の継承を、学校が地域と恊働して行っています。

学	交の	概要	学	校名	i	阳	南町	立	富	草小		学校	当	校長	小	林 正	彦		ļ	児童生徒	数 52	名
								「地域と	!共!	こある	学校	づくり	\ \^	向けた	c仕	組につ	いい	C				
					学校	運営	に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	校協働本語	邪)につい	て
運営	李	昌会(信	訓	型コミ	ュニラ	ティスク	ブー <i>バ</i>)(会議	の委	員構用	戊			0	ボラ	ンティアのリストが	ある			
Ą	1503	X A (1)	4/11_	т		12.02	7. 7	市町	丁村:	教委	\circ	自治	会:	代表		0	ボラ	ンティアの団体が	ある(組織化され	こている)	
学权	2.18	计协議	△ .(73.	ーテ	ノ・ フノ	ケール)		4	代表	\circ			表	0	0	ボラ	ンティアと学校の忖	青報ろ	を換会があ	る	
ナル	()(生)	当 1700 时交	五 (·		.—,,	1 - / / /				ベーターや 野動推進員			· 教母 :校職	頁以外の 員	0		ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会	がある	
1	学校	関係る	会	議			•	[そ	の他の	の委員]	※具(体的な行	少職	名を記入		学校し	力価	する様々な団体。				
名																や地域	との	連携調整を行う	也域コー	・ディネーター	0	人
称																		いろか(それぞ 」				
																		粉を記る)	委員会	会の委嘱を	0	人
		I				5月	18日	1月25日								H17.44	1727	_デノフータ _	受り	ナた者)		
																			卢校職	員(教頭及び	「教頭以外」	の職員)
			2													具体的な	2役職	(その他を選択しょ	*\====			
,	,,															た場合に	t立場	・役職を記入)				
								または学	校	運営協	議会	会の協	議	内容及	υţ	也域と	劦偅	した活動状況				
	会議 開催数 (予定)																					
子似	大学の 1																					
地域	会議 開催数 (予定) 2 中心的よコーケイペーター の立場(リストより選択) 学校職員(教頭及び教頭以外の職員 異体的な役職(その他を選択し た場合は立場・役職を配入) 教頭 連ば各員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 本んなかがやく富草小 こころ(やる気・やさしさ・助け合い) あたま(楽しむ・つくる・自分から) からだ(いのち・げんき・じりつ) ・明るく主体的に生活する子ども・優しい心を持ち、他とともに生きようとする子ども・富草の人、自然、産業に親しみや関心を寄せ、ふるさとに誇りと愛着を持つ子どもの姿 運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について つの次」が出有されている。 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」が出有されている。																					
た育	会議開催数 (予定) 2 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択) 学校職員(教頭及び教頭以外の職員) 具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 教頭 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 みんなかがやく富草小ころ(やる気・やさしさ・助け合い) あたま(楽しむ・つくる・自分から) からだ(いのち・げんき・じりつ) ・明るく主体的に生活する子ども・優しい心を持ち、他とともに生きようとする子ども・富草の人、自然、産業に親しみや関心を寄せ、ふるさとに誇りと愛着を持つ子どもの姿 ・富草の人、自然、産業に親しみや関心を寄せ、ふるさとに誇りと愛着を持つ子どもの姿 ・上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ・																					
	一																					
連宮	李	員会ま	たは	学校	連営	協議:	会での協	議内容(ス	本年	度もしく	は昨		ı			地垣	と協働した活動	助状	況			
1 .	上記	己の「坩	也域	と共	有さ	れた	育てたレ	子どもの	り姿	こにつ	いて	\circ	1	学校と	ボラ	ンティブ	って	上記「地域と共有	「され	た育てた	:い子ども	
2	学校	を運営	~(の必ら	要な	支援	について					0	1	の姿」7	が共	有され	てい	る。				
9	l-Uh -lsa	たの生	走 .	きませ	1百1ァ.	\sim 1.3	7						0	地域の	実	青や課題	題に	ついて学校とボ	ランラ	ティアで、	情報共有	Ī
₽												0					カ兄	担託の方法する	۰	が宗祥は	コルセス	
4	子と	きにと	ごん	な地	域貢	献か	ぶできるカ	パこつい	て				3					20 TO 1 TO 2 TO 1				\circ
														力 (新) 2	工科) = 22 +	n) J	・ボニッニュマ		ランティア 録者人数	16	人
5	教罪	銭員の	任月	用に	関する	るータ	般的な要	望につ	いて	-			4		古男	(に参り	L/	たボランティア <i>0</i>	´ ⊢	加者延べ	100	
Ш														, .,,						数	100	人
		登下	校	の見る	守り	\circ	読み間	別かせ	0	児童会	会、生	E徒会	\circ				0	給食			み時間	
	I		清	掃		0	IC	Т		学習ボ	ドラン	ティア	0		内なっ間支	学習の ・接	0	コロナウィルス対象の消毒・清掃	策		後教科・ 験学習	
地	.			期休		T	地域の伝継承に係			子ども: カフェ				防災学			0	遠足•登山	\dagger	キャリア	教育(職: を含む)	易〇
域 学	: 			教育			国際				託児									件被失	(4 E E E	
学校協	: -	学	•	200	E HERM			200		· ·		ALC: N				Total Control		6.		THE REAL PROPERTY.	9 /	_
頒働		校 •				1	4	14			1								SHA	W		
活		家 庭				1									11/2	3				1	711	
動の													7,	22	-	9		al a	-11			
概	の 概 の の														4	Ultr		NEW W	36		100	
要協働し																						
た取																		4		1		
w a 三紀層大根の種まき(9/9) ボランティアによる読。												読み間	引かっ	せ(5/9	9)	クラブ活動	力・ [7]	5災クラフ	(5/31))		
	# 三紀層大根の種まき(9/9) ボランティア 代表的な協働											備した	- 注:	計の形が	出加							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

クラブ活動では、手芸・編み物、ふっとふっと体操・空手、ペタンク、バトミントン、将棋、防災ミッションの7つのクラブに地域のボランティアの方が講師として、児童に指導をしてくださっている。年間8回のクラブに、児童が意欲的に活動できるように毎回準備をしてくださり、そのお陰で児童はクラブ活動をとても楽しみにしている。また地域の方々との連携や幅広い経験により、達成感や感謝の気持ちなどの情操が育っている。ボランティアの方も、子どもたちと関わることに喜びを感じ、継続して講師を引き受けてくださっている方が多い。職員も児童と共に、ボランティアの方から学ばせていただいている。

学	交の	概要	学	校名	阿智:	村	立阿	智質	有一小		学校		学校長	木	公澤 徿	汝			児童生徒	数	144	名
							「地域と	:共	にある	学核	さづくり	۱]٠	へ向けた	:仕	組につ	۱.	τ					
				Ė	学校運2	営に必要	な支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	マイアの組織化(地	域学	校協働本語	部)につ	ついて	
運営	李	昌会 (信	言小1月	型コミュ	ニティス	(クール)				多の多	委員構	成			0	ボラ	ンティアのリストが	ある				
Æ	196	4 A (II	1/112	E	- / ///	., ,,,			教委	\circ			会代表	\circ	0	ボラ	ンティアの団体が	ある	(組織化され	てい	る)	
学权	活蛋片	计边缘	会 (·	コミュー	ティ・ス	(クール)	\cap		代表	\circ			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会があ	る		
1 1	Œ	I MAIN	Δ (-7 -1 -2	., ,,,	地域一	ディネ協働活	ペーターや 舌動推進員	\circ			対頭以外の 職員			ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	がある		
	河智	第一	小学	校運営	當協議会	Ž			212				戦名を記入		学校し	カ価	する様々な団体					
名							保育園	職	員、学童	重クラ	ブ職員	€.	地域住戶	Ė	や地域	との	連携調整を行う	地域コ	ーディネーター		1	人
称															職員以	外に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動推	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を			人
			- 1		6	∃ o □ o	B 1 / D												けた者)			
	議			今:		72H 2	Л 14 П								中心的 の立	Jなコ 場(!	ーディネーター Jストより選択)	地域	住民			
	催数 (全)		2																			
					運営	学員 全	または学	₽校	運営協	3議:	会の物	記記	内容及	び	地域と	協価	 した活動状況	ļ,				
学校	き教育	2 回																				
地域	と共	2 回																				
た育	てた	2 回																				
	_		+_1+	一学扶紧	E 台 → □	¥☆ぶの:	协議市家/-		ロログラ ロップ ログラン ログ・ログ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう はんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしょう はんしょう しゅうしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しゅうしょう はんしょう しゅうしょう しゅうしょう はんしょう しゅうしょう しゅう しゅうしょう しゃ	1+ 11+	左 庄 \	T			-	바늄	たおぼれた	완선				
												H	1		,	吧場		到1/	())L			П
1	上記	10) ‡	也或	と共作	12117	こ育てた	い子ともの	ソ妥	こう	() (. (1						すされ	れた育てた	こい子	ども	0
$\overline{}$	• •						て				С)	HIN HOLD OF		.,, -,			'=\	ニアス	桂却	##	
3	地垣	と の 実	情々	や課題	iについ	いて					С) 2	できて	いる) _o		ついて学校とボ					\bigcirc
4	子と	もにと	ごん	な地域	成貢献:	ができる	かについ	て				3					場所や交流ス〜 目的で使用する					
													拉	壬壬	に参加	ת וח	たボランティアの		ドランティア 登録者人数	3	0	人
5	教耶	銭員の	任月	月に関	する-	般的な	要望につ	いて				4	人数	U 39.	NC 39-73	μО	C41/2//1/	Ź	参加者延べ	1	5	人
Н	T	7 ½ ⊤	:	の見守	b C	生っ	ょ聞かせ		児童会	<u></u> Д	上往今	+	カニー	ř +	7活動		給食	- /	人数	ュ み時間		\bigcap
	ŀ	·西: 1										╀			学習の		コロナウィルス対	策	放課	後教和	٠ ٩٠	
坩	,			:期休業		地域の	ICT 伝統文化の		学習オ子ども	食堂	(こども			間支	援	\cup	の消毒・清掃 遠足・登山	+	キャリア	験学習 *教育	職場	\cup
地域学校協働活動	ŀ			験学習 教育	<u>'</u>		ご係る活動際理解			:)との 託児	D連携 I	+	1000C F	(vel	- Alta HALINAS			+	体験	を含む	(S	H
校	-	学	へ作	秋月	1000	[五]	尔			ゖしだ	4			- S						1	1	Щ
協働		校 •									-						N.				-	
活動		家 庭 •		1	G	W.				4				1	1			-	191			
σ)	地 域				114							Land Street				- II ON		The same	点		
概要		の 協			14	50			1100	i i			6.					20				
		働 し た				4						E a						9	-			
		た 取 組	1-3	# r	10円	日兴/5	(20)		Ø	al-v	いケヨ	台台	学 /// **	(C. /	11)		カニーブレルトー	e }∋±r	年しの台:	注 (0	(01)	Ц
		例	東ロの田見学 (5/20) サップを ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														クラブ地域	(神	明との熱	莪(9)	(21)	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

・クラブ活動では、発足した10のクラブ全てに地域講師が入り、子どもたちとともに活動していただくことができた。地域講師は14人以上となり、 子どもたちのクラブ活動に対する満足度もあがった。

・最後のクラブ活動の後、地域講師と職員とで情報交換し、子どもたちの良い姿とともに、さらに伸ばしたいところを語り合う時間を設けた。職員の気づかなかった子どもの姿を教えてもらったり、課題を共有したりすることができた。地域の方と目指す子どもの姿を共有したことで、子どもたちへの支援・指導に役立てることができた。

学校	の概要	学校名	阿智村	†	立阿	智第	第二小		学校	2	学校長	奥	原成	子		ļ	尼童生徒	数 86	名
					地域と	:共(こある	学校	づくり	^۱	向けた	:仕	組につ	۱.) ۱	τ				
		Ė	学校運営	に必要な	支援に係	系る [*]	協議のは	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	域学	校協働本部	B)につい	τ
運営	委員会(信	州型コミュ	ニティスク	フール)			会議	の委	員構反	犮			0	ボラ	ランティアのリストが	ある			
Į	× ,	171111111111111111111111111111111111111	. 7 1/2 1/2	,,,	市町	「村	教委		自治	会	代表	\circ		ボラ	シティアの団体が	ある(組織化され	ている)	
学校:	雷	会(コミュニ	-ティ•マノ	フール)〇		4	代表	0			大表	0		ボラ	シティアと学校のヤ	青報で	交換会があ	る	
丁汉.	金白 Winx	A (\	-/4//		地域コー		・ーターや 5動推進員	\circ		· 教母 校職	質以外の 裁員			ボラ	シティアの方を対	象とし	た研修会だ	がある	
βē	「智第二	小学校コミ	ュニティン	スクール	[その	の他の	の委員]	※具体	本的な征	ひ 職	名を記入		224-t-1. H	ch IEI.	上スピ、お田生				
名					図書館	支担	爰員・友	備会	事務周	司			や地域	との	連携調整を行う	域コー	ーディネーター	1	人
称																	- 校協働活		
															粉を記る)	委員会	進員(教育 会の委嘱を		人
			1回	目 4月15	日(金)								rt. 2. 65	1+2-	ーディネーター .	受り	ナた者)		
会				目 2月21	日(火)										リストより選択)	一 の他	<u>h</u>		
開催		2 回開	催日 予定)										具体的な	2役職	哉(その他を選択し 「	7 1 -	松士拉旦		
	_/												た場合は	立場	易・役職を記入)	(音)	館支援員		
						校:	運営協	議会	€の協	議	内容及	び	地域と	劦偅	した活動状況				
学 炊き	新 去日堙	教育目標	「学ぶ子	はげむっ	子」 ·ふぃたく														
于仅4	地域を活性化する活動を進めていくたくましい子ども。 共有され たい子ど 地域の皆さんに見守られ、支えられて、つながり合い、学び合う子ども。 の姿																		
地域と	教育目標 重点目標「学ぼう」「つなげよう」「たくましく」 地域を活性化する活動を進めていくたくましい子ども。 と共有され でたい子ど の姿																		
		地域の皆	さんに見	寸りれ、メ	ええられ	(,	つなかり	分V	`、子()	合	り十とも	0							
·	- 1	F 17774777	東兴力= *	へったり	* 	- <i>-</i> -	# . ↓ ↓ ↓	1± n+	# # \	1			1	سل مان	+ 1.4カ <i>F</i> L よってき	-L J I:	20		
									年度)	ı		1	也坦	はど協働した活動	训认	沈			
1 4	:記の「±	也域と共有	すされた	育てたい	子どもの	り姿	」につい	ハて	0	1					上記「地域と共有	され	た育てた	い子ども	
2 学	校運営	への必要	な支援	について					0	1	の姿」を	が共	有され	てい	る。				
2 #	1歳の宝	情や課題	filrへい	T						2	地域の	実	青や課題	題に	ついて学校とボ	ランジ	ティアで、	青報共有	Î
\vdash										۷	できて			カ足	場所や交流スペ	-7	が学校は	ロアなる	+
4 J	こどもにと	ごんな地域	或貢献が	ぶできるか	につい	て			0	3					場的で使用する語				
											拉桶	七哥	リア会加	nì si	たボランティアの		ランティア 録者人数	30	人
5 孝	な職員の	任用に関	する一月	般的な要	望につ	いて	-			4	人数	5 野](二参刀	μС/	これノイナイナリ	´ ⊢	加者延べ	Γ0	1
Ш	T		1 1										1			人	.数	50	人
	登下	校の見守	:b ()	読み聞	かせ	0	児童会	₹、生	徒会				7活動	\circ				,時間	
		清掃	0	IC	Γ		学習ポ	ラン	ティア			りな:間支	学習の 泛援	0	コロナウィルス対象の消毒・清掃	턴		後教科・ 検学習	\circ
地		l・長期休業 A・体験学習		地域の伝統継承に係		0	子ども1 カフェ				防災学	望(避	難訓練)		遠足・登山			教育(職場 を含む)	易
域学		権教育		国際野				託児	上1万								Photo	200)	
域学校協働	学						2.6		2-744		£ 3	me ?			all a	Eliza	W	Add .	
働	校・	100 mg									in the same								
活動	庭			2	8.0			1	4	7		TO THE							
の	地域											1				1	-0-	0.1	
概要	の協	WHAT -							4						97		O,F		
安	働し		1				999 200		e consenio	MAN TO SERVICE STATE OF THE PARTY OF THE PAR	and the same		1000		62	-			
	た 取				ni ka		2 10						AND THE				with the	· ·	
	組例	放詞	3(5月9日					(6月1				お話	の会	≷(7月25	月)				
			/ 6	マウム	. O Bertie						動の取締			h da	大松ニナノセナロ				

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

2年生が毎年取り組んでいる大豆の栽培活動に、地域の団体「友備会(ゆうびかい)」の方々が指導や手伝いに入ってくださっている。本年度も大豆の種まき、大豆の収穫、大豆の脱穀に参加してくださる計画で進んでいる。大豆の種まきでは、10人以上の友備会の方が来てくださり、11人の子ども達に種まきの支援をしてくださった。専門的に農業に携わっている方も多く、作物についての知識を伝えてくれたり、命の大切さを語ってくれたりする。また、収穫までの成長の様子を丁寧に教えてくださったことが、観察を続けていく子ども達の意欲にもつながっている。今後、収穫できた大豆を使って豆腐や味噌などを作り、お世話になった友備会の皆さんに感謝の気持ちを伝える会を計画していくように考えている。地域や学校のために活動してくださっている友備会の方の思いを学ばせたいと考えている。

学校の概要 学校名 阿智村	立 阿智第三小	学校	学校長	藤升 覚		児童生徒数	女 63 名							
	「地域と共にある学	校づくり	」へ向け	た仕組につ	ついて		<u> </u>							
学校運営に必要な	は支援に係る協議の場			ボ -	ランティアの組織化	(地域学校協働本部)について							
運営委員会(信州型コミュニティスクール)	会議の	委員構成	戊	0	ボランティアのリス	トがある								
	市町村教委		会代表	0 0		本がある(組織化され								
学校運営協議会(コミュニティ・スクール) (公民館代表		`A代表 · 教頭以外の	0 0	ボランティアと学校	での情報交換会がある	る 							
	地域コーディネーターや 地域学校協働活動推進 員		·教頭以外の 校職員		ボランティアの方を	と対象とした研修会な	ぶある							
阿智第三小学校学校運営協議会	[その他の委員]※身	具体的な行	没職名を記		協働する様々な団体	本 地域コーディネーター	2 人							
名	民生児童委員 地域支援ボランティブ	ア「協育の	の会」代表	や地域	tとの連携調整を行ってネーター等が学校	5	2 人							
称	地域支援ボランティブ	7		職員以	メ <u>外</u> にいるか(それそ しの人数を記入)		人							
	2月15日				カなコーディネーター	- 地域住民								
会議 今年度					:場(リストより選択)									
(予定) (予定)					な役職(その他を選択し ま立場・役職を記入)	L								
運営委員会	または学校運営協議	会の協	(議内容)	ひび地域と	協働した活動な									
一 すすんで学ぶ子		, prod. 1 pol 4												
3 20 20 13 11 20														
サポトサイン 基礎基本の力をつけ、		えを持ち、自	目分の言葉で伝え	合う子										
れた育てたい 一 日口 再正感を尚め、久	運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動や で すすんで学ぶ子 こ 思いやりのある子 こ 心と体を鍛える子 こ 心と体を鍛える子 こ 自己肯定感を高め、友だちに優しい子 こ 自己肯定感を高め、友だちに優しい子 こ 一 二 一 二 元気な挨拶や返事ができ、地域と積極的に関わる子 ときの姿 こ 三 元気な挨拶や返事ができ、地域と積極的に関わる子 ときの姿 こ 一 一 一													
于2600岁 — 767(50)(127)		1		(d. 1-4-1 4-1e) (7 - LUV									
					地球と協働した	沽								
1 上記の 地域と共有された育てた	ハ子どもの姿」につい	いて〇				共有された育てた!	い子ども C							
2 学校運営への必要な支援につい	て	0	1 の姿」	が共有され	ている。									
3 地域の実情や課題について		0			題について学校と	ボランティアで、忄	青報共有 〇							
4 子どもにどんな地域貢献ができる	かについて		。ボラン	ティアの方	の居場所や交流に	スペースが学校内	にある。 〇							
						ボランティア								
5 教職員の任用に関する一般的な	要望について		4 協働の人		加したボランティ		54 人							
			V	奴		参加者延べ 人数	32 人							
登下校の見守り 〇 読み間	聞かせ ○ 児童会、	生徒会		ブ、部活動	○ 給食		時間							
清掃 IC	学習ボラジ	ンティア		的な学習の 持間支援	○ コロナウィルス の消毒・清		後教科・ 注学習							
*LOV (LEA W 70 () () () () () ()	統文化の 子ども食営 系る活動 カフェ)と			習(避難訓練)	遠足•登	キャリア教	效育(職場 と含む) ○							
坝	理解 託					11 000								
校協校				THE REAL PROPERTY.			ALC: N							
働 家														
古 _庭 動 ·					2		ШЩ							
の I ^地 int	MILE BE													
概 の 協		1												
140						_ to	A							
t.				1	1									
た 取 組 の 5年農作業体験(10月	12日) ニジマン	スの水も	易げ塩焼	き(8月26日	目) 和太	、鼓クラブ (9月22	2日)							

取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

阿智第三小学校の宝物であるニジマスの学習。①発眼卵からニジマスを飼育し、水槽や中庭の池で成長を観察する。②大沢地区にあるマス 一個で第二小子校の玉物であるーンマスの子音。①完成別からーンマスを飼育し、水僧や中庭の他で成長を観景する。②人代地区にあるマス池で、子どもたちが交代でえさやりをしたり、鳥よけを設置したりしてニジマスを飼育する。③地域のボランティアの方々に、沢の水の引き込みや池の周りの木の剪定、土手の草の管理等をしていただく。④育ててきたニジマスをボランティアの方々と一緒に水揚げし、高学年児童がさばき、塩焼きにしてお世話になった地域の方々やマス池の地主の方に配る。⑤まとめとしてこれまでの学習を振り返り、地域の方々にお礼の手紙を書いてお渡しする。この一連の活動を通して、命の大切さや地域・自然に対する敬愛の思いを育ててきている。今年度はコロナ禍では あったが、みんなで水揚げしたニジマスを高学年児童がさばき、ボランティアの方々が塩焼きするのを低学年がじっくり観察していた。学校・地域の伝統行事になりつつある。塩焼きしたニジマスは一人一尾ずつ学校でいただくと共に、家庭へ持ち帰り、家庭でも塩焼きを味わいながら、ニジマスから学んだことを家族で共有することができた。マス池の整備作業の時にはボランティアの方々やボマくださり、見守っ ていただいている。ボランティア・地域の方々から命の学習としての子どもたちの取り組みを認めていただき、「第三小の宝物」としての活動の 継続を願っていただいている。

学	校の	概要	学	校名	ß	了智村	t	立清	内趾	各小		学校		学校長	宫	澤 昭.				児童生徒	数 2	4	名
								「地域と	:共	にある!	学校	づくり	1	へ向けた	:仕	組につ	いっ	7					
					学核	速運営	に必要	な支援に	系る	協議の	場					ボラ	シフラ	イアの組織化(地	域学	校協働本部	引につい	ハて	
海	労 禾	員会(信	加用	IJ <i>¬</i> >.		ティスク	7— 1[.)			会議	の委	員構用	戊			0	ボラ	ンティアのリストが	ある				
進	百女.	貝太 (旧	ΉΞ	E	1—)	1/1/	, ,,,	市町	丁村	教委		自治	남순	代表	0		ボラ	ンティアの団体が	ある	(組織化され	している))	
24	·六、宝	当协举。	△ (-	·	-=	1.77	フール)		民館	代表	\circ			代表	\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	青報	交換会があ	る		
子) (区)	呂 励 酸:	云 (-	コミユ・	— У.	1 • ^>	/—/レ)	- 地域コー	ディジ 協働?	ドーターや 舌動推進員	0			頭以外の 職員	0		ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会:	がある		
		路小学			運営	協議	会(コミ:	ュ [そ	の他	の委員]	※具(体的な	役罪	は名を記入	,	学校と	z. 届h	する様々な団体	els lada	7			-
名称		1 /1/	,	, • ,												や地域	との	連携調整を行う	也吸二、	ーディネーター	1		人
称																職員以	外に	**な記す()	動推	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を けた者)			人
	△議			_	、左 🕏		11日、6	月2日、10)月2	1日、2)	月14	目						ーディネーター フトより選択)	その作	也			
開	催数	女 4	:	回開	催	1																	
(-	 一)		(了た													(その他を選択し ・役職を記入)	家庭	料理を味	わう会		
				•		運営	委員会	または覚	₽校	運営協	議会	会の協	諺	内容及	びt	也域と	劦偅	した活動状況	ļ				
224.1	nda +11		考え	とる子	が	んばる	5子 思	いやりのま	5る-	子													
字和	父教	育日標																					
	会議開催数 (予定) 4 回 常年度開催日(予定) 5月11日、6月2日、10月21日、2月14日 今年度開催日(予定) (予定) 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及学校教育目標 を校教育目標 (本名子 がんばる子 思いやりのある子どもできる子どもできてたい子どもの姿とできている。 (本年度もしくは昨年度) 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について (2) (学校運営への必要な支援について (3) 2 学校運営への必要な支援について (4) (本年度もしくは昨年度) 3 地域の実情や課題について (5) (本年度もしくは昨年度) 4 子どもにどんな地域貢献ができるかについて (5) (本書) 4 子どもにどんな地域貢献ができるかについて (5) (本書)																						
運	営委	員会まれ	たは	学校	運営	協議:	会での抗	協議内容(2	本年	度もしく	は昨	年度)				ţ	也均	と協働した活	動状	況			
1	上言	己の「掛	域	と共る	有さ	れた	育てた	ハ子どもの	の姿	ミルこつ	いて			24.11.2				Fu. 15.2 II. /					
												0	1			ンティア 有され		上記「地域と共有 る。	すざれ	いた育てた	い子ど	Ŧ	0
3	地填	或の実(情々	き課是	夏に	つい	T					0	2	地域のできて			夏に	ついて学校とボ	ラン	ティアで、	情報共	有	\circ
4	子と	ぎもにと	゚゙ん゛゙	な地	域貢	献か	ぶできる	かについ	て			0	3	ボラン	ティ	アの方の		場所や交流ス〜 目的で使用する				0	
																			才	 デンティア	45		人
5	教耶	戦員の位	任用	月に厚	員す	る一点	般的な	要望につ	いい				4	協働店 人数	古虭	」(こ参加	117	たボランティアの		登録者人数 診加者延べ	00		
										1										数	80		人
		登下	校の	り見句	子り	0	読み	聞かせ	0	児童会	会、生	E徒会				『活動	0	給食	Asho		外時間		
			清		II.6	Ш		CT		学習は					内な 間支	学習の 接	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	朿	体制	後教科·		0
t ti		土日 教科	・長 • 体	期休 験学	ングスタイプ	\circ	地域の位継承に	云統文化の 係る活動	0	子ども: カフェ				防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山		キャリア 体験	教育(睸 を含む)	場場	
Ė	学	人	権	教育		\circ	国际	浮理解		i	託児												
重ける	校協働活動の概要													(R4.9.2	21)			井戸で水の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さを体験	(R4.10	0.19	2)
																1) i) C/N°25	Œ	什吹	\11.1.1	J.14	-/

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

・今年度は、クラスの伝統食づくり(ほうば寿司)やクラブの「ほうば巻きづくり」で地域の「家庭料理を味わう会」の方々にお世話になる機会が複数回ありました。この「ほうば巻きづくり」では、児童達はまず学校の敷地内にある「ほうばの木」から自分の顔が隠れてしまうような大きなほうばの葉っぱを取るところから学習活動を始めます。そして「家庭料理を味わう会」の方々のご指導のもと、粉と水をこねて皮を作っていきます。あんを包めるような形にするのはちょっとしたコツと慣れを必要としますが、直接の手ほどきを受けながら、どんどん上手になっていく子ども達。そして自分自身の手でこねて丸めて包んだ「ほうば巻き」を、いよいよ蒸し器に並べて火にかけます。そしてしばらく待つと、ほうばの葉の良い香りがしてきます。ほうば巻きの皮の手触り、蒸し上がっていく時の葉っぱの匂い、子どもの頃のこのような五感を刺激する実体験は、大人になってからも体に刻まれ続けるものです。ふるさとの温かな思い出、ふるさとへの気持ちは、自分が生きていく上での自分自身への気持ちそのものであり、大人になったときに生きていく力そのものになると言えるでしょう。「ふるさと」とは、人間にとって自分そのもの。このほうば巻きづくりは、そんな人間の根っこを創るための、地域と学校との協働によって為される学校教育活動と言え、とても大切にしています。

学	校の	概要	学	校名	ß	可智村	立	浪合	小	学	校	学村	交長			北原	〔重一		児	童生徒	数	39	名
							「地域と	共にな	ある学	ዸ校づ	くり] ^ [句けた	仕	組につ	いい	C						
				学	校運営	営に必要な	支援に係	系る協語	義の場	見					ボ	ランラ	イアの組織化(ナ	也域	学校	協働本部	服)につ	いて	
海鱼	争禾	昌今(信	÷.l.l.∃	型コミュニ	ーティス	カール)			会議の	の委員	構瓦	戈			0	ボラ	ンティアのリストカ	があ	る				
建。	5女	e de l'ie	17112	Edit	-/1^	9. 70)	市町	丁村教	委 (0	自治	会代	表	\bigcirc		ボラ	ンティアの団体だ	があ	る(組	織化され	ている	5)	
22 T	L.V	V4 14 34	A /	. ,		.		民館代表	表(0	РТ	`A代ā	表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	報交換	奥会があ	る		
					アイ・ス	クール) 〇	地域コー	・ディネータ 協働活動	マーや 推進員	〇 学		·教頭以 校職員				ボラ	ンティアの方を対	才象。	とした	研修会為	がある		
	学核	逐運営協	協議	会				の他のす			りなぞ	ひ職名 しんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	を記入		学校し	お届い	する様々な団体						
名							なみあ 通年合								や地域	との	連携調整を行う	地域	コーデ	ィネーター	1		人
称							浪合駅			711							-ター等が <u>学校</u> いるか(それぞ	地址	或学校	協働活			
															れ	の人	数を記入)	委	員会の	員(教育)委嘱を			人
		1			5月	19日(木)	7月8	日(金))						H17.44	1727	ーディマーター		受けた	≥者)			
				今年	度 9月	22日(木)	12月	6日(少	()						中心的	場()	ストより選択)	地均	或住月	民			
)			14口(火)									具体的力	こ 役職	(その他を選択し	224	h-t		<u>، د. ب</u>	ъ	
(, AL.				-,													字位	仪文:	援コープ	アイ不	ータ	_
					運営	ま会員委割	たは学	校運	営協語	養会0	の協	議内	容及で	Сţ	也域と	協賃	した活動状法	兄					
22.F	2月14日 (火) 2月																						
字型	爻教]																						
批垣	と共	 佐数 (テ定) (ラ定) (ウェーディネーター																					
	てた	い子ど																					
		- '																					
運	営委	員会ま	たは	学校運	営協譲	会での協調	義内容(ス	本年度:	もしくに	ま昨年	度)					地域	と協働した活	動	状汎	2			
1	上記	己の「牡	也域	と共有	された	育てたい	子どもの	の姿」に	こつい	て	1 =	学校とは	ドラ	ンティン	アで_	上記「地域と共	有さ	いれた	育てた	い子と	Ľξ		
2	学村	交運営	~0	り必要な	な支援	そについて					\bigcirc	1 0	り姿」が	注	:有され	てい	る。						
3	地填	成の実	情々	き課題	こつい	て					\bigcirc		也域の? できてい			題に	ついて学校とな	ドラン	ンティ	ィアで、'	情報却	共有	\bigcirc
4	子と	ぎもにと	ごん	な地域	貢献	ができるか	につい	て				2 7	ドランラ	デイ)	アの方の		場所や交流ス 目的で使用する						
												Ħ							ボラン	ンボハい	37	_	人
5	教罪	戦員の	任月	月に関っ	する一	般的な要	望につ	いて				// / -	劦働活 人数	動	に参力		たボランティア	の		者人数	J		八
													八奴						参加 人数	者延べ	50)	人
		登下	校の	り見守り	0	読み聞	かせ	O 児	是童会	、生徒	会		クラブ	、音	『活動		給食			休み	,時間]	
	ľ		清	 掃		IC'	Γ	学	習ボ	ランティ	ィア		総合的時間			0	コロナウィルスタ				後教科 倹学習		0
坩	1			期休業		地域の伝統				堂(こ)		E	5災学習	**	- 40-4		遠足•登山		H	キャリア	教育()	職場	\bigcirc
垣				験学習		継承に係				との連	携	12	390 1 1	1 (VET	. XII. II/11/17/17				\vdash	体験	を含む	·)	
与核	<u> </u>	<i>ノ</i>	(権	教育		国際理	生)	0	Ħt.	汜													
均学材協任記 重	b L	校・		2/2		Transition in	No.			7							A STATE OF THE STA	- de	No.			//	
沒	1	家庭				Salara Control				4				100				V				A	
重 σ	þ	· 地			-	Also .	18/						9		12		2 4						
根	₹	域 の										1						3		-		8	
要	į	協働					2										No.		MI.			8	
	した 取													1	11		134/11	100	P	PA SE	W		
		取 組 例		畑	作業(5月18日)				詩	吟指	道	6月9日	∃)			全校そ	ば	打ち	会(6月	22日)	
	(トの写真の3つの取り組みの中から1つの											活動	の取組	1例		tı 🕬	太松 テ ナノム・ユ	1 2 2					

昨年度、なかなか大きく育たなかったトウモロコシ。 混合は、トウモロコシがおいしいことで有名なのにどうして大きく育たないんだろうと疑問に思った子どもたち。 そこで、 今年度は浪合学校支援ボランティアの方と一緒に、全学年でトウモロコシ栽培に取り組んだ。 土作りや肥料のやり方などをボランティアの方に教えていただきながら、「自分たちのトウモロコシ」を大切に育てた子どもたち。 収穫時に大きく育ったトウモロコシを見てとても喜んだ子どもたち。 自分たちが作った浪合のおいしいトウモロコシを嬉しそうに持ち帰った。 子どもたちは、様々な校外活動や地域の方と関わることによって、自分たちの住む地域に関心を持ち、その素晴らしさを再発見している。

学	校の	概要	学	校名	平谷村	十	<u> </u>	区谷	小		学校	Æ	学校長	權	田敬重	Ì			児童	直生徒数	21	名
							「地域	と共	にある	学校	さづくり	·	へ向けた	:仕	組につ	いい	C					
				=	学校運営	に必要	な支援に	係る	協議の	場					ボラ	ランラ	-ィアの組織化(地	地域的	学校协	協働本部)	について	•
雷位	季	昌仝(信	小川兀	1237	ニティス:	クール)				髪の妻	5負構/	戊			0	ボラ	ンティアのリストカ	ぶある	5			
建。	5 女 5	2	1/11 1			, ,,,	市		教委	\circ			代表		0	ボラ	ンティアの団体か	ぶある	5(組約	哉化されて	こいる)	
学科	が漏り	学 協議:	스(-	73	ティ・ス	ケール)		4.4	代表	0			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情幸	最交換	会がある		
1 1	X.E	III JUJI HAX	Δ (-		74 20	, ,• ,	地域=	ーディ 校協働	ネーターや 活動推進員			· 教员 :校職	頭以外の 戦員			ボラ	ンティアの方を対	象と	こしたね	研修会があ	ある	
	平谷	小学校	交学村	交運営	協議会				の委員]	※具	体的な	役職	名を記入		学校し	おあ	する様々な団体					
名								委員 所長	、保育原	近保書	進者代	表			や地域	との	連携調整を行う	地域:	コーディ	・ネーター	1	人
名 称							阿智	中学	校保護	者代	表	1			職員以	人外に	- V " D / J · C / C / C			協働活 (教育		
							集洛シル	文仮バー	員、学習 クラブ代	ョ文± :表	叐貝				れ	の人	数を記入)	委員		委嘱を	1	人
						27日	l l								中心的	うなコ	ーディネーター	その		111/		
	҈議 催数	t 2	,	今 回 開	十人文	1日									の立	場(リ	リストより選択)	~v,	川也			
	予定		´ [ˈ		定)												(その他を選択し ・役職を記入)			こし協力® ・接員)		
					\ 	.	\++ / -	بابل شدم	· *** 17		^ ^ H		中南亚	441				` •	百又	.抜貝)		
		1			建区	安貝克	ままたは	子仪	連呂版	あ詞表で	芸のほ	語	内谷及	, O	也吸と	肠惧	した活動状況	T.				
学校	交教育	育目標			かしこ	くなな	うよく ナ	こくす	ミしく	~進	しんで	学、	ぶ子	思	いやり)豊	かな子が	んし	ばり	ぬく子~	<u> </u>	
地域	と共	有され	0	自ら考	え自ら	判断し自	目ら行動で	トる子	_													
	てた						重し、お源を活か															
	_						協議内容		•			۱ م				바늄	と協働した活	击小	出油			
建设											 				-	104	にに励制した方	到1	ハル			П
1	上記	1001班	担政 と	と共有	1211172	育てた	い子ども	00多	と」につ	(\ \ (. 0	1			ンティブ 有され		上記「地域と共	有さ	れた	育てたい	子ども	
2	学校	炎運営	~Œ	必要	な支援	につい	て				0		3,13				- 0					
3	地填	ぱの実	情や	課題	につい	て					0	2	できて	いる	00		ついて学校とポ					\circ
4	子と	きにと	i.んた	よ地域	は 貢献が	ぶできる	かについ	いて			0	3					場所や交流スペ 目的で使用する					\circ
													拉桶油	七番	ルタカ	пì <i>4</i>	こボランティア	σ		ティア	10	人
5	教耶	銭員の	任用	に関	する一	般的な	要望に	ントル	T			4	人数	白 男 。	八二少刀	μС/	こいフィノイノ			当 八 派 当 延 べ	82	人
					. 1				I										人数			八
	L	登下	校の	見守	b 0	読み	い聞かせ	0	児童会	会、结	上徒会				活動	0		. Anhe		休み	* 1 * 4	
	L		清排				ICT	0	学習は			\circ		りなる	学習の :援	\circ	コロナウィルス対 の消毒・清掃			放課後 体験	学習	0
地	3			期休業 験学習			伝統文化の に係る活動				(こども)連携	0	防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山		0	キャリア教 体験を		
均学材協働記	5	人	、権孝	效育		国	際理解	С		託児	Ţ											
杉は	} }	学 校			1000		1	•			1	44	A	18	DOM:				(a. 5.4)	L Call	na fadi	
負	j	家			-				9	15		Z									11	
動	b	庭 • 地					m 5					M						8	7	4	加片	=
σ. 根	,	地 域 の		10		NEW YEAR								1	A S		of the last		4		MI	1
根要	ī	協働					PA-			Y			1	T.	and the							
	t-													1								N.
	組 5年白山淮南学羽(6月28日~7月12日) 丝											必密	基地で	 うくり	 ']		5,6年理	科当	学習 :	支援(11	~3月)	
	_																, - 1 · _ _		Н/	(-/4/	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

○単元内自由進度学習の授業づくりと実践

・1学期には5年生の国語と算数、2学期は3・4年生の社会と理科と図工、さらには全校による体育の単元内自由進度学習を行った。5年生の国語と算数、3・4年生の社会と理科は授業構想から教材の製作、学習環境の整備や学習カードの準備、さらには授業の実践を地域おこし協力隊で教員免許状をお持ちの鈴木さんが中心となり、本校職員がそのサポートに入る形で行った。12月に行った全校による体育(マット運動)では、本校職員が授業づくり・実践を行い、そのサポートを鈴木さんにしていただいた。また、単元内自由進度学習の指導者である東京学芸大学の佐野亮子先生とオンラインで授業づくりについて相談していただくなど、各方面とのつなぎ役にも鈴木さんにはなっていただいている。本校では今年度から、教育のさらなる魅力化を目的に単元内自由進度学習の取組を始めている。通常の授業と異なり、単元の始まるまでの準備にかなりの時間や手間がかかるこの学習を本校職員の負担をほとんど増すことなく、充実した質の高い学びの実践にできたのは、鈴木さんによるところが大きい。この単元内自由進度学習について多くの児童が「またやりたい」と感想を残しており、本校の目指す「自ら考え自ら判断し自ら行動する子」の具体に近づく実践になっている。

学	校の	概要	i 4	学校:	名	下	條村	立	下	條小		学校	学	校長			熊	谷 力		児童生	徒数	179	名
								「地域と	:共(こある	学校	づくり		向けた	:仕	組につ	いいつ	C					
					学村	交運営	に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランテ	イアの組織化(地	域学	学校協働	本部)に	こついて	'
運	李]余(信州	型コ	32=	ティスク	ブー/レ) C)		会議	の委	員構用				0	ボラ	ンティアのリストが	ぶある)			
Į	1 20 3	~ ~ (.114711		,	<i>y</i> -(<i>x</i> - <i>y</i>	,,,,	市町	丁村:	教委	0	自治	会	代表	0		ボラ	ンティアの団体が	ぶある	(組織化	されてい	ハる)	
学は	が無く	台切る	業△ ((73.	ューテ	· /• 7/	フール)		4	代表	0		`A什		0		ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会	がある		
71	八庄	± 1000 p	我云い	(1:20	, ,,,,			・ーターや 舌動推進員	\circ		· 教鴠 :校職	頁以外の :員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修	会があ	る	
	しも	じょつ	子力	ッセ	イカ会	試議		[その	の他の	の委員]	※具体	本的な行	殳職	名を記入	,	*****	d 141.	トッピ 、 ム回仕					
名																や地域	との	連携調整を行う	地域コ	ーディネー	ター	1	人
称																							
																			委員	会の委嘱			人
		1				全位	本会議 4/	/13•2/1	5							rts 2, 64	1+2-	ニュュー	受	とけた者)			
					今年	# 学林	交支援専門	月会議	5/18	8.10/5	/0								教育	子	職員		
			8	旦	開催	() 健 🖆	已育成専門	『会議	6/1	11/30						具体的な	¢役職	(その他を選択し	11. △	****	~ 首日		
	, ,-,					文化	ヒスポーツ	専門委.	員会	4/8•	10/12	2(※中	コのる	み)					任会	学教育 指	·导貝		
						運営	委員会は	たは学	校	運営協	議会	€の協	議	内容及	IJ.	也域と	協働	した活動状況	5				
学t	ち去かっ	는 다 된	自心	ら学	ぶ子 か子	しつか 【持ょる	語いない, か為晶】	1															
-1 1	会議 別催数 8 回 会体会議 4/13・2/15 学校支援専門会議 5/18・10/5 学校支援専門会議 4/21・11/9 健全育成専門会議 6/1・11/30 文化スポーツ専門委員会 4/8・10/12(※中のみ) 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協いを対する子【しつかり学習】 心豊かな子【おざそう じょうぶな子】 自ら学ぶ子【しつかり学習】 心豊かな子【おざそう じょうぶな子】 自 自ら学ぶ子【かざそう じょうぶな子】 1 自立できる子 2 笑顔あふれる子 2 笑顔あふれる子 3 下條を誇れる子 2 笑顔あふれる子 1 自立できる子 2 学校を訪れる子 2 学校を訪れる子 2 学校を訪れる子 3 下條を誇れる子 2 学校を訪れる子 3 下條を誇れる子 4 学校とボランティア・カッド 地域と共有された育てたい子どもの姿」について																						
一																							
た育	全体会議 4/13・2/15 全体会議 4/13・2/15 中心的なコーディネーター 物種重員教育 委員会の編修 要けた者) 中心的なコーディネーター の立場(リストより選択) 中心的なコーディネーター の立場(リストより選択) 教育委員会職員 操作的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」について 2 学校運営への必要な支援について 1 世域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 1 日本できる子 1 日本できる子 2 2 2 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4																						
VED -	_	ター年度 学校支援専門会議 5/18・10/5 キャリア教育専門会議 4/21・11/9 健全育成専門会議 6/1・11/30 文化スポーツ専門委員会 4/8・10/12(※中のみ) 運営委員会または学校運営協議会の協議内容 自ら学ぶ子【しつかり学習】 心豊かな子【持とう思いやり】 健やかな子【めざそう じょうぶな子】 1 自立できる子 2 笑顔あふれる子 2 笑顔あふれる子 2 笑顔あふれる子 3 下條を誇れる子 2 にどんなどでである。															المارا	いかにしょって	チレル	l			
理												牛度)					吧吗	と協働した活	割り	大 沉			
1	上訂	己の「	地域	はとま	も有さ	れた	育てたい	子どもの	り姿	」につ	いて	0	1						有され	れた育っ	(たい	子ども	
2	学校	を運営	営へ	の必	必要な	支援	について	•				0	1	の姿」7	が共	有され	てい	る。					
2	Hili ta	tan's	14.	電の	見る	~l\	7						9	地域の	実	青や課題	題に	ついて学校とボ	ラン	ケィア	で、情報	设共有	
													۷	できて			カ足	場所や交流スイ	° ·	フが学ね	か内ル	なる	
4	子と	きに	どん	なま	也域፤	貢献が	できるか	につい	て				3					易所で使用する					\circ
														拉桶	七番	ルタカ	пì <i>-</i>	たボランティア		ボランティ 登録者人		157	人
5	教耶	銭員の	の任	用に	関す	る一ヶ	般的な要	望につ	いて	-			4	人数	与 野,	1(こ参刀	μСΛ	このフィノイノ	`′ ⊢	参加者延	_	00	
																			/	人数		90	人
		登	下校	の見	守り	0	読み聞	かせ	0	児童会	₹、生	徒会				『活動	\circ	給食			休み時		
	ſ		清	掃			IC'	Т		学習ボ	デラン:	ティア	0		りなっ 間支	学習の :援	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		な課後巻 体験学		
地			:日・長 (科・位			0	地域の伝統継承に係			子ども: カフェ			0	防災学			0	遠足•登山	1			育(職場	0
均学	į -	42	人権				国際				託児	JE175								l-	P·明大·飞 巨	147	
均学 材 協	: -	学	V 112			ell'e		11/11			10/0	Sur	0			remarkan sa			Fo.	- PR - S		1	_
话便	h	校 •													rL	2.0						4	
冠	i	家庭.					and the	20												9			
σ.)	地域	~			di					1		A							1,	2		
根田	ŧ	の		1															1	A al		1	
萝	要協働し															P			d	10			
た 取													1	A	4	9			THE PARTY NAMED IN	V	3		
	組 じゃがじゃが応援団(4/12・5/25・7/7)													塾(6/2				交通	安	全教室	(4/26))	
										华丰的	ナントセ	ANI to	. 年1	助の取締	A An								

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

じゃがじゃじゃが応援団は、文字通り地域の方に教えてもらいながらジャガイモの栽培を行い、収穫されたイモを使っての販売活動及び感謝祭の計画・実施を行う活動です。参加児童は3年生で、種芋植えから地域の方(特に農業に携わってきている皆さんで結成されたじゃがじゃが応援団の方)に教えていただきます。実際の作業交流は「種イモ植え」「土寄せ作業」「収穫作業」の3回で、その後は学級内活動として販売活動を地域の人対象で行い、そこで得た資金や収穫したイモを使って活動を支えてくださった皆さんと収穫祭を行います。収穫祭では、地元の芋料理を教えていただいたこともあったようです。(近年は新型コロナの関係で収穫祭は行えていません)子ども達は、はじめは主体的に動けない姿がもありましたが、地域の方と育てているという自覚が出てくるとてんとう虫を素手で駆除するなど、農作業に一生懸命取り組むようになりました。また、応援団の皆さんからも「子どもから元気をもらえる」という声が聞かれ、地域活性にもつながる活動であると感じます。また、昨年度から地元のJAさんにもご協力をいただき、収穫量を多くするための肥料活用についても学んでいます。

		1			_																	
学	交の権	既要	学	校名	売木	村	立	売木小	<u> </u>		学校	牛	校長	濵	中浩				児童生徒	数	26	名
							「地均	或と共1	こある:	学校	づくり	۱^	向けた	:仕	組につ	いて						
					学校運	営に必要	な支援	に係る							ボラ	ランテ	ィアの組織化(均	也域	学校協働本部	B)につ	ついて	
運	李員	会(信	州型	型コミュ	ニティフ	(クール)	0				員構反				0		ンティアのリスト		_			
							-	有町村		0			代表	0	0		ンティアの団体				る)	
学村	を運営	協議	会(:	コミユニ	ニティ・フ	(クール)		公民館		0			代表	0	0		ンティアと学校の					
							地域:	学校協働活	5動推進員			校職		0		ボラ	ンティアの方を対	付象。	とした研修会	がある		
	うるぎ	っ子に	芯援	団			[その他	の委員]	※具体	本的な行	殳職	名を記入		学校と	協働す	上る様々な団体	Hit fat	コーディネーター		2	人
名															や地域	えとのj	車携調整を行う -ター等が学校	ALI ANA	P 744 2	•	۷.	八
称															職員り	<u>以外</u> に	いるか(それぞ		或学校協働活 推進員(教育			
															11	/0)人	数を記入)	委員	員会の委嘱を 受けた者)			人
•					<u></u>)5/23()											ーディネーター		是館職員(公民館	直長・小	早館主	:重)
	≩議 催数	2	:	9回開	十人人	12/6(2	(()								の立	場(リ	ストより選択)	211	以以区) 皮肤阳	110 12		. ' '
	定)				予定)												(その他を選択し ・役職を記入)	公	民館主事			
					*E 4	* 禾 吕 4	\±+_1-	+ 	電磁技	- - - - - - - - - - -	_ Ata	- 	古家で	761			した活動状況					
		T	Гг	5 <u>/</u> \		よう								ניט.	也墺∠	が関	した治乳仏	兀				
学村	校教育	目標	'	ョカ	かり	レムノ	_ 9 W	1/00	さつし	<u>_</u>]	ク月	ŊΧ	1									
			• F	1分1	ァ白信	が持つ	てスユ	レオ.	• 2 +-	△♯	金なえ	, Ц	れる	エ.レ	37.							
	と共有 てたい	1040				ロル・オマ 『を誇』										>h.	る子ども					
	もの姿	150		- / •	- 1947-1	- 6 4 3 4	,	_ 0	~		_,,		,,,	<u> </u>		. ,, •	3 ,23					
運	営委員	会ま	たは	学校证	軍営協調	養会での	協議内容	学(本年	度もしく	は昨	年度)				j	地域	と協働したほ	動	状況			
1	上記	の「批	地域	と共有	すされた	と育てた	い子ど	もの姿	こにつ	いて	0		学校レ	ボラ	シノテノブ	アでト	-記「地域と共	右さ	わた杏でた	・ルノユ	₽¥.	
2	学校	潘 登	~0	り、次更	シャマギ	爰につい)T					1			有され			HC	EA U/C FI C/C	1	C 0	0
													地域の)宝/	書や課	語に、	ついて学校とス	ボラ゛	シティアで	情報:	出右	
3	地域	の実	情々	き課題	ほこつい	いて					0	2	できて	いる) ₀							0
4	子ども	もにと	ん	な地域	或貢献	ができる	かにつ	いて			0	3					易所や交流ス 的で使用する					
													4カ ほんご	乙壬	.) z 2 2. h	nì &	. #=\	· _	ボランティア 登録者人数	8	0	人
5	教職	員の	任月	月に関	するー	一般的な	要望に	ついて				4	励制品 人数	5男	川こ参川	µ С/3	エボランティア	0)	参加者延べ		0	
	_																		人数		0	人
		登下	校の	り見守	:b C	読み	ょ聞かせ	. 0	児童会	会、生	徒会				7活動		給食	1 /-/-		み時間		
			清		C		ICT		学習ポ					りな! 間支	学習の Z援	\circ	コロナウィルスタ の消毒・清掃			後教和 験学習		0
地				期休業 験学習		地域の継承に	伝統文化 C係る活動	1の 動	子ども: カフェ				防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山	Ī	キャリア体験	教育(を含む		0
均学材協働 活				教育	-		際理解	,,		託児										<u> </u>	-,	
杉	学校	1900	-		-	1	7	1			1			ĸ.	100		THE PARTY NAMED IN		77			- 17
媑					計圖	TX.														Torre .	_	
担重	庭	The River		me ja			# 10 W				and the second								工作人	7 5	1	1
σ.) 地			100						4.		7	F A		NEW YORK	100	- PA-	6				
根要	は協			-	1	10		1					12	1	-					X		
	働した	40		M							1				1	Name of the last		1		N.		
	取組			(1)5	品の純	習(7月	20 E)	-	斯 於總	(5) 小	/仁N	行び	川り (9月	107	· □ /	Total	(3)みどりの少	在日	日本ベノハギ	r字 (r	日 97	
	例			(1)盆	.岬り㈱	百八月	∠U □)						リリ(9月 助の取 組				いかとりりが	十四	川洲・ノヘリ教	,主(9	月21	口)
					(上の	写真の	3つの取									内容を	を教えてくださ	い)				
\circ	取組の	の内容	۶(۶	でよう	な内容	を、どこ	で、誰と	取り組み	み、どの	ような	c成果·	や郊	カ果があ	った	こカュ)							

(2) 米作り(5年生) 【Iターンで移住されている方々が農業の手助けをしてくださる】 内容:代かき、田の水見、草取り、稲刈り等 場所:学校がお借りしている田んぼや村の苗床 誰と:地域で農業をしている方々や保護者 成果や効果:

①売木村でお米作りをしていく価値に気づく

②:山留生や保護者、地域の方々と協力し合ってお米作りをしていく大変さと喜び、道具の使い方を体験する③: Iターンして村に住み、農業を継続していく方々の熱意や思いにふれる

											ī									_	
学	校0	の概要	学校名	天育	龍村	立天	龍八	小学校		学校	今	校長	伊	藤美佐	子			児:	童生徒数	18	名
						「地域と	:共	にある	学校	づくり]^	向けた	:仕	組につ	いて						
				学校说	軍営に必要	要な支援に何	系る	協議の	場					ボラ	ランテ	ィアの組織化(坩	地域的	学校	協働本部)	について	
海	当禾	昌会(左	・小川刊 コミュ	, ーテ	ィスクール)			会議	の委	員構成	戈			0	ボラ	ンティアのリストカ	ぶある	5			
更	当女	貝云()	別生中へ	L—) /	1/1/2 ///	市町	丁村	教委	\circ	自治	会	代表	0	0	ボラ	ンティアの団体か	ぶある	る(組	織化されて	ている)	
224	兴 海	兴州学	A(-3 -	-= ,	7 h 11 \		4	代表	0		`At		0	0	ボラ	ンティアと学校の	情幸	R交担	奥会がある	1	
子位	汉連	占 励	云 (ユミユ-	-ソイ ・	スクール)	地域一		ペーターや 舌動推進員			教頭 交職員	以外の学 員	0	0	ボラ	ンティアの方を対	象と	とした	研修会が	ある	
	天育	龍学校(S運営委	員会				の委員]				名を記入									
h						教育县	融	務代理、	社会	教育員	Ę					する様々な団体 連携調整を行う	地域	コーデ	イネーター	1	人
名称														コーデ	イネー	-ター等が <u>学校</u> いるか(それぞ	地垣	成学校	を協働活		
																数を記入)			(教育委 嘱を受 者)	0	人
	会議	ė.			5月11日	、2月2日										ーディネーター ストより選択)	教育	育委	員会職員	į	
屏	催	数:	2 回 開													1000,000					
(-	予定	(1)	(-	予定)										具体的なた場合は	c役職 t立場	(その他を選択し ・役職を記入)	社会	会教	育委員長		
				ji	[営委員	会または覚	₽校	運営協	議会	の協	議	内容及	びナ	也域と	劦働	した活動状況	2				
			龍のごとく		さんふつ テノ	\															
学村	交教	育目標	恋をもつ 豊かな感	性を関	ヾ(かしこく) 善き(しなく	ァ ラかに)															
			心身ともに	こ健や	かに生き	る(たくましく	()														
HH k	北し+	は有され	「天龍力」																		
	すてた	こい子ど	地域発の	豊かれ	な学びを迫	通して、天龍	村で	ごなけれ	ばつ	かない	小力	を身につ	つけ	る。							
	営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																				
運	上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 〇 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども 〇 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0																				
1	上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について O 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども O 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2																				
2	学校運営への必要な支援について																				
3	地址	域の実	情や課題	質につ	いて					0	2				題に	ついて学校とボ	ラン	/ティ	アで、情	報共有	0
1	型域の美情や課題について ○ 2 できている。 ○ 2 できている。 ○ 3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。 ○ 3 (専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □																				
4	1 (_ 51/-0	- /U/よ1 <u>E</u> さ	以只用	N/A C C C	J/J~(C J(.	_			+	3	(専用の	の部	屋や他	の目	的で使用する			7,11.7.17	- */	Ц
5	粉目	離昌の	任田に関	まする	一般的な	要望につ	いて	_			4		5動	に参加	ロした	エボランティア			者人数	65	人
J	727	100000	11.11(二)	3 7 °W	/JXHJ/3	女主にっ	•	•			1	人数						参加 人数	者延べ	48	人
		登丁	校の見守	±ŋ	○ 読	み聞かせ	0	児童会	会、生	徒会		クラフ	广、音	『活動	\circ	給食		\circ	休み	時間	
			清掃		0	ICT		学習が	デラン ラ	ティア			内なっ	学習の	0	コロナウィルス対の消毒・清掃		1	放課後 体験		0
±	也	±1	1 長期休業	¥ K	地域の	伝統文化の	\circ	子ども	食堂(こども				-1 <u>反</u> (難訓練)	\cap	遠足•登山		\bigcirc	キャリア教	育(職場	0
填	或学交品		斗・体験学習 人権教育	f		に係る活動 際理解		カフェ	ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・・・・・・・・	連携									体験を	(급단)	
ħ.	交	学	CTE 4X FI					8	FL)L			3							9 11	William Co.	
負	品動	校・	To a	*				•		-				To a		TILE I		100	A W		
71	動舌	家庭										14					111				
0	助 の	地域				4/4		8		1.	Ty		1	9							
相	班 更	の協										天陽とかど	力大作用 BEEF				W	1			
3	Ż	働し		7							il	WAS F		4							
		た 取		1	THE S					1									1		
		組 例	ブッポウ	ソウ第	臭箱かけ((4月12日)						作戦(5				読書ボ	ラン	ケノ	ィア (7月	5月)	
				(F	の写直の	3つの取り		代表的 ・の中か								を教えてください	.1)				
\cap	野幺	田の内々	マ(どのト>			で 誰 上 取 が									3 12T (

【天龍ピカピカ大作戦】(5月26日)

大龍に がとが人作戦 [6月26日] 内容: 幹線道路を中心に学区内のゴミ拾い活動を全校で行い、学校に戻ってきてゴミの分別をする。 参加者: 児童、職員、教育委員会、役場の方、建設事務所の方、村民の方々 成果: ゴミについて知るために事前学習として5年生に向けて役場建設課の方にゴミの分別についての指導をしていただいた。当日はゴミ拾い・ 交通整理など児童と一緒に活動をしていただいた。 児童もゴミについて会話しながら拾うことで「天龍村を自分たちできれいにする」「天龍村をみ んなできれいにする」という意識が児童の心に芽生えるよい機会となった。

学校	その概要	学校名	泰阜村		立泰	阜小	,		学校	<u> </u>	学校長	小	牧 美	穂		児	己童生徒数	71	名
					「地域と			•	づくり)]^	へ向け	た仕	組にて	い	7				
		Ė	学校運営	こ必要な	な支援に	係る協								_	ティアの組織化(地均		交協働本部)	について	7
運営	委員会(信州型コミュ	ニティスク	ール)		I. I. /	- 11.0	の委	員構	· ·	/\ 	_	0		ランティアのリストがあ		enden (.)	-:	
					_	订村参 民館代		0			代表代表		0	-	ランティアの団体があ			こいる)	
学校	運営協調	長会 (コミュニ	ニティ・スク	ール)		4		0			I、衣 頭以外の	0	0		ランティアと学校の情			L -F	
	三白 一つ	ニティース	7t 1 .		地域コー 地域学校					校雅				1/2	ランティアの方を対象	1201	に研修会かる	める	
名称	や牛一へ				・有識・主任・社会・子どい(事務)	者(山 児童 体育! も応援 局:・	対留等 委員 指導員 経験より	学施! ()代表	設代表 そ者 ・ 係相詞	理保育	育所副原・公民()	· 所長 館主	や地域 コーデ <u>職員じ</u> れ	なとの イネ 人外!	○連携調整を行う ニーター等が <u>学校</u> にいるか(それぞ 地 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	域学 推進	ディネーター 校協働活 [員(教育 の委嘱を た者)	8	人 人
開作	議	5 回開	年度 (11	/9 授								·定	の立具体的な	:場(コーディネーター リストより選択) 職(その他を選択し 場・役職を記入)	育委	員会職員		
			運営	委員会	または負	学校道	運営協	議会	会の協	協議	内容及	とび	地域と	協信	動した活動状況				
学校	教育目標		間性を持て	ち, たく	ましく未来	でを切	り拓く	子どす	もの育	成									
た育	てたい子と	・自ら学び・相手の式	が,判断し, 立場に立っ	. 創造し って考え	ていく思 , 相手の	考, 態 立場(態度, 育 になっ	能力を て行	を高め い, 仲	る子 良く	こども く協力し	合う	子ども						
運営	委員会	- たは学校選	軍営協議会	きでの協	議内容(本年度	度もしく	は昨	年度)				:	地均		状	況		
1 _	上記の「	地域と共有	言された言	育てたい	・子どもの	の姿!	につ	いて	C)	3)/, [_l_b_1	,,,,			- I [1/1.1-4.) 11	(.)	2. 	→ 181	
\vdash						- 1-				1						きれ	た育てたい	、子とも	\circ
\vdash	選営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 豊かな人間性を持ち、たくましく未来を切り拓く子どもの育成 学校教育目標 ・素阜の自然や人から多くを学び、それらを生活に生かしていける子ども ・自ら学び、判断し、創造していく思考、態度、能力を高める子ども ・相手の立場に立って考え、相手の立場になって行い、仲良く協力し合う子ども ・体力の充実を図り、いかなる困難にもくじけない強い意志を持つ子ども 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 2 学校運営への必要な支援について 2 学校運営への必要な支援について 2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 できている。 できている。 本域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 できている。 本域の実情や課題について学校とボランティアの 本域の実情や課題について学校とボランティアの 本域の実情や課題について学校とボランティアの 本域の実情や課題について学校とボランティアの 本域の表述との兼用でも可) 本域の活動に参加したボランティアの 本域の活動に参加したボランティアの 大変奏者人数 大変検索人数 大変検索人数 大変検索人数 大変を表述して、 大変検索人数 大変検察人数 大変検索人数 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人数 大変検索人数 大変検察人数 大変検察人 大変検察人 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人数 大変検察人 大変検察																		
4	そどもに	どんな地域	或貢献が	できるス	かについ	て			С	3	ボラン	ケイ	アの方						
5 孝	数職員の)任用に関	引する一般	设的な 星	要望につ	いて				4		活動	に参加	II L	たボランティアの	登録	録者人数 加者延べ		人
Ш	74.		.10	=+: ¬	3B > 1		旧本	^ /I	./+ ^	-	4-	- A - A	775	ı	4A A	人			T
	豆	下校の見守	.,,		聞かせ	₩	児童会			<u> </u>			『活動 学習の		給食 、コロナウィルス対策		休みり放課後		+
		清掃 目•長期休業	é .		CT 統文化の		学習が子ども	-			#C I	持間さ	泛援	С	の消毒・清掃		体験:	学習	
地域	教	科•体験学習	1	継承に	係る活動		カフェ	:)との	連携		防災学	習(避	達難訓練)		遠足•登山	-	キャリア教体験を		77
学校協	学	人権教育	0	国防	理解	Щ	ESV.	託児		-0.00			Vije		Name Called Table				
協働活動の概要	校・家庭・地域の恊働した取	シガルー	クラブ読。	み聞か	世(月1[可)			筍掘	り体	5験4/	´28			自然	本験	学習7/	8	
			(すの?	つの 取 は						動の取 を選択			力宓	学を教えてください)			
() E	対組の内	容(どのよう												·14	てでおん くくだらい	,			
(カト ・本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ガルーが年児童をはコログガルーが場かせ	クラブ読み問の実態や季 の実態や季 ユナウィルス クラブの皆さ	聞かせ) を節に合っ 感染拡大 さんが様々 している姿	た内容 防止の な学年 なが見ら	の本を選 観点から 児童と関 れ, 読書	ぱび, - , 各当 わるご を好る	子ども7 学年毎 ことがて み, 自	たち! 教室 できる	こ読み で実加	・聞/ をし ロー	かせを征 ている。 テーシ	〒つ ̄ (※ ョン ̄	ている。 例年は で各学 ⁴	手の	学年単位で実施) 読み聞かせに当れ 童が増えた。また,			生触れる	こと

学	交の	既要	学校组	名	喬木村	t	立都	多木質	第一小		学校	<u> </u>	学校長	福	澤則	雄			児童生徒	数	300	名
							「地域	と共	にある	学材	交づくり	^را	へ向けた	七	組につ	いい	C					
				学	校運営	に必要	な支援に	係る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	学校協働本	部)に	ついて	
海位	∳禾 틭	 今 (信	ルルガー	S., -	ニティスク	7— 1].)	\cap		会請	養の多	委員構成	戊			0	ボラ	ンティアのリストか	ぶある)			
建	1 女 戶	(X ()p	川主山-	<u> </u>	-/ 1/\/	, ,,,	市	町村	教委	\circ	自治	台会	代表		0	ボラ	ンティアの団体が	ぶある	(組織化さ	れてい	る)	
当+	4.年况	小分学	۵ <i>(</i> ء>	- 3	ティック	7 1)	公	民館	代表	0			代表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	校換会があ	ある		
					ティ・スク	<i>/—/レ)</i>			ネーターや 舌動推進員			· 教 经校罪	頭以外の 戦員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	がある	5	
	喬木	第一小	、学校追	重営	協議会		_		212 12				名を記入		学校と	な価.	する様々な団体				_	-
名											長 保 法 民		長 児童委員	1	や地域	との	連携調整を行う	地東コ	ューディネーター		1	人
名称								,		, , , ,				`	職員以	外に	ーター等が <u>学校</u> いるか(それぞ 数を記入)	動推委員	学校恊働活 推員(教育 会の委嘱を			人
		Т	1 1		6月	9日(木)								由心体	1727	ーディネーター	受	そけた者)			
		,	ы	今年	E度 9月	26日(月 22日(オ	月) k)											公民的	館職員(公民	館長・公	公民館主	事)
		3	Щ				• •											公民	 是館長			
					運営	委員会	または	学校	運営協	3議:	会の協	鴔議	内容及	び	也域と	劦偑	した活動状況	7				
W. I.			世界の	人と	なるたと	めにナ	ルっぱい	うぐる	生きる	4ID ~	・・・・・ファ	183		- =	(*#) =	e 14.	とがにとっついい					
字形	開催数 (予定) 3 回 開催日 (予定) 2月22日(水) 具体的な役職(その他を選択した場合は立場・役職を記入) 公民館長 学校教育目標 T:知性(よく学ぶ子ども) K:心(自分も人も大拙にする子ども) 世界の人となるために 力いっぱい今を生きる T:知性(よく学ぶ子ども) K:心(自分も人も大拙にする子ども) G:元気(進んで体を鍛える子ども) 地域と共有された育てたい子どもの姿」について ロングとが出する。 ・今後人口が減る中で、地域を支える人材に ・自己肯定感を持てる子に ・あいさつをきっかけに温かい言葉のキャッチがた育てたい子どもの姿」を持てる子に ・「ふるさと喬木」に誇りともの姿 を持てる子に ・「ふるさと喬木」に誇りともの姿 を持てる子に ・「ふるさと喬木」に誇りとなが、ファイアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ロングとが、サイフ・アで上記「地域と共有された育てたい子どの姿」が、サイフ・アイアで上記「地域と共有された育てたい子どの姿」が、サイフ・アイアで上記「地域と共有された育でたい子どの姿」が、サイマ・アイア・アイアで上記「地域と共有なれている。																					
地垣	会議開催数 (予定) 3 回回 (日) 2月22日 (水) 中心的なコーディネーターの立場(リストより選択) 公民館職員(公民館長・公民館) 連営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 世界の人となるために 力いっぱい今を生きるで、おいさのをきる子ども) K:心(自分も人も大拙にする子ども) G:元気(進んで体を鍛える子ども) で体を鍛える子ども) 地域と共有されでしてつながっていく子に ・SNS、ゲーム、動画に振り回されずに、ICT機器を使いこなす子に ・「ふるさと喬木」に誇りと愛を持てる子に で持てる子に 工まの「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ・学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ・学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」について																					
正常合は立場・役職を記入) 公氏期長															りと愛え	看						
		ζ.																				
連	宫委員	会ま	たは学校	交連	営協議:	会でのた	協議内容	(本年	度もしく	(は的	F年度) -	L				地垣	と協働した活	動り	犬況			
1	上記	の「地	1域と共	ķ有	された	育てた	い子ども	の姿	いにつ	いて		1	学校と	ボラ	ンティブ	っで_	上記「地域と共石	有され	れた育てカ	とい子	ども	
2	学校	運営	への必	要7	な支援	につい	て				0		の姿」	が共	有され	てい	る。					
3	地域	の実	青や課	題	こつい	T					0	2	地域の できて			題に	ついて学校とポ	ラン	ケィアで、	情報	共有	0
4	子ど	もにと	んな地	也域	貢献が	できる	かについ	ハて			0	3	ボラン	ティ	アの方の		場所や交流スイ 目的で使用する					
											+	t						7	ボランティア		24	人
5	教職	員の	任用に	関~	する一点	設的な	要望に~	2110	(4	協働流 人数	舌動	に参加		とボランティア		登録者人数 参加者延べ	Í		
													八奴						人数	(38	人
	T	登下	校の見	守り	0	読み	聞かせ	0	児童	会、生	生徒会		クラフ	が、音	『活動	\circ	給食	T	休	み時	間	
			清掃		0	I	СТ		学習は	ボラン	ノティア		総合的時	内なっ 間支	学習の 接	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃			₹後教 験学		
地	! -		・長期付・体験等				云統文化の 「係る活動				:(こども の連携				難訓練)		遠足•登山		キャリフ		(職場	0
垣 学 杉 ໄ		J	権教育	Ĩ		国际	祭理解			託児	E											
杉は		ž į		1 P	T CAN		100	6	V	18	- 33			M	- Distance			eans.			No. of Street	
賃		₹ .		-			1				400							A	7			
(種) 注]	Ĭ		1/2		bel		1											1		Marke.	P
σ. 根) [7	龙							10	-	П		100		B						10.	
世	<u>t</u>	in the second se					1	1	8.1		10	K		-					现人	N. Arth		
	1: 1: 7	,				1						-		1			2 L					
	I	Ż H	7.) 	ガ江部	(年期の	·回)			/t±	主州の	八半	77 P	19			主の	/六2	羽(年即5	(m)		ts Pr
	D1												習(7月 動の取				友(),	/子1	習(年間:)凹/		

- 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)
- ○麦の学習について(活動の過程は以下のようになっている)
- 5年生の秋に麦まきをして、冬に麦踏みを行う。年度をまたいで、6年生の春に畑の草取りをして、夏に収穫し、秋には収穫した麦を使ってピ ザを作る。
- ・JA女性部の中にある「スピカ」というチームが、地域食材として麦を栽培する活動に取り組んでいる。その方々から、学校で児童と一緒に栽培
- 「角々性部の中にめる」へとか」という。 本が、地域を何として及る様のようの自動にもなった。 こうが、から、「はくいま」 があるでいたいという提案があり、5年生が取り組んでいる。
 ・基本的に野外で行う活動なので、換気やソーシャルディスタンスの確保がしやすく、コロナ対策を徹底しながら取り組むことができている。 最後の調理活動については、人数を分けたり、調理場所を増やしたりして、対応しながら進めることを考えている。
 ・稲作だけでなく麦の栽培にも取り組むことで、子どもたちは食について考える機会を多く持つことができ、日頃の食事についても意識を高めて
- いる。

学	交の	概要	当	学校名	喬木	村	立	喬木	第二	小		学校	<u> </u>	学校長	北	沢 敦				児童生徒	数	35	名
							「地均	或とま	もにま	ある学	学校	づくり]^	向けた	:仕	組につ) [1	7					
				Ť	学校運	営に必要	な支援	に係	る協詞	義の均	易					ボラ	ランラ	ティアの組織化(坎	域等	学校協働本i	部)につ	いて	
運営	李]会(∙	信州	型コミュ	ニティフ	マクール)	0				の委	員構用	戊				ボラ	シンティアのリストカ	ぶある				
Ų	1503	441	10711	Τ	. 2 .12	., ,.,	Ī		寸教多	_	\bigcirc			代表	0			シティアの団体か	-, 4	(1=1)(150)		5)	
学杯	演) 協議	条 会((コミュニ	ティ・フ	(クール)	l —		館代ま	_	0			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	及交換会があ	る		
							地域	ローデ 学校協作	ィネータ 動活動打	生進員	\circ		校職	頭以外の 裁員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	がある		
	喬木	第二	.小学	校学校	逐運営	協議会						体的な行	殳職	名を記入		学校と	カイ かんしゅう かんかん かんかん かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう おいま おいま かんしゅう かんしゅ しゅん しゅん しゅん しゃ	する様々な団体					
名										ィア代 は代表						や地域	との	連携調整を行う	地東=	ューディネーター	1		人
称								,,,,,,,			•					職員以	<u>(外</u> に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ	地域	学校協働活動			
																れ	の人	、数を記入)		員(教育委員会 嘱を受けた者)			人
					6.	月9日(7	k)									中心的	なコ	ーディネーター	/ □ =#	者(PTA)			
	҈議 催数	,	3	今年 同 開	年度 2	0月5日(月22日((水) (水)									の立	場(!	リストより選択)		(FIA)			
	定		Ü		定)													哉(その他を選択し 場・役職を記入)	PT <i>A</i>	A役員			
					***	쓰루 무 /	\++.I-	T 777 T	华/面 /	44 JJ 1	=# <i>/</i>	> ~ t	- 	ch cia TL	7 61			がした活動状況	_				
			白白	ら学ぶ-		当安貝を								內谷及	.O.	也吸と	肠惧	がした 古野 仏が	C				
学校	教育	育目標		J 1 43	,	1) 1010	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ 0	, _	(// .	5.11	, 1	- 0										
			• 学	さび合う	授業を	·通して、	主体的	こ学	習活重	助に形	文り糸	月まり子	レ*‡、										
		有され い子と	. 互	こいに認	ぬ合V	、違い	やよさをク	感じる	ううこ。	とのて	きる	5子ども)		1 8.7								
	もの	姿	• 11	也域の人	·, ce,	ものと積	種的に	関わ	り、地	域を	変す	「ること	0)7	ぐさる子	ども								
運営	(委	員会記	またに	は学校選	運営協 詞	義会での	協議内容	家(本:	年度も	きしくに	は昨	年度)				;	地垣	と協働した活	動丬	犬況			
1	上記	<u>∃</u> の「	地域	と共有	iされ t	を育てた	い子ど	もの	姿」に	こつし	いて			学校と	ボラ	シティ	アで	上記「地域と共	古さ	わた杏でだ	-1.1.子	Ľ₹.	
2	学权	活電信	せへ	の必要	かすキ	爰につい	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						1			有され			H C	AU/CE C/	_4 . 1	<u> </u>	\circ
\vdash												0		地域の	実(青や課	類に	ついて学校とオ	ゔラン	/ティアで.	情報:	 上 右	_
-				や課題								0	2	できて	いる	0		場所や交流スペ					\circ
4	子と	もに	どん	な地域	以貢献	ができる	うかにつ	いて				0	3					制ので使用する					\circ
			, -	<u> </u>										協働沒	壬重	 に	<u></u> г. П	たボランティア		ボランティア 登録者人数			人
5	教耶	銭員∅)任)	用に関	するー	一般的な	要望に	.つV`	て				4	人数	LJ 25/J	1(0)//	μО	C4170 / 1/		参加者延べ	7	a	人
Н	-	7V-	₩	の日本	in 1	;± ¬	、日日.2. 17	. 1.	\ I=	ュキヘ		- 4 : 人		h	ماب الو	7.江玉		A A3	4	人数			<u>ハ</u>
	ŀ	兌		の見守	b C	+	メ聞かせ	- (+-			E徒会				『活動 学習の	\cup	給食 コロナウィルス対	·笹		み時間 !後教和	•	
	L			f掃 長期休業			ICT					ティア			間支		0	の消毒・清掃		体	験学習	ı	
地 域		土教	ロ・ ₁ 科・仏	▼期休業 体験学習		継承に	伝統文化 こ係る活動	動		ともま カフェ)		(こども)連携		防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山		キャリア 体験	教育し		0
学	数科·体验字音 継承に係る店動																						
協		学 校					-				S							1章	1		arrives.	11	
働		家				0	-	ë l		X			5	12	h			A COMPANY		11/1		W	
動		庭 · 地	4	4	E ALL					NI W			a	Min and and	V	A						A	
の概	'	域の	- 3	##			-			1	K	PART!			1	Par.					1		
要		協働		群群		-	-	8					-	Jane 1	31	Mary Mary	100		la y				
		た		II-HTH		F	-	0/		100	50.		7,10	- य	1	V	N. C.						
		取	クラン	ブ(全4	回5/1	0.5/24	·6/16·	7/5)			THE PARTY NAMED IN	稲刈り)(1	0月3日	∃)			地域講師招聘	粤(슄	≥3回6/30	•7/15	5.7/2	21)
	_	נילו		,,	, -/ 1	-/ = 1	-, -0	, 5)		表的力		_		動の取締				= 23504 (1.14 1.	- \-	, 30	, = 4	-, -	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

総合的な学習の時間(3~6年生)「地域の歴史を知る~地域の方にお話を聞こう~」

総合的な学習の時間(3~6年生)「地域の歴史を知る~地域の方にお話を聞こう~」 今年度本校が150周年を迎えたことから、「学校・地域の歴史について」学ぶことをテーマに据えた。本校の伝統的な活動「銀嶺太鼓」、学 有林を活用した「山学習」、喬木第二小学校の歴史、伝統文化である陶芸「富田焼」についての4グループで、調べ学習を行った。その中で 地域の支援者の方々に、インタビュー活動をしたり、お話をお聞きしたりし、資料も参考にしながら、Googleスライドで調べたことをまとめた。 また、10月22日に行われた「創立150周年記念行事」で、地域の皆さんに向けて発表した。子どもたちは、昔の歴史をよく知ることができ、 自分たちが通う学校や地域のことをさらに好きになり、地域のことを大切にしていきたいという気持ちを高めることができた。

学校	の概要	学校名	豊丘	村	立豊	丘南	可小	Ä	学校	当	校長	牧	内 優	幸			児童生徒	数 24	16 名
					「地域と	共印	こある	学校つ	うくり]^	向けた	仕	組にて	いい	τ				
			学校運	営に必要	な支援に係	系る	協議の:	場					ボ	ランラ	ティアの組織化(地	域学	学校協働本部	形)につい	いて
運営委	兵員会(信	州型コミュ	ュニティン	スクール)	0		- 11.01	の委員		-			0	ボラ	ランティアのリストが	ある)		
Æ II s	X A VIE	1/11 <u>T</u> . <-	/ - /-	, ,,,	市町		教委	\circ			代表		0	ボラ	シティアの団体が	ある	(組織化され	いている)	
学校记	雷	会(コミュニ	ニティ・フ	スクール)			代表	0			表	0	0	ボラ	シティアと学校の	情報	及換会があ	る	
						員	ーターや 活動推進	0	学	校職			0	ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	がある	
		ミュニティ 『」運営委		ール・地域				※具体	的な行	ひ 職	名を記入		学校と	協働	する様々な団体	uh kat:	1ーディネーター	3	
名称	. 1443 1-53° 1 H	MACHA			社会教 民生児								や地域	えとの	連携調整を行う	也域一		3	人
称					豊丘村	ナ子と	ども課長	Ę					職員以	外に	こいるか(それぞ		学校協働活 推員(教育		
													<i>វ</i> 1	,の) 人	、数を記入)	委員	会の委嘱をとけた者)	0	人
^=	*		第	第1回令和 第2回令和	4年 6月 4年 10月	13	日(月)日(木)								ーディネーター	公民任	館職員(公民館	景•公民	館主事)
会認開催		9 回開	年度 第	第 3回令和	5年 3月5	実施	予定						0) <u>17</u>	.場(!	リストより選択)				
(予)	定)	(=	予定)												戦(その他を選択し 場・役職を記入)	豊丘	E 村公民館	長	
			運	生	または学	校	運営協	議会	の協	議	内容及	びり	也域と	協賃	した活動状況	2			
P4+7-4	で育てたい子どもの姿 重営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 ・ 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ プロタックで上記「地域と共有された育てたい子ども																		
子仪和	学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ロッシュが出有された育てたい子どもの姿」とついて ロッシュが出有された育てたい子どもの姿」とついて ロッシュが出有された育てたい子どもの姿」とついて ロッシュが出有されている。																		
	地域のつながりの中で学び合い「夢・希望・誇り」をもてる豊丘の子ども (村CSめざす子ども像) 育てたい子どもの姿 重営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について																		
	では、																		
運営	型数と共有され ・育てたい子どもの姿 正営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」が共有されている。 ② 学校運営への必要な支援について ○ 2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有できている。																		
	正育でたい子どもの姿 正営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 1 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」について 2 学校運営への必要な支援について 3 地域の実情や課題について 2 地域の実情や課題について 2 地域の実情や課題について 3 地域の実情や課題について 4 スレムに ビノ な地域言献ができるかについて																		
Н.	型域と共有され と育てたい子どもの姿 軍営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ 2 学校運営への必要な支援について ○ 2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有できている。 4 スレルにレノな地域貢献ができるかにのいて ○ 2 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。															£ 0			
2 字	■営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 □ 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」について □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □															,			
3 地	もの姿															0			
2 学校運営への必要な支援について																	'° 0		
											拉桶沿	二計	リア会力	י וחו	たギランティア			63	人
5 教	職員の	任用に関	引する-	一般的な	要望につ	いて				4	人数	1 野.	川(〜参力	μСΙ	にかフィナイナ		参加者延べ	105	
					PP				1. 4						/A A	-	人数		人
	登卜	校の見守	±9 (聞かせ	\circ	児童会		'	0	クラブ 総合的	• •		0	給食 コロナウィルス対	箦		y時間 後教科・	\bot
l ,.		清掃 ・長期休第	£		CT 伝統文化の	Щ	学習ボ			0	時	間支	援	0	の消毒・清掃	/ IX	体制	険学習	
地 域	教科	·長期休寿 -体験学			係る活動	0	子ども: カフェ	艮里(こ)との追			防災学習	3(避	難訓練)		遠足・登山			教育(職 を含む)	(2)加
域学校協		権教育		国際	際理解		Ī	託児											
協	学校			THE	A. I	#				ı						H	PRINCE!	1	
働活	家庭	1 6		143	1/1/1			-					. 1	A					
動	地		la di		The same					S			Marie .	1			100	-	3
の概	域の		3	14							A.C.								
要	協働	ALB			8.		-						AS		>	7			1
	し た 取						-		and the same of			1		T		1			
	組例	H	1植え(5月24日	1)		ク	ラブ活	舌動の	の核	長子(8月	3	1日)		学習サ	ポ	ート(11月	7日)	
					114		代表的	な協働	加した	活	助の取糸	且例]						

取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

コミュニテースクールの皆様は、豊丘村を将来支える大切な子どもたちを学校と共に育てていくお手伝いをしたいと使命感を持ち活動に取り組 んでくださっている。児童はそんな地域の方々と触れ合い、地域の方々の温かさや地域の方が持つ技術の素晴らしさを感じ「こんな風になりた い」と憧れをもち活動に取り組む姿が見られる。そんな子どもたちの姿を通し、子ども理解、学校の教育活動への理解や関心を深めて頂けると 共に、子どもたちと関わり共に活動することにやりがいや喜びを感じてくださっている。教職員も地域の方々の支援の効果を実感し、総合活動 や中核活動等でも地域の方々と連携しようとする意識の高まりも見られ始めている。本年度も5学年の総合的な学習「田んぼ」の活動や3学年 や甲核活動等でも地域の方々と連携しよりとする息蔵の高まりも見られ始めている。本年度も5字年の総合的な学習「地域探検隊」、「竹の活動」でも大変お世話になった。また、学習サポーターの方々には、各教室へ入って頂き個別支援が必要な児童に対し個別に支援して頂いた。学習サポーターの関わりにより、学習に向かう意欲の高まりも見られつつある。クラブ活動ではクラブサポーターの支援のもと本年度も活動している。新型コロナウイルス感染症の影響があり、活動を縮小することとなったが「8」講座中、「7」講座(フラワーアレンジメント、写真、ゲートボール、スポーツ、和太鼓、木工、手芸)で、クラブサポーターの方々にご協力頂いた。和太鼓は村民体育会、ゲートボールは村スポーツ館、その他のクラブは校内の会場で活動に取り組んだ。地域のもの、こと、人と学校とを繋ぎ、地域と学校とが同じ願いや目標を共有し、活動すると共に、学校教育活動をカリキュラムマネジメントしていくことが今後も大切であると感じる。

学校0)概要	学校	名		豊丘村	<u> </u>		豊丘北	小	学校	2	学校長			五明	月 佳代	j	児童生徒	数 127	名
	-					地域と	共	こある	学校	づくり	^را	へ向けた	:仕	組にて	いい	τ			•	
			学校	運営	に必要な	支援に係	系る	協議の均	昜					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	校協働本部	B)について	
	昌仝(信	洲刑力	ドュニテ	ティスク	′ール)			会議	の委	員構	戏			0	ボラ	ンティアのリストが	ある			
连白女	貝云(旧	川土。	(44)	1/1/	/P/ C	市町	丁村	效委	\bigcirc			代表		0	ボラ	ンティアの団体が	ある(組織化され	にいる)	
学校演	営協議	今 (っこ	ューテ	ノ・ フ <i>た</i>	7— 1[v)			大表	\circ			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報で	交換会があ	る	
子仅是	台 房政	X (,	1 - 2 - 2	70)	地域コー 地域学校	ディネ 協働活	ーターや 動推進員	\bigcirc		· 教! :校罪	頭以外の 戦員		0	ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会だ	がある	
	丘村コ:				レ ・委員会	[その	の他の)委員]》	※具	体的な	役職	名を記入		学 标1.	力馬。	する様々な団体				
名	*地域子	小人员	期平司)	」埋呂	安貝云	社会教民生児								や地域	との	連携調整を行う	地域コー	ーディネーター	3	人
称								も課長						職員以	外に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動推定委員会	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を けた者)		人
A -34				第1	回 令和4	年 6月	13	日(月)								ーディネーター	公民館	[職員(公民館	長•公民館	主重)
会議開催		日日	今年度 開催日	第3	回 令和 回 令和	5年 3月	b	口(小)						の立	場(リ	リストより選択)	LA L-VAH	14000 (21200)	1 2 2 2 2 2 2	L. # /
(予定			(予定)													(その他を選択し ・・役職を記入)	豊丘	村公民館	長	
				浑骨	禾吕△Ⅎ	:+_/+	· 大:	雷学协	金人	>~\		中央で	754			ルた活動状況	1			
	I					•		里呂 励	設フ	女 リン 広	力可数	内谷及	, O. J	也與乙	协選	ルクスカリング	,			
学校教	育目標				たくま 究める子			く励まし	一合	う子		・ねばり	強<	くとりくる	む子	<u>.</u>				
地域と共 た育てた もの	い子ど	地地	域の~	つな	がりの中	で学	び言	}\ \[•	夢•	希望	· = =	夸り」を	\$ 7	てる豊	:丘	の子 (村CSめ	ざす	子ども像)		
運営委	員会ま	たは学	校運営	協議:	会での協詞	義内容(ス	卜 年	度もしく	は昨	年度)				;	地均	と協働した活	動状	:況		
1 上記	記の[#	地域と当	出有さ	わた:	育てたい	子どもの	り姿	ルこつい	ハて											Т
					について		- 4](C >(1	学校との姿」な				上記「地域と共存 る。	すされ	に育てた	い子ども	0
	或の実										2	地域の	実情	青や課題	題に	ついて学校とボ	ランフ	ティアで、	情報共有	
	-										۷	できてい		-	カ足	場所や交流スペ	° 7	が会技は	リアなス	
4 子	どもにと	ごんなり	地域貢	献が	できるか	につい	て			0	3					制的で使用する				0
_ 14/ 7	*#\ III _	// III \				-t-12 \ .						協働活	千動	に参加	ל, ומ	たボランティアの		ランティア 録者人数	40	人
5 教	哉貝の	任用に	こ関する	る一点	段的な要	望につ	いて				4	人数	7 293		, ,	2,7,7,7,7	参	:加者延べ 、数	76	人
	登下	校の見	見守り	0	読み聞	かせ	\circ	児童会	、 生	:徒会	0	クラフ	、剖	『活動	0	給食			,時間	
		清掃		T	IC'	Γ		学習ボ	ラン	ティア	0	総合的	りな。 間支		0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		後教科・ 検学習	0
地		·長期 ·体験:		0	地域の伝統継承に係		0	子ども負カフェ				防災学				遠足・登山		キャリア	^{医子百} 教育(職場 を含む)	
攻 学		権教			国際理													11.00	0107	
校協	学 校						-	3	1	40	W.	W III								
域学校協働活動の概要	・家庭・地域の協働した取																			
	組例	3囃子	子ども	会へ	の指導(5/17~		(半事的)				¥(4/21				ニコちゃん	ズ読	み聞かせ	₹(7/8~	·)

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

伝統的に受け継がれてきた豊丘村の大宮神社例祭で行われる「お囃子」を平成14年から毎年、北小児童の3~6年が引き継いできた。この2年間、新型コロナウイルスの影響で、春・秋の大宮神社例祭やとよおかまつりでの発表ができなかったが、伝統を絶えさせないよう学校で練習をしてきており、村のお囃子保存会の方々に指導していただいている。そして、今年度は全員参加ではなかったが、大宮神社例祭と「とよおかまつり」に参加できた。

ボランディアの皆さんには、河野区一つで成り立っている北小学校を「おらが学校」と思っていただいている風土と地域の子どもは地域で育てるという強い意識があり感謝したい。子どもたちも校内で地域の方と関わることに抵抗がなく、挨拶をするなどコミュニケーションをとれるようになっている。また、昔からの専門的な知識、技能が自分たちに伝承され豊丘(河野)で育ったという自負心が強くなっている。教職員だけでなく、ボランティアの方々に入っていただくことで、多くの目、違った視点から子どもたちを見ることができること、新たな専門的な知識や地域の歴史、伝統に触れ、教職員自身の視野が広がると共に経験値があがり、指導の広がりが深まることに役立っている。

学	校の)概要	学校	名	大鹿	村	立大	鹿力	``		学校	当	校長	木	下聡				児童生徒	数	57	名
							「地域。	と共り	こある	学校	づくり	^۱	向けた	:仕:	組につ	いい	C					
				学	校運営	営に必要	な支援に	係る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	² 校協働本	部)につ	いて	
運	営委	昌会(信	州型コ	ミュニ	ニティス	クール)	0			の委	員構匠	戈			0	ボラ	ンティアのリストが	ある				
1	—	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	711	,	<i>,</i> 1.	, , ,	市	町村	0.2.	0			代表		0		ンティアの団体が				3)	
学材	☆運	党協議	会 <i>(コ</i> ミ	っニ	ティ・ス	クール)		民館′		0			表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会があ	る		
						•	地域学校	でおめる	ーターや 5動推進員	\circ		· 教员 校職	質以外の 遺	0	0	ボラ	ンティアの方を対	·象と	した研修会	がある		
	大剧	ඞ「村の	学校」	協力	隊運営	李員会	[そ	の他の	の委員]	※具体	本的な征	殳職	名を記入	,	学校と	協働·	する様々な団体	tat. tak	,			
名															や地域	との	連携調整を行う	地吸コ	ーディネーター	j	L	人
称															職員以	<u>、外</u> に	-ター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動推委員	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を けた者)	()	人
	△辛			\ A	-4-		月18日に 大防止のた			あった	たが、こ	л D.	ナウイル	ノス	中心的	なコ	ーディネーター	教育	委員会職員	1		
	会議]催装		旦	今年 開催	崔日	Ж Ш.	(9)11.	_	111.7						0)1/.	.場()	ストより選択)					
(-	予定	()		(予)	定)												(その他を選択し ・・役職を記入)					
					運営	全国	≥または≦	芝 校	軍党協	送金	≥の協	議	力突及	7 K t	地域と	位価	 した活動状況	7				
		1	自ら考	えつ) やさし										子(体)	_				
地場た言	成とま すてた もの		大鹿・英語	村の。 を聞る	よさを き、話り	知り、感し、、世界	あいさつか ご、伝えらん とつながる	れる . ことが	子ども。 バできる	子ど						111-1-1	21 141 MILL 1 1 1 1 1	= 1.11	איר			
連							協議内容(年度)		I			地垣	と協働した活	動り	大況			
1	上	記の「地	地域とま	共有:	された	育てた	い子ども	の姿	」につい	いて	0	1					上記「地域と共石	有され	れた育てた	い子	ども	\bigcirc
2	学村	交運営	への必	公要/	な支援	景につい	て				0	1	の姿」だ		.,							O
3	地地	或の実	情や調	果題り	こつし	て					\circ	2	地域のできて			憩に	ついて学校とボ	ラン	ティアで、	情報	共有	
4	子。	どもにと	ごんなは	地域	貢献	ができる	かについ	て			0	3					場所や交流ス/ 目的で使用する					0
													協働活	壬動	に参加	п1.7	とボランティア		ボランティア 登録者人数	3	0	人
5	教	職員の′	任用に	こ関う	するー	般的な	要望につ	いいて			0	4	人数	777	1100%	нот		Ź	参加者延べ 人数	11	10	人
		登下	校の見	見守り		読み	は聞かせ	\circ	児童会	会、生	徒会		クラブ	、剖	『活動		給食	/		み時間	l l	, ,
			清掃		С		ICT		学習ポ	ジランジ	ティア		総合的	りな。 間支		0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		後教和 験学習		
최 ta	b t		·長期(-体験 ²				伝統文化の 二係る活動	, O	子ども: カフェ				防災学習			0	遠足•登山		キャリア		職場	
**************************************	ź	J	権教育	育		国	際理解		Ī	託児												
村	交かけ	学校		1		214	A Andrew	100			WW	11.1	Mary 1	1	1		TALL SERV		1		4.3	1
均勻材協值沒	助 E	家				MERC		6						6							100	
重	力	庭 .			-				1	1		Y							1		1	4
相	旡	地域の協働した即		1									那						7			A STATE OF THE PERSON NAMED IN
取 組 大鹿太鼓学習(11月9日)										歌舞	舞伎学	空習	(10月2	26 ⊨	1)		**	づくり	0(6月20	日)	10 (11)	
	例 八比八致子自(11月5日)									4-14:		25.0	計の取る	10 /ol	1							

代表的な協働した活動の取組例

(上の写真の3つの取り組みの中から1つの活動を選択し、活動の内容を教えてください)

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

・地域の伝統文化である大鹿歌舞伎の学習を、大鹿歌舞伎保存会の北村さん、池田さんを講師に、1年生から4年生まで行った。1・2年生は、大鹿歌舞伎の小道具、衣装、所作について学び、地域の公民館に数えきれない程の衣装、小道具が大切に保管されていることを知った。3年生は、歌舞伎や大鹿歌舞伎の歴史について学んだり、実際に歌舞伎の演技の一部を見て、体験をした。250年前から続く大鹿歌舞伎の歴史について学ぶとともに、演じることの難しさを体感した。4年生は、本校で伝統的に練習している歌舞伎の演目「大鹿歌舞伎 白波五人男」の練習を始めた。毎年目にしてきた4年生の児童による大鹿歌舞伎を今年はいよいよ自分たちが演じるのだと意気込み、日々の練習に取り組んでいる。歌舞伎学習の活動は、児童が、地域の方から学び、自身も伝統文化を守る一人であるという自覚と誇りを育んでいる。

学校	の概要	学校名		飯田市			飯田西		<i>-</i>		, ,		下寿				児童生徒	数	227	名
					「地域と	-	-		さくり]^	向けた	:仕	_							
		学村	校運営	営に必要な	支援に位	系る			- 1440	1.					イアの組織化(地		校協働本部	B) にっ	いて	
運営勢	美員会(信州型コミュニ	ティス	クール)		r++	会議 教委	の委員			代表	\cap	0		ンティアのリストか ンティアの団体か		(空体/レキャ	· ブ1. \`	マト	
				-+			教安 代表	0		3云* `A作		0	0		ンティアの団体が				<i>ع)</i>	
学校道	正 営協詞	養会(コミュニテ		クール) (地域コー	ディネ	ペーターや		校長	教頭	買以外の		_	+	ンティアの方を対					_
丸	山小•1	反田西中学校	運営	協議会			舌動推進員 の委員]:	※具体I	_	校職	_貝 名を記入			<u> </u>			27-91.2			
ь					_		委員会会								する様々な団体 連携調整を行う	地域コー	ーディネーター	3	3	人
名 称													コーラ職員」	ディネ <u>以外</u> に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動推	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を			人
会調開催		今年 3 回 開催	度	11日 7月	】 11日 2	2月9	日								ーディネーター Jストより選択)		けた者) 館職員(公民館	译•公	民館主	事)
(予定		(予定													も は(その他を選択し ・役職を記入)	公民	館主事		<u>-</u> -	_
			運営	会員委託	または学	之校	運営協	議会	の協	議	内容及	Сţ	也域と	協賃	した活動状況	2				
 学校教	女育目標	自主・敬愛・	誠実																<u> </u>	_
/C D C	共有され たい子 の姿	[確かな学力 [豊かな人間	z]自ら]性]相 	,学ぶ子 ៛ 1手の思い 	基礎学力 に寄り添	jを身 えう子	Pに付け - 地域(る子 に愛着 	と誇	りを	もつ子 									_
運営	委員会	または学校運営	営協議	会での協	議内容(ス	本年	度もしく	は昨年	度)					地垣	と協働した活	動状	況			
1 上	.記の「	地域と共有さ	られた	:育てたい	子どもの	の姿	こについ	ハて	0	4	学校とス	ボラ	ンティ	アで	上記「地域と共	有され	いた育てた	い子	ども	С
2 学	校運営	すへの必要な	支援	きについて	-				0	1	の姿」か									
3 地	域の3	ミ情や課題に	つ い	<u></u>						2				題に	ついて学校とオ	ラン	ティアで、	青報:	共有	0
					17.01.	7				0	できてい		-	の居	場所や交流スペ	ペーン	スが学校内	こころ	る。	_
4 丁	261	どんな地域፤	貝削ん	いいさるか	3(5,7)(1	, (0	3	(専用⊄)部	屋や個	100	目的で使用する		との兼用で	でも可)	
5 教	職員の)任用に関す	-る一	般的な要	望につ	しいて				4	協働活 人数	動	に参加	加した	たボランティア	の ³	登録者人数学加者延べる数	1	5 5	人人
	登	下校の見守り	0	読み間	引かせ		児童会	会、生徒	ŧe.	0	クラブ	、音	『活動	0	給食	Í		ヶ時間	₽ P	_
		 清掃		IC	Т		学習ポ			\circ	総合的]な:	学習の	0	コロナウィルス対	策		後教科		0
地		日·長期休業	+	地域の伝	統文化の	0		食堂(こ			防災学習	間支) ()	の消毒・清掃 遠足・登山		キャリア		職場	С
域学		科·体験学習 人権教育		継承に停 国際:)との連 託児	!携						7272 3311		体験	を含む	9)	_
学校協働	学校・																			
活動	家庭・																			
の概	地域の		写	真						写.	真					_	写真			
要	協働																			
	し た 取																			
	組 例	活	動名	(日付)							(日付)				Ť	5動/	名(日付)			
		(上の	写真の31	つの取り						助の取組 を選択し			内容	を教えてくださし	(۱,				
〇 取	組の内	容(どのような														•				_
															教育環境の充実					
	り合う。 とけた。	易を設けた。 よ	(b')	、り安貝、日	子省文坛	貝、	スホー	ノクファ	/、平	+子.	上房の力	J A	ど情報	八十	「したり、課題に	٠)(١	(有え合う	ったり	する傍	£

学	交の	概要	学校名	負	反田市	立	飯	田東中	I <u>4</u>	学校	当	校長			賜	正俊		児童生徒	数 20	00 名
						「地域と	:共	こある	学校*	づくり		向けた	生仕	組につ	いい	7				
			Ė	学校運営	営に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	地域学	² 校協働本i	部)につし	て
海位	赤	昌会(/	言州型コミュ	ーティス	カール)			会議	の委	員構局	戊				ボラ	ンティアのリストカ	ぶある			
建	女	貝云(1	コ川王ユヘユ	<i></i>	, ,,,	市田	丁村	教委		自治	会	代表	\circ		ボラ	ンティアの団体か	ぶある	(組織化され	れている)	
☆+	∀.≅.	当协会	会(コミュニ	ニュラ	7. 1.)	\	4	代表	\circ			大表	\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会があ	うる	
				-/ 1 • ^	クール)〇	地域コー		ベーターや 舌動推進員			· 教理 :校職	頁以外の ≹員	\circ		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	がある	
	東中	協力	者会議			_		の委員]	※具体	体的な行	殳職	名を記入		学校と	な 働	する様々な団体	Life derits	ーディネーター	0	
名						主任児生活等								や地域	との	連携調整を行う	地域一		3	人
称																ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		学校協働活 進員(教育		
														れ	の人	.数を記入)	委員	逆貝(教育 会の委嘱を けた者)	0	人
				5,5	月12日 (5月17目	l	1月16	日					中心的	なコ	ーディネーター				Adv Northe
	₹議 催数	fr	3 回開	年度												リストより選択)	公氏質	官職員(公民値	館長・公氏	館王事)
	定			定)												銭(その他を選択し				
										- 1-					-	・役職を記入)	_			
			ı	連貫	李負会	ドたは与	≥校	連営協	議会	きの協	議	内容及	tV:	也域と	刕偅	した活動状況	<u>ե</u>			
学校	 運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 学校教育目標 聡明 自主 愛他 地域と共有された育でたい子どもの姿 ・ 自ら進んで、粘り強くやり遂げる子ども・ もの姿 ・ 相手の立場になって心を尽くす子ども 連営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育でたい子どもの姿」について ○ 2 学校運営への必要な支援について ○ 2 学校運営への必要な支援について ○ 2 学校運営への必要な支援について ○ 2 学校運営への必要な支援について ○ 1 2 学校とボランティアで上記「地域と共有された育でたい子どもの姿」が共有されている。 																			
地域	と共	有され	・心静かに	見聞き	し、じつくり	考える	アども	ć												
だ育																				
運	李	員会ま	<u> </u> たは学校選	軍 党協議	会での協議	義内容()	本年	度もしく	は昨年	年度)				:	地垣	と協働した活	動射			
П												Ī				VC ())) [43 0 7 C 7 L	-73 17	1,,,,		\Box
\vdash							少女	·] (C)	V · C		1						有され	れた育てた	こい子ど	€ O
2	学村	交運営	への必要	な支援	能ついて	•				\circ		∨/女]/	U-54	7F C4 U	CV	., ₉ °				
3	地填	成の実	情や課題	につい	て					0	2	地域のできて			題に	ついて学校とホ	ラン	ティアで、	情報共	有
4	子と	きに	どんな地域	龙 貢献/	ができるか	につい	て			\cap	3	ボラン	ティ	アの方の		場所や交流スペ				° ()
1	, –	. 010	_70.&20.4	N JA IIIV	0 (0 0/1)	10 21	_				-	(専用の	の部	屋や他	<u>[</u> の]	目的で使用する	_	との兼用 ドランティア	でも可)	
5	粉脂	第昌 σ	任用に関	ナス―	般的な要	望につ	しいて	_			4		舌動	に参力		たボランティア		登録者人数		人
	2011	W J-Q V J	11/11/01/	1 2	MARIAS	土(こ)	•	•			1	人数					_	参加者延べ 人数	80	人
		登	「校の見守	b 0	読み聞	かせ		児童会	会、生	徒会	0	クラフ	ブ、音	『活動	\circ	給食		休	み時間	
	ľ		清掃	0	IC.	T		学習ボ	ボラン ラ	ティア	0			学習の	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃			段教科·	
地	. F		日・長期休業		地域の伝統	統文化の		子ども	食堂(こども		防災学	習(避		0	の消毒・消掃 遠足・登山	\dashv	キャリア	験学習 ′教育(職	場
			斗·体験学習		継承に係				:)とのi	連携		1939(1)		. ALL ID 11 10 K.)		歴化 弘田	-	体影	を含む)	
垣学 杉 協		学工工	人権教育	8	国際	生)件		APPARENT	託児	100						V 483		TOO ME BY		2250
括		· 校	SD.			《日世章编		10		1	4				0					
浸	·	家庭									N;	12.0		THE S		~			4	16
重 σ.		地			SI			1	7					K					11 1	A.
根	:	域の						4		大量				S		-		产品		
要	:	協働				//:/			7			1		1.7	Ĵ	1951	15		V	
		し た 取	1	0.1					10		V						-			545
		取 組 例	りんこ	並木の)活動(年	間)			繋•	未来	フェ	ス(10)	月3	日)		桜並木落	ち葬	連掃き(10	月29日)
								代表的	な協信	働した	:活!	動の取締	組例							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

本校では、昭和22年ごろより学友会の活動として町内清掃が行われている。その当時は、飯田大火で荒廃したまちを美しくしたいという思いで 始まった活動で、毎週日曜日の朝に行われていた。時代の移り変わりとともに町内清掃は、毎月第1土曜日の朝の活動へと形を変えつつ残っ ていたが、町内清掃の意義や生徒の意識が薄れ、形だけが残っていた。令和3年度の学友会では、持続可能な学友会活動という視点で、活 動の見直しを行った。町内清掃を、学校独自で行うのではなく、地域を巻き込んでの活動、地域の役に立つ活動にしたいという願いのもと、地 動の光直とを行うた。何が清掃を、手校独自で行かりてはなく、地域を含さたんでから動、地域の役に立った動にしたどという願いからと、地域の環境委員長さんのお話を聞きした。その中で、飯田市は街路樹が多く、秋の落ち葉掃きに苦労していることを知り、お世話をしているりんご並木からつながっている桜並木の清掃活動に取り組むことになった。今年度は、10月29日、11月12日の2回実施した。回覧板を使って地域の方に呼びかけ、公民館からの働きかけもあり、並木周辺に住む方々や保護者の協力を得て、落ち葉掃きを行うことができた。生徒は、落ち葉が なくなった桜並木を見て、達成感を味わった。また、地域住民や桜並木保存会の方々から、感謝の声をいただくことができ、まちをきれいにとい う目的を果たすことのできる活動となった。

学	校の)概要	学校名		飯田市	5 立旭	ケ丘	中		学校		学校長	市	場香	代子			児童生	走数	561	名
						「地域と	:共(こある	学材	さづく	/[(へ向けが	と仕	組につ	いて	5		•			
			学	校運営	に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	シンテ	ィアの組織化(は	也域	学校協働本	(部	こついて	
海岸	シ 禾・	昌公(信	・州型コミュ:	ーティフ	ケーュル			会議	髪の多	を 員構	成			0	ボラ	ンティアのリスト	があ	る			
建	5女	貝云 (TE	列至コミエ	ー <i>ノ</i> イ へ :)·)[)	市町	丁村	教委		自	怡会	代表	\circ	0	ボラ	ンティアの団体フ	があ	る(組織化る	きれて	いる)	
₩ +	午,年	学协学	A(-12 -	ニュラ	7. 1.)			代表	\circ			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の)情報	報交換会が	ある		
子们	义連	呂 励 酸	会(コミュニ	74.43	/—///	地域学権	· ティネ 交協働: 員	ーターや 活動推進	\circ		₹•教 学校耶	頭以外の 職員	0		ボラ	ンティアの方を対	付象.	とした研修	会があ	る	
	旭ヶ	·丘中学	栏校運営協	議会	<u> </u>	[そ		の委員]	※具	体的な	役崩	は名を記	入	W 14-2 1	de trei) = 124					
名							く生り	見童委	員							ける様々な団体 車携調整を行う	地域	コーディネータ	-	2	人
和称						医師										-ター等が <u>学校</u> いるか(それぞ		或学校 協働活			
																数を記入)	委員	推進員(教育 員会の委嘱を 受けた者)			人
	A -3/6				月27日(ーディネーター		是館職員(公園	早館長.	公民館:	主事)
	会議 催数			F/X	月17日(豆)								の立	場(リ	ストより選択)	21	(A) Q, MP (D)	VID IX	21 L/101 -	上事/
(-	予定	()	(予	定)												(その他を選択し ・役職を記入)	公]	民館主事			
				運営	委員会	または営	2校:	軍党技	2 議:	 会のti	な謎	内宏区	7 \$ 1	地域と	点 偷	した活動状法	뮤				
	た育てたい子 どもの姿 【探究】汗して学び、確かな学力を身につけることができる人間																				
学村	自分を生きる ともに生きる 豊かに生きる 豊かに生きなり 豊かに生きる 貴ん 世 神に生きる 豊かに生きる 豊いに生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 世 美に生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 神に生きる 世 神に生きる 世 神に生きる 神に生きる 神に生きる 世 神に生きる 神に生きる 神に生きる 神に生きる 世 神に生きる 神に生きる 神に生きる 神に生きる 神に生きる 神に生きな 神に生きな 神に生きる 神に生きる 神に生きる 神に生きる 神に生きな 神に生きな 神に生きる 神																				
Lile de	校教育目標 「時明】学校や郷土を愛し周囲と関わり合いながら自立に向かう人間 「敬愛】心を開き、仲間を大切にしながら支え合って成長していく人間 【衆究】汗して学び、確かな学力を身につけることができる人間 「探究】汗して学び、確かな学力を身につけることができる人間																				
た	「博明」学校や郷土を愛し周囲と関わり合いながら自立に向かう人間 「敬愛」心を開き、仲間を大切にしながら支え合って成長していく人間 でもの姿 「探究」汗して学び、確かな学力を身につけることができる人間 「関連を表している」 「大きの姿」 「大きのなどが、できる人間 「大きの姿」 「大きのなどが、できる人間 「大きの姿」 「大きの姿」 「大きのなどが、できる人間 「大きの姿」 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できる人間 「大きのなどが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できるとが、できない。 「大きのなどが、できないないないないないないないないないないないないないないないないないないない																				
	【晴明】学校や郷土を愛し周囲と関わり合いながら自立に向かう人間 【敬愛】心を開き、仲間を大切にしながら支え合って成長していく人間 【な変】心を開き、仲間を大切にしながら支え合って成長していく人間 【探究】汗して学び、確かな学力を身につけることができる人間 【愛養員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																				
運	□吸え共有されい子ともの姿																				
1	でである。															たい	子ども				
2	学村	交運営	への必要	な支援	につい	()	の姿」	が共	有され	てい	5.					\circ		
3	地块	或の実	情や課題	につい	T) 2				質に~	ついて学校とな	ドラン	ンティアで	、情幸	设共有	0
	学校運営への必要な支援について 1 学校をかえの姿」が共った。 地域の実情や課題について 2 地域の実情できている。 スレイスとしております。 0 2 ボランティブ																				H
4	10	- 81-0	こんな地場	く貝服ん	4 (30)	14(C-)V	, () 3	(専用	の部	屋や他	の目	的で使用する	部	量との兼月 ボランティア		可)	
5	新田	第号の	任用に関	ナスー	6四百分子2日	日亡月1テン	11.15	_			4	協働	舌動	に参力	口した	こボランティア	7 0)			561	人
J	4汉4	以只い	上川に関	9 2	川又ロンチュ	で主に、	, , , ,				1	人数						参加者延へ 人数		200	人
		登下	校の見守り		読み	引かせ		児童:	会、 <i>生</i>	主徒会		クラフ	ブ、音	『活動	\bigcirc	給食		1	トみ時	:間	П
	ŀ		清掃	0	IC	T		学習は	ドラン	ケイア	-		的な:	学習の	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃			課後素 本験学		
爿	b		1・長期休業	+	地域の伝		\circ			(こども	t			(加友 (難訓練)		遠足•登山		キャリ	ア教育	貳(職場	
均当材据	龙 全		斗·体験学習 人権教育			系る活動 理解			こ)との	の連携	l					72,2 31,		14	験を含	iv)	
村	Ž.	学	(IE-IX F)		- ПИ	·/1T	Щ				_				버						
便污	ர் ந	校 • 家	-			-				1				4						The same	
三重	5	庭・	2020								1										
0)	地 域		7					3	C-		M	70	A							4
相	发更	協						y		V				1							
_		働し										Mr.	- 1/-				-				
		た 取 組 1	# 2 D D	中土。	1 1 1 1 1 1	0/10.1	4)	0/7	٠٠٠	11-2-	7	75		(10/10	\	+ 	(EQUIT EL (- /OF		_
		例 1	年かやの	天ナヤ	レンン(]	0/13,14						スティハ 動の取)	福祖	:145	験活動(5/25)	
				(上の	写真の 3・	つの取り									容を	を教えてくださ	い)				
\bigcirc	取約	且の内容	筝(どのよう)	な内容を	と、どこで	、誰と取り	の組み	み、どの)よう	な成果	や	効果があ	かつけ	こカュ)							

・2学年生徒が、旭ヶ丘中学校区である、伊賀良・山本の事業所に目を向け、地元で活躍する身近な大人の姿から、自身の将来を模索する目的で「キャリアフェスティバルinASAHI」を計画・実施した。生徒一人一人が、通学路で目にしてきている身近な商店や企業など多業種を選び、仕事内容をはじめ働くことの意義などについて、体験活動を交えながら話を聞き、目指す大人像を主体的に模索する機会となった。中学生が、公民館長や公民館主事に事業所との仲介を手助けしてもらいながら、地元の様々な業種の大人と関わることで、旭ヶ丘中学校区の目指す子ども像「伊賀良・山本のひと・もの・ことに積極的にかかわって学び、地域と共に生きていく児童生徒」に自ら近づくことができる活動となっている。

学	校σ	概要	学校名	í	飯田市	•	立緑	ケ丘ロ	†		学校	1	学校長	湯	本 正	芳			児童生徒	走数	642	名
							地域と	共に	ある	学校	づくり	^۱	向けた	仕	組にて	いい	τ	•				
				学	校運営	に必要な	支援に係	系る協	議の対	場					ボ	ランラ	イアの組織化(地	域学	单校協働本	部)に	ついて	
297	分禾	吕 <i>△ ([</i> =	州型コミ		ティフル	11.)			会議	の多	員構成	犮				ボラ	ンティアのリストがる	ある				
理	马安.	貝云(16	が見てい	ユー	・ティヘク	— <i>/</i> //	市町	丁村教	委	\bigcirc	自治	会	代表	\circ		ボラ	シティアの団体が	ある	(組織化さ	れてい	る)	
22.5	Loren	W 14-3%	A / -				公臣	是館代	表	\circ	РΊ	`Af	大表	0		ボラ	ンティアと学校の情	青報	交換会が	ある		
字相	交連	宮協議	会(コミュ	ニテ	「イ・スク	ール) 〇	地域コー 地域学校	ディネー 協働活動	-ターや 助推進員	0		· 教理 校職	質以外の 裁員	0		ボラ	ンティアの方を対象	象と	した研修会	会があ	3	
	緑ケ	·丘中学	校学校	運営	當協議会	<u> </u>	[その	の他の	委員]	※具	体的な征	ひ 職	名を記入	,	产+++1	力 街	ナッド・カロナ					
名							主任児地域ス		- •	: =					や地域	との	連携調整を行う	地域コ	ーディネータ・		3	人
称							学習ボ			貝							ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ	也域	学校協働沿	ī		
																	粉な記 1()	委員	進員(教育 会の委嘱を			人
			ТТ		4月	26日(第:	1回)								H > 44	14	=	受	けた者)			
	会議		4	今年,	⊯ 6月	29日(臨	庤)								中心的	Jなコ .場(!	ーディネーター Jストより選択)	、民的	館職員(公臣	館長・	公民館主	(事)
日本版 日本																						
\																						
												議	内容及	びt	也域と	協賃	した活動状況					
554	+ ±4-	大 D +m	「みどりの	つ心	」を磨き	、自己を	知って真	(理を	究める	5緑「	中生											
子化	义教	育日悰																				
地垣	比上共	:有され	自己の語	まま	りを感じ	、互いを	認め合え	える生	.徒													
	自己の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 育てたい子どもの姿 世域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について 学校運営への必要な支援について で変」が共有されている。 世域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変」が地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 で変し、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、互いを認め合える生徒 日本の高まりを感じ、日本の高まりを感じ、日本の高まりを感じ、日本の高まりを認める。 日本の高まりを表現している。 日本の意味を表現している。 日本の表現している。 日本の表現し																					
_																						
連	営委	員会ま	たは学校	連盟	営協議3	会での協議	養内容(2	本年 度	きもしく	は昨	年度)		1			地垣	に協働した活動	功制	犬況			
1	世営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子どもの姿」が共有されている。 学校運営への必要な支援について ○ 2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有できている。 子どもにどんな地域貢献ができるかについて ○ 3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。(専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可)ボランティア															そども						
2	型営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																					
3	正常でたい子どもの姿															\circ						
1	すてたい子どもの姿																					
4	1 <	- 81-0	. かな地	以身	貝 服 //*	(50%	(C)(·	_				<u>ي</u>	(専用の	の部	屋や他	<u>し</u> の [目的で使用する語		- ////		可)	
_	≯₩₩	4月の	げ . 田)ァド	归一	トス fi	Ⴠሰ/₁ϟℷ <mark>ᇤ</mark> ՟	はルー	1.17				4	協働活	5動	に参力		たボランティアの					人
υ	狄州	戦員の	工用(二	判 9	る一項	スロソンン安、	主にフ	V · C				4	人数						参加者延べ 人数		40	人
		登下	校の見る	生り	0	読み聞	かせ		児童会	≥ . 4	E徒会		クラフ	产音	『活動	\cap	給食	Ť		いみ時	間	
	ŀ	- III	清掃	• /		IC.		H	学習ボ						学習の	0	コロナウィルス対象	稅		課後教		
11		+ F	1・長期休	業	+	地域の伝統			チョル子ども1					間支			の消毒・清掃	+		体験学 ア粉き	習 (職場	
村 垣	t.		├·体験学		$\perp \! \! \perp \! \! \perp$	継承に係			カフェ				防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			験を含		0
学	<u> </u>	J	権教育			国際理	里解		Ē	託児												
均学材協働活動	ל ל	学 校		1	1	A VIII	W						-	1					YAMI		1	
賃	ի Բ	家	- 19		進速	1. D+1.								A.			8.71.73.4					
重	d d	庭			4				3						191			TL,	10		16/1-	
O. 相		地 域 の	100	0							A						2 22			-	1	
要	r E	協働	60	V	100	1 -					*		2		8						7/8	
		した				1 19	1				A STATE OF	Serie Contraction of the last		1					1		7	
		粗いど	アーナブ	321-	パい声	前講演会	·(5 H O I	п)		1年	H-+-	T 歩	h字(7)	H O	D)		キャリアフーフニ	113	九宝石禾	吕△/	8 H 20 I	п)
		例し	ーオノ	ンヤ	ハン争	削神() 云	(5月9]						対室(7) 動の取締				キャリアフェステ	1/\	ル夫仃安	貝云(5月30日	μ)
				1	(L M E	すのっつ	Λ Ho Liá									tı yazı	を粉えてください	. 1				

・キャリアフェスティバル(結い未来プロジェクト)では、公民館主事、事業所代表、学校職員によって参加事業所を募集し、生徒を含めた実行委員会を立ち上げ、参加いただく全ての事業所と生徒代表が事前の打ち合わせを行った。企業側としては生徒の願いを受け止める形で当日の発表内容や方法を工夫することができ、生徒側としては、実行委員から参加する生徒へ企業の情報が伝えられることで、より身近で意欲的に取り組むことができるようになった。また、コロナ禍によって校外での職場体験が中止となる中、生徒が働く意義ややりがいなどを、働く人たちからの生の声として聴くことができる貴重な機会となった。

学	交の	概要	学	校名	飯田	市	立竜	峡中	þ		学校	Ä	学校長	渡	邉 享	秀			児童生	上徒数	143	名
							「地域と	.共1	こある	学杉	きづくり		へ向けた	:仕	組につ	いいっ	C					
				=	学校運営	営に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	学校協働	协本部)	について	,
海岸	4禾	B △ (/ =	# IJJ. *	11-3	ーティフ	(A 11.)			会議	ものす	長員構	戊			0	ボラ	ンティアのリストが	ある)			
建造	5安」	11) 云月	ョクリコ	ピーミユ	ーソイグ	クール)	市田	叮村:	教委		自剂	台会	代表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアの団体が	ある	(組織(とされて	いる)	
200)/ I-b =>/-			_			え館′	代表	0	P'.	ſΑſ	代表	\circ	0	ボラ	ンティアと学校のヤ	青報	交換会	がある		
字形	(連行	宮協議	会(=	コミュニ	・アイ・ス	(クール)	地域コー	-ディネ 協働活	ベーターや 舌動推進員	Į		· 教: :校職	頭以外の 戦員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研	多会がは	ある	
	竜峡	中学校	交運'	営協議	会	-	[そ	の他の	の委員]	※具	体的な	役職	名を記入	,	学 校1.	おぼい	する様々な団体 ‡					
名															や地域	との	連携調整を行う	也域コ	ロディネー	-ター	3	人
称																	ーター等が <u>学校</u> いるか(それぞ	地域	学校協	動活		
																	粉な記 1)	委員	能員(着 会の委り	属を	0	人
1					4	月21日(木)									H > 44	14	= h	Ş	とけた者			
	議			今:	± ± 6	月28日(火)											ーディネーター リストより選択)	公民的	館職員(公民館長	•公民館	主事)
	催数 定		1	回開	催日 1 . (未定) 2 .	1月25日(金 月14日(火)									且体的力	2 役 贈	(その他を選択し		1 A-A 1	+- +1-		
()	ΛL)				,_,												・役職を記入)	公日	能主	事 教员	埧	
					運泊	き	たは学	学校:	運営協	協議:	会の協	議	内容及	ぴ	也域と	協賃	した活動状況	ļ				
W 14		.	自主	E•敬愛	き・勤勉																	
字核	教育	育目標																				
批地	と共	有され	自	らの人	生を切	り拓いてい	く力」を	つけ	た中学	生.												
た育	てた	い子ど																				
	もの																					
運営	\$委.	員会ま	たは	学校選	屋営協議	議会での協調	義内容(ス	本年	度もしく	は昨	年度)		_		;	地域	と協働した活動	動丬	犬況			
1 .	上訂	己の「揖	地域。	と共有	iされた	と育てたい	子どもの	の姿	こにつ	いて			学校と	ボラ	ンティブ	アで_	上記「地域と共有	すされ	れた育	てたい	子ども	
2	学杉	逐運営	~O.)必要	な支援	受について					0	1	の姿」7	が共	有され	てい	る。					
3	地垣	の実	情々	>課題	につい	17						2				題に	ついて学校とボ	ラン	ケィア	で、情	報共有	
							17.01	~					できてボラン		-	の居	場所や交流ス〜	°	スが学	校内に	こある。	
4	丁乙	81-2	. W	よ地場	以貝 (队)	ができるか	الرحي) ١	, (3	(専用の	の部	屋や他	<u>リ</u> の [目的で使用する語		//	.,	5可)	
_	+r/_m+	+ P &	ИП	1) ~ BB	上マ	60.44.25	七月) マー	,	_			١.	協働活	壬動	に参力	0L7	たボランティアの		ボランテ. 登録者丿		4	人
5	教罪	は貝の	1士开	日に関	するー	・般的な要	室につ	V V-(-			4	人数					4	参加者延	Ē~	15	人
Н	T	Zv) H 🗁	₁₀ [⇒± ∀. 円	12.11-		旧本:	^ ,	レオハ		<i>p.</i> =	ماب الو	7.江岳L		4A A4	+	人数	/ 		
	ŀ	立 卜)見守		読み聞					主徒会	L			『活動 学習の	Н	お食 コロナウィルス対	笹	_	休み 放課後		+
			清		С						/ティア	0		間支		0	の消毒・清掃	×		体験	学習	0
地				期休業 験学習		地域の伝統継承に係		\circ			(こども)連携		防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			アリア教 体験を	育(職場 含む)	
学		J	権	教育		国際	理解			託児	Į.											
域学校協働活	: -	学	3111	The Later		V			400		*	di.	The state of the s	1			1				Control of	+
働		校 • 家		m -			100			はイブター	de la	2		A-sp	Out of		Ver.			4		
活動		庭	10							₹		1		ŝ				Y,	Tille:	A		
の		地域	1		NE STATE					6-	ALL CO				A SAN						*	
概要		の協			10							411										
女		働 し (L															1				
		た 取	4	1	W.		New Year						N _×		Total State			- W		7	FIG.	
		組例	キャ	リアフ	エステ	ィバル(7)] 21日						(7月2				ふるさと	:学	習(10	月20	月)	
					(L A	を育め2つ	on Borti:						動の取締			h ste	を粉えてくださし	• •				

○ふるさと学習について 1学年において、「私たちのふるさと竜峡を知ろう」をテーマにふるさと学習を行った。飯田市よりマイクロバスをお借りして、三穂地区の旧小笠 原書院、龍江地区の今田人形の館、川路地区の天竜峡散策と竜峡3地区の特色ある場所を訪問、見学した。近くにあってもなかなか訪れる機 会のない場所をじっくりと見学することができ、テーマである「ふるさと竜峡を知る」という目的を達成することができた。

学	校の)概要	学	校名	飯	田市		立竜	東中	ī		学校	当	校長	持	田貴	康			児ョ	量生徒	数 7	1	名
								「地域と	:共に	こある	学校	づくり	^۱	向けた	:仕	組につ)().	7						
				<u> </u>	学校	運営	に必要な	支援に	系るは	協議の	場					ボ	ランラ	ーィアの組織化(地	域学	学校	劦働本 剖	3)につし	いて	
2年/	学 禾	吕会()	÷ 1.1.1. ≑	fil - S .	-=	・・フカ	5 - 21 d			会議	の委	·員構	戈			0	ボラ	ンティアのリストが	ある)				
連	马安	員会(作	占 クリリ イ	望ーミユ	7	イヘク	-/V)	市田	丁村孝	效委	\bigcirc	自治	会	代表	0		ボラ	ンティアの団体が	ある	(組)	織化され	ている)		
200.1	Liver	W 14W		_					民館作	表为	\circ	РΊ	`Af	大表	0		ボラ	ンティアと学校のヤ	情報	交換	会があ	3		
学村	交連	宮協議	会(コミュニ	ニティ	(・ スク	'ール) (地域コー 地域学校	-ディネ 協働活	ーターや 動推進員	\circ		· 教豆 校職	頁以外の ≹員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した	研修会力	ぶある		
	竜列	中学	校学	校運営	営協	議会		[そ	の他の)委員]	※具	体的な行	殳職	名を記入	,	学 标1.	力制	する様々な団体 #						
名																や地域	との	連携調整を行う	地域コ	コーディ	ィネーター	3		人
称																		ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ	地域	学校	協働活			\dashv
																		粉な記 1)	委員	会の	((教育 委嘱を	0		人
						4月2	22日(金)	J								H > 44	12	= h	Ę	とけた	(者)			\dashv
	会議			今	年度	12月	121日(水)								甲心的	場(! 場(!	ーディネーター Jストより選択)	公民的	館職員	員(公民館	長·公民	館主	事)
	催数 予定		3		催日 予定)	2月.	16日(木)									具体的/	△役贈	銭(その他を選択し		- A-L-	\			\exists
(1 YE	.)			, ^_/													・役職を記入)	公日	:館	主事			ı
					j	運営	委員会	または 学	Þ校ï	軍営協	議会	会の協	議	内容及	び	也域と	劦偅	した活動状況	ļ					
				こかさ・	たし	かさ・	たくまし	Ź																\neg
学村	交教	育目標																						ı
tili te	t レ+I	に有され					進んだ私」																	\exists
	「てた	い子ど					りに一生懸 どう生きる											もった生徒 :徒						ı
	もの	姿																められる生徒						
運	営委	員会ま	たは	学校说	軍営	協議会	会での協	義内容(ス	本年原	度もしく	は昨	年度)				1	地垣	は協働した活動	動壮	犬況	i			
1	上記	記のけ	也域	と共有	すされ	れたす	育てたい	子どもの	の姿.	につ	いて	. 0	1	学校と	ボラ	ンティブ	アで.	上記「地域と共有	すされ	れた	育てた	い子ど	ŧ	
2	学村	交運営	;~c	の必要	きなう	支援に	こついて	_				0	1	の姿」7	が共	有され	てい	る。						\cup
3	地址	或の実	情。	や課題	[に	つい	T					0	2	地域の できて			題に	ついて学校とボ	ラン	ケィ	アで、1	青報共	有	0
4	子と	どもに	どん	な地域	或貢	献が	できるか	につい	て			0	3	ボラン	ティ	アの方の		場所や交流スへ 目的で使用する語					0	
																			7	ボラン	ケィア	9		人
5	教理	職員の	任月	用に関	する	5一角	ひ的な要	望につ	いて				4	協働活 人数	古動	に参加	DL7	たボランティアの	-		者人数 者延べ			$\stackrel{\frown}{-}$
														八致人						人数	日処へ	9		人
		登门	校	の見守	:ŋ	0	読み間	かせ		児童会	会、生	三徒会		クラフ	、音	『活動	0	給食			休み	,時間		
			清	掃			IC	Т	П	学習ボ	ジラン	ティア	\bigcirc		りなっ 間支	学習の ・接	0	コロナウィルス対象の消毒・清掃	策			後教科・ 食学習		
爿	b			期休業		Ħ	地域の伝統			子ども				防災学				遠足•登山	1	1	キャリア	教育(職	場	\bigcirc
均	艾			験学習 教育	i	H	継承に係 国際:			カフェ	託児								+	+	14)映	を含む)	+	$\check{-}$
计均学材协值活重	į.	学	八作	秋月	-		四际.	生丹年	CO TO		ロレンし	F-90/07/	100	M. C. 12-60	U (I)			The survey of the same of the	700					100
協	ь h	校・	_	5			III a line					'n		to the se	84			THE RESIDENCE OF THE PARTY OF T				a s	į.	đ
7	5	家庭		N.E		n P													2	a	2913			2
重 <i>0</i>	ħ Э	地 🍆				29										in the same	N	是學情		W	14			
相要	Ŧ	域の	H			11			4	Manual Property of the Party of	19	in ear		131			É		1	33				1
萝	5	働	3	B	1			13	1		80	THE RESERVE		17		Pag.				1		Sep.		1
		し た 取			1		1	5			35	1								ħ,	-			
			11	回ふる	さと	竜東	の集い	(11月1	日)	よ	こね	田んぽ	ĔΟ	稲刈り	(9 <i>)</i>	5日)	365	部活	5動	支担	爰(通年	Ξ)		
					/ 1	- A T	= -	A Belli						動の取締			داد د	を教えてくださし						

・ふるさと竜東の集いは、今年度11回目の実施となった。新型コロナウィルス感染拡大予防のため参加者を縮小して実施した。参加者は、校区 四小学校の6年生、中学生、学校職員、保護者、中学校区CS委員及び学校運営協議会委員(地域住民)の約140名でした。

ロコテムシン・サエ、エテエ、テは神域県、床域省、エテル区と3安貝及い子区建自協議会安貝に地域は氏がが140名でした。
・当日は、熊谷飯田市教育長に参加していただきご挨拶をいただきました。オープンニングでは中学生が全校合唱を発表し、小学生や地域の方に初めて聞いていただきました。全体会では、テーマ「地域と学校ともに考えようSDG's」とし、中学生代表が昨年度のテーマや取組からつながりを持った活動の3つの提案がされ、分科会へとつながる発表をしてくれました。地域代表としては上久堅の地域おこし協力隊の方に、都会と中金の達しる田金の魅力、これからの可能性(空き室対策など)について手にていたがさせま と田舎の違いや田舎の魅力、これからの可能性(空き家対策など)について話していただきました。
・分科会では、中学生が選んだ6つのテーマの中から分科会ごとテーマを選択して「良さ」「課題」「わたしたちにできること」について、様々な地

域、様々な年代の人が一緒になって話し合いをしました。お互いに意見を出し合う中で、新たな地域の魅力を発見したり、課題を明らかにしたりして、ふるさと竜東のこれからについて考え合うことができました。

学	校の	概要	学	栏校 名	4	飯日	日市立		立	鼎	中		学校	<u>- 1</u>	学校長			斉萠	秦 辰幸	<u>.</u>		児童	生徒数	348	3 名
		-						Гქ	地域と	共に	ある	学校	ざくり	^[向けた	:仕	組につ	いい	7						
					学核	速運営	に必要	な支	援に係	る協	議の:	場					ボ	ランラ	ティアの糸	且織化(地	域等	学校協	働本部)	につい	τ
海道	4.未	員会(信	- 144	刑一つこ	=	ティフカ	·_ 11.)				会議	の委	·員構/	戊			0	ボラ	ンティア	のリストか	ぶある				
建	当安县		19112	主コく	,	/ 1/2	. ///		市町	村教	委	\bigcirc	自治	台会	代表	\circ		ボラ	ンティア	の団体が	ぶある	(組織	化されて	こいる)	
⊬ +	KYEE A	当办業。	△ (70	-=	1.7h	(. r)	$\overline{}$	公民			\circ			大表	0	0	ボラ	ンティア	と学校の	情報	交換:	会がある		
						-	'ール)		地域コーラ地域学校協	ディネー 品働活動	ターや h推進員	\circ		· 教理 :校職	頭以外の 裁員			ボラ	ンティア	の方を対	象と	した研	修会がる	ある	
	かな	えコミニ		ティン	スクー	・ル		Ĺ	_						名を記入		学校と	協働	する様々	か団体	tile delte	د. س. د		1	
名									・子ども・主任児			員会:	委員長	:			や地域	との	連携調動	を行う	地域二	ューディネ	-9-	1	人
称									・ 市スポ			委員					職員じ	外に	ーター等 こいるか(、数を記 <i>)</i>	それぞ	動推委員	学校協 推進員(会の委 受けた者	教育 嘱を		人
						5月	18日(水	;), 1	10月24	日(月), 2月	24 🖹	1(金)				中心的	うなコ	ーディネ	ニーター			(公民館長	. 小 尼館	(主重)
	A議 催数	: 3			今年度 開催日												の立	場(リ	リストより	選択)	Z.C.	店	(公民間及	C Z Z Z K	主学)
	产定)		,		(予定														銭(その他? 弱・役職を記						
						運営	委員会	まれ	たは学	校運	営協	議会	会の協	議	内容及	IJ.	地域と	協賃	した活	動状況	2				
24	¢±4,-⊒		自	主 訴	找実	友愛																			
子化	〈教》	育目標																							
		有され い子ど	郷	土に雲	愛着と	と誇りる	と持ち,	自己	2実現を	と図る	鼎の-	子													
運;	営委!	員会ま	たに	は学校	速運営	協議:	会での協	協議	内容(本	年度	もしく	は昨	年度)				-	地域	はと協働	した活	動物	犬況			
1	上記	己の「地	地域	と共	有さ	れた	育てた	いゴ	そどもの)姿]	につ	いて	. 0		学长 1.	ボニ	· /= /-	マブ	L OF TAN	14dt 1.44-	ヒナ	b キ=	ニアトリ	7.134	
2	学校	運営	~(の必	要な	支援	こつい	て					0	1						域の大	H C	4 U/_ F	∃ C/CV	.1 C £	, 0
3	地垣	えの実	情~	や課	題に	つい	T						0	2				題に	ついて	学校とボ	デラン	<i>〈</i> ティ)	アで、情	報共有	
4	学校運営への必要な支援について 学校運営への必要な支援について 学校運営への必要な支援について 世域の実体や課題について学校に言いている。																								
															拉桶汽	七番	ルタカ	пì <i>4</i>	とボラ	/ティア		ボランラ 登録者		22	人
5	教暗	銭員の	任月	用に	関す	る一角	段的な	要皇	望につい	ハて				4	人数	う 野.	川(〜参刀	μС/	こハフィ	7717		参加者		110	
						1 1			-									1 1			_	人数		440	人
		登下	校	の見 '	守り	0	読み	.聞力) ¹ 七	اِ	児童会	会、生	三徒会	0	クラフ			0		給食			休み	* *	
				掃				СТ		Ē	学習ボ	デラン	ティア	\circ		りな! 間支	学習の Z援			7イルス対 毒・清掃			放課後 体験:		0
地	!			長期休 は験学			地域の低継承に				子ども: カフェ		(こども)連携		防災学	習(避	難訓練)		遠足	₽•登山		+	・ャリア教 体験を		易
吗 学	-			教育				祭理				託児									1		11 010	10,	
均学材協働記 重		学	I,	7	-		M INC.	-		9	1			1	1			A			The same				
重		ix æ		5	P	MA	0 1		C.	4			4			0		1	0						
活		庭	1	41				Y			4		A.	4	7			· M		HIT I			١,		
σ.		地域		-	1		45		7		4				ME										
根要		協働した取	3						L		7	T. A.		Y				.,		9	P			al	
			排排	也区反		式のオ	ボラン テ	・イブ	(5/4)		親子	子農業	美体験□	中学:	生ボランプ	ティブ	7 (5/28)			放課	後当	学習室	图(4月~	~)	
										代	表的	な協	働した	:活	動の取締	祖例									

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

今年度、まちづくり委員会、公民館の協力を得て、「ジュニアボランティアステーション」という組織を立ち上げた。それまでの学校が準備したお仕着せのボランティア活動への参加ではなく、地域から依頼のあった事業や活動に生徒が自主的に参加できる仕組みを整えた。今年度、地域から依頼された件数は38件。(参加できなかったものを含める。11.17時点) 内容は成人式や地区の納涼祭、文化祭などのスタッフ、美化活動(ゴミ拾い、公園清掃他)、絵手紙交流、公民館主催の農作業体験のスタッフなど多岐にわたる。コロナの影響で参加できなかったものもあるが、参加延べ人数は、78名。(11.17時点)である。参加した生徒の感想からは、ボランティア活動を通して、地域に貢献している満足感や地域の大人とかかわりをもてることの喜び、地域の魅力に改めて気づいたり、新たな発見をしたりするなど、地域の方との関わりから様々なことを学んでいる様子がうかがえる。自己肯定感や自己有用感にもつながっている。

学校の概	要	学校名	負	反田市	立	店	高陵中		学校	<u> </u>	学校長		肩	新山	」和夫		児童生徒	数	509	名
					「地域と	:共	にある	学校	づくり	^[ا	向けた	仕組に	:つ(いて	C					
			学校運営	営に必要な	な支援に位	系る						7	_		イアの組織化(均			部)に	ついて	
運営委員	会(信	言州型コミュ	ニティス	クール)			- 11.0	髪の委	員構			0			ンティアのリストカ					
							教委					0	_		ンティアの団体が				る)	
学校運営	協議	会(コミュニ	ニティ・ス	クール)	\sim	4	代表	0			代表(0	-		ンティアと学校の					
		I F A			地域学校	協働活	舌動推進員		学	校職	損		7	ボラ	ンティアの方を対	†象。	とした研修会	がある	5	
		交区「飯田 営協議会		ティスクー			J.J. 12				名を記入	学校	と協	,働-	する様々な団体	Hit felt	コーディネーター		2	人
名					上郷飯田		·仪長 学校長		光寺/飯田?		校長 高等学校	、や地	地域と	· の	連携調整を行う	1000	/ 1-1- /		2	人
称					長 ·飯沼	☆ 釆	計長					職員	以多	<u>外</u> に	こいるか(それぞ		或学校協働活 推進員(教育			
					D/X1LL	人 田							400	八	数を記入)		員会の委嘱を 受けた者)			人
A =46			,] 27日]	10月27日	2	月6日							_	ーディネーター	公臣	民館職員(公民)	館長・	公民館主	主事)
会議 開催数	3		年度 催日									0	立場	景(リ	ストより選択)	Ĺ				
(予定)		(=	予定)												(その他を選択し ・役職を記入)	}				
	<u> </u>		二十	全昌 录	士たけら	址	油品社	ケミ学と	≙∧⊬	7 11学	内突ひれ				した活動状況	_				
			建 产	女贝女	み/こはす	-TX	连	の研究で	エ () ()	1) CHR.	MAXC	アルビース(⊂ 1法	7) (35)	10に旧到10%	<i>/</i> L				
学校教育	目標		常	こ一流が	とるをめ	ざし	、. 意気	気とと	上希望	と	人の和を	ともつで	て、	明	るい高陵中	学村	校をつくる)		
地域と共有	され																			
た育てたい もの姿							意気	えと肴	う望と	人	の和でき	未来を	·拓·	く∃	}					
運営委員		たけ学校は	雷普拉該	今でのお	議内突(:	★年	r ±.1 ∠	/1十昨	(年度)	I			++	ı tati	と協働した活	- 新	44:0			
		-							 	<u> </u>			יוע	5450	(こ 加 倒 し/こ/ロ	到	17.71			Т
1 上記(刀口	也域と共有	10111	一百くだい	一十ともの	ソ安	:](C*)	,,,		1	学校とボの姿」が				上記「地域と共	有さ	いれた育てた	ことノゴ	とども	
2 学校证	運営	への必要	な支援	能につい	T						の安」か	共有さん	4 C C	٠, ٢	చె.					
3 地域(の実	情や課題	につい	て						2	地域の領できてい		課題	į(C	ついて学校とオ	ドラン	ンティアで、	情報	共有	
4 子どŧ	11	ジムナン批け	成 貢 掛 分	バでキスァ	かたつい	7				3	ボランテ	イアのフ			場所や交流スー					
4 1 2 6	٥،۱۵	- /U/よょ <u>E</u> さ	以只 II (//	7-6-21	J-(C)(·	_				3	(専用の	部屋や	他位	カト	目的で使用する	部月	屋との兼用		•	L
5 教職員	ട ട്ര	任用に関	ますス―	船的なる	更望につ	レンフ	_			4		動に参	加	した	たボランティア	0			35	人
0 42460	<u>,,,,</u>	11/11(二)	17.0	ハストナムシ	メエに ノ	•					人数						参加者延べ 人数	2	240	人
	登下	校の見守	:ŋ	読み	聞かせ		児童:	会、生	:徒会		クラブ、	部活動	力	0	給食	_	休	み時	間	Т
		清掃		I	CT		学習は	ドラン	ティア			な学習の)	\bigcirc	コロナウィルス対			後教		0
地	土目	15.717	45		伝統文化の				(こども		時間 防災学習	支援	(#)		の消毒・清掃 遠足・登山		キャリフ	験学 教育		
域 —		斗•体験学習	3		係る活動		カフュ				例火子百	(地)美田司川市) ()		逐足*盆山		体影	食を含	む)	
字 校 字	<i>)</i>	人権教育		国際	※理解			託児												
学校協働		R.															2000000	(Seption)	MOX	
活 屋					1/2		1				-				0111111				lan.	
動地域			Y		K			1								-	. 6		W	
概要は		24	-					11		Tr.		1				5				
労働し					100		80				1	100			į					
た 取		1					A.	1	9.33	1	A TOP	1				-				
組 例		全校総合	合:水質	検査(6	月17日)						足会(6月				黒田	人	形劇部(4)	∄~])	
							代表的	な協	働した	:活	動の取組	例								

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

・SDGsの11の目標「住み続けられるまちづくりを」に焦点をあてて、「中学生にできることは」をテーマに、総合的な学習の時間を用いて全校生徒で取り組んだ。個々に追究したいテーマを考え、同じようなテーマごと講座に別れて取り組んだ。各自追究する過程で、講師の方に助言をいただく必要が生じたテーマもあった。例えば、川の水質調査では、市の環境課職員に、地域の観光案内では、座光寺公民館職員に等と、学校へ招待したり、現地に赴いたりして、個々が追究したいことに具体を持つことができた。回を重ねるごとに、校外活動を行う講座や個人が増えたため、学校職員では対応しきれなくなり、学校長の発案で、地域ボランティアを募集した。募集については、上郷・座光寺の各公民館に協力依頼し、17名ほどの見守りボランティアの方に登録していただけた。このことによって、今まではあまりできなかった校外活動をスムーズに行うことができ、個々の追究にも幅と深みを持たせることができた。

	学校名	飯田市		立 遠	山中		学校	学	校長	田口	中 和恵	Ĭ		児	童生徒数	t 27	名
				「地域と	共にあ	る学材	交づくり)_^	向けた	:仕紀	組につ	いて					
	Ė	学校運営に	必要な	支援に係	系る協議	の場					ボラ	シテ	ィアの組織化(地	域学校	協働本部)につい	τ
運営委員会(*	信州刑コミュ	ニティスクー	- ル)		会	議の参	委員構用	戊				ボラ	ンティアのリストが	ある			
是日女员五(山川王一、二	.— / 4/2 (/	/-/		T村教委				代表	\circ		ボラ	ンティアの団体が	ある(組	1織化され	ている)	
学校運営協議	泰会(コミュニ	ニティ・スクー	-ル)〇		是館代表	0		ΓAf	代表	0		ボラ	ンティアと学校の	情報交	換会がある)	
			,,,,	地域コー	ディネーター 協働活動推進	巻		・教母				ボラ	ンティアの方を対	象とした	に研修会が	ある	
	校学校運営 合同学校選				の他の委員		:体的な行	役職	名を記入		学校と甘	な働っ	する様々な団体	uli idha ==	ディネーター	2	
名称	11111100				児童委員 ツ推進委	•					や地域	との	連携調整を行う -ター等が学校	地域コーク	14-9-	2	,
称											職員以	<u>外</u> に	かるか(それぞ いるか(それぞ 数を記入)	動推進	交協働活 員(教育 の委嘱を た者))
会議開催数(名	3 今	年度 第2回	令和4年	10月13日	金) 合[(木) 合[(木) 合[司第2回] 令和44	年11.	月26日(=	上)			ーディネーター ストより選択)	公民館職	銭員(公民館	長・公民館	主事
		予定)											(その他を選択し ・役職を記入)	公民館	注事		
		運営委	員会ま	たは学	校運営	協議:	会の協	議	内容及	び牡	地域と	劦働	した活動状況	Į.			
学校教育目標	「みがきあ		. 细 上 芍	か悪													
子仪教育日债	切咗琢磨	*奶奶碱夫	•畑上町	义发													
		をし、誇りをも	もち、遠	山郷を打	旦ってい	く人材の	の育成]•É	分で考	動て	ぎきる子	ども	・自ら課題を見	見つけ	、主体的に	こ学ぶ	子ど
也域と共有され こ育てたい子と		を愛し、ふる	らさとの『	中で生活	している	自分を	を見つと	あ 、え	ふるさとの	の未	来と自	分達	の夢を創造して	こいける	る子ども		
もの姿	5.2 /1.2		107														
ひい女	•心も体も	自立した子	- G.P.	人と関わ	りながら	豊かな	心を持	f5、	時と場り	こ応	じて適	切な	言動ができる子	ととも			
	- 011 0		- 0					きち、	時と場り	に応			言動ができる子 と協働した活		元 元		
運営委員会	または学校選		での協調	義内容(ス	本年度もし	しくは昨	作年度) 【	声、			ţ	也域	と協働した活	動状況		\ 7 184	
運営委員会記1 上記の「	または学校選地域と共有	軍営協議会	での協調 てたい	義内容(2 子どもの	本年度もし	しくは昨	作年度) 【	まち、 - 1		ボラ、	ナンティブ	也域 で_	と協働した活	動状況		・・子ども	, (
運営委員会 1 上記の「 2 学校運営	または学校選地域と共有	軍営協議会 可された育 な支援に	での協 語 てたい ついて	義内容(2 子どもの	本年度もし	しくは昨	年度)	1	学校との姿」が地域の	ボラバ共	ナンティブ 有され、 青や課人	也域 で_ てい	と協働した活	動状 が 育されが	た育てたい		
運営委員会1 上記の「2 学校運営3 地域の実	または学校送地域と共存 さへの必要に情や課題	■営協議会で 可された育 にな支援に について	で の協 語 てたい ついて	義内容(z 子どもの	本年度もl D姿」に	しくは昨	作年度) 【	1 2	学校と の姿」が 地域の できてい	ボランジ共	ンティブ 有され、 青や課題。	ででい	と協働した活 上記「地域と共7る。	動状 波 すされた	た育てたい ィアで、情	青報共有	
運営委員会1 上記の「2 学校運営3 地域の実	または学校送地域と共存 さへの必要に情や課題	軍営協議会 可された育 な支援に	で の協 語 てたい ついて	義内容(z 子どもの	本年度もl D姿」に	しくは昨	年度)	1	学校との姿」が地域のできてい	ボラ、	ンティブ有されずを課題である。	地域 でいて 原 居	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ	動状! すされが ランテ ペース な	た育てたい ィアで、情 が学校内! の兼用で	青報共 権にある。	
運営委員会記 1 上記の「 2 学校運営 3 地域の事 4 子どもに	たは学校送地域と共存 地域と共存 さへの必要 に情や課題 どんな地域	重営協議会 可された育 でな支援に でなすでいて 或貢献がで	での協調 てたい ついて	養内容(2 子ども0	本年度も D	しくは昨	年度)	2 3	学校と の姿」だ 地域の できてい ボランジ (専用の	ボランジェンジングを表している。	ナ ンティブ 有され 「「や課人」 アの方の 屋や他	也域でいている。	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とポ 場所や交流スペ	動状沙育されが ランテ ペース 次部屋と ボラ	た育てたいイアで、情が学校内	青報共 有	
運営委員会1 上記の「2 学校運営3 地域の事4 子どもに	たは学校送地域と共存 地域と共存 さへの必要 に情や課題 どんな地域	■営協議会で 可された育 にな支援に について	での協調 てたい ついて	養内容(2 子ども0	本年度も D	しくは昨	年度)	1 2	学校と の姿」だ 地域の できてい ボランジ (専用の	ボランジェンジングを表している。	ナ ンティブ 有され 「「や課人」 アの方の 屋や他	也域でいている。	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する	動状 沙 すされが ランテ ペ 部屋と ボラ の 参加	た育てたい イアで、情 が学校内 の兼用で ンティア 終者人数 ur者延べ	青報共存 にある。 も可)	
型営委員会。 1 上記の「 2 学校運営 3 地域の争 4 子どもに 5 教職員の	または学校送地域と共存的の必要と情や課題といる。 どんな地域と	軍営協議会 すされた育 な支援に いて 或貢献がで する一般的	での協調 てたい ついて	義内容 (ス 子どもの につい 望につ	本年度も	ついて	年度)	2 3	学校と の姿」が 地域の できてい できてい (専用の 協働活	ボランジェストランド・ボランド・ボランド・ボランド・ボランド・ボランド・ボランド・ボランド・ボ	ンティブ 有されで 「や課題」 アの方で 屋や他	也域でいている。	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する	動状泌 育されが ランテ ペースと ボラと ボラの の	た育てたい イアで、情 が学校内 の兼用で シティア *者人数 u者延べ な	青報共存 にある。 も可) 0	
■営委員会1 上記の「2 学校運営3 地域の事4 子どもに数職員の	または学校送地域と共存 さへの必要 に情や課題 どんな地域 か任用に関	軍営協議会 すされた育 な支援に いて 或貢献がで する一般的	での協調 てたい ついて ごきるか 的な要	養内容 (ス 子どもの につい 望につ	本年度も の姿」に て れて	くは昨ついて	F年度)	2 3	学校と の 地域で で ボラン 、 (専用 協 数 クラブ 総 合	ボラスを見る。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	ンティア 有されい 青や課人 アの方の 屋や他 に参加 活動	地域ででいる。	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する。 エボランティアの 給食 コロナウィルス対	動状 況 すされが ランテススと ボラ が 登 が 人 数	た育てたい イアで、情 がの新ライク数 ・ 大者イ人数 ・ 休み 放課後	情報共存 にある。 も可) 0 30 時間	
運営委員会1 上記の「2 学校運営3 地域の身4 子どもに5 教職員の登地域の身	または学校送地域と共存される必要を持つの必要という。 とはないが要とはいいののでは、 というでは、 というでは、 といっとは、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 といるとも、 というでも、 といるとも、 といるとも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は貢献がで はする一般的	での協調 てたい ついて きるか 的な要 IC 域の伝統	義内容(ス)子どものについ望につ加せΓ充文化の	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	で くは 的 で かいて で かいて で まま で	生徒会 / ティア (にども	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボラ が 登 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運営委員会 1 上記の「2 学校運営 3 地域の実 4 子どもに 5 教職員の	または学校送地域と共存される必要 を情や課題 どんな地域 から、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は貢献がで はする一般的	での協調でたいでいてできるかいます。 ままるかい ままるかい ままる はなの 伝統 域の 伝統 様本に係る はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる しゅうしゅう しゅう	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	しくは昨 ついて	手年度)	2 3	学校と の 地域で で ボラン 、 (専用 協 数 クラブ 総 合	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいる。	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する。 エボランティアの 給食 コロナウィルス対	動状 況 すされが ランテススと ボラ が 登 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 にも可) 0 30 時間 後教習・	
運営委員会 1 上記の「 2 学校運営 3 地域の実 4 子どもに 数職員の 登	または学校送地域と共存される必要を持つの必要という。 とはないが要とはいいののでは、 というでは、 というでは、 といっとは、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 といるとも、 というでも、 といるとも、 といるとも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は貢献がで はする一般的	での協調 てたい ついて きるか 的な要 IC 域の伝統	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	で くは 的 で かいて で かいて で まま で	手年度)	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボースと ボースを が 多 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運営委員会 1 上 学 地 子 2 3 地 子 4 子 教職 登 土教 ************************************	または学校送地域と共存される必要 を情や課題 どんな地域 から、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は可能がで は可能がで	での協調でたいでいてできるかいます。 ままるかい ままるかい ままる はなの 伝統 域の 伝統 様本に係る はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる しゅうしゅう しゅう	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	しくは昨 ついて	手年度)	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボースと ボースを が 多 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運 1 上 学校・家庭 4 子 教 地域学校協働活 5 地域学校協働活	または学校送地域と共存される必要 を情や課題 どんな地域 から、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は可能がで は可能がで	での協調でたいでいてできるかいます。 ままるかい ままるかい ままる はなの 伝統 域の 伝統 様本に係る はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる しゅうしゅう しゅう	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	しくは昨 ついて	手年度)	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボースと ボースを が 多 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運営委員会 1 学校域 1 学校・家庭・ 1 学校・家庭・ 生教 2 2 地域学校協働活動	または学校送地域と共存される必要 を情や課題 どんな地域 から、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は可能がで は可能がで	での協調でたいでいてできるかいます。 ままるかい ままるかい ままる はなの 伝統 域の 伝統 様本に係る はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる しゅうしゅう しゅう	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	しくは昨 ついて	手年度)	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボースと ボースを が 多 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運 1 2 3 4 5 対 上 対 対 対 対 支 の に 対 対 対 は の に 対 対 対 は の に 対 対 対 は の の 対 対 対 対 対 は の の の 対<	または学校送地域と共存される必要 を情や課題 どんな地域 から、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は可能がで は可能がで	での協調でたいでいてできるかいます。 ままるかい ままるかい ままる はなの 伝統 域の 伝統 様本に係る はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる しゅうしゅう しゅう	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	しくは昨 ついて	手年度)	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボースと ボースを が 多 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運 1 2 3 4 5 地域学校協働活動の概要 量 2 3 4 5 では、家庭・地域の協働 単位 2 2 2 2 2 2 2	または学校送地域と共存される必要 を情や課題 どんな地域 から、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は可能がで は可能がで	での協調でたいでいてできるかいます。 ままるかい ままるかい ままる はなの 伝統 域の 伝統 様本に係る はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる はままれる しゅうしゅう しゅう	義内容 (ス 子ども0 につい 望につ かせ Γ ^{充文化の}	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	しくは昨 ついて	手年度)	2 3	学校と対象のででででである。	ボランドでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、	ンティフ有され 青や課人 であったの方でを に参加 活動 で選択	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 的で使用する エボランティア(給食 コロナウィルス対 の消毒・清掃	動状 況 すされが ランテススと ボースと ボースを が 多 が 人 数	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存 (こある。 0 30 時間 後学育(職場	
運 1 2 3 4 5 地域学校協働活動の概要 量 2 3 4 5 土教 地域学校協働活動の概要 全 土教	たは学校送地域と共存される。 を持つの必要という。 を持つない地域と共存される。 を持つない地域と、 を持つない地域と、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	軍営協議会 可された育 はな支援に ではなすがで は可能がで は可能がで	での協調でであれていていている。	養内容 (ス 子ども0 いについ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ の の の の の の の の の の の の の	本年度も の姿」に て 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	ではいて でいて では、食堂の では、食堂の では、見い。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	手年度)	1 2 3 4	学校と対象のででででである。	ボチャー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー	プライブ有され 青や課人 アのケ他 に参加 活動の援難訓練)	地域ででいい。アカスの関係では、アカスの関係では、アカスの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスのの関係には、アカスののののでは、アカスのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	と協働した活 上記「地域と共和る。 ついて学校とボ 場所や交流スペ 場所で使用する。 エボランティアの 給食 コロナウィルス対 遠足・登山	動状 況 すされが テンススと で が で の の の 策	た育てたい イアで、情 が学校内で が発用ア を かと 大子イ人数 は 体み 体 体 体 体 体 体 が 体 の 来 で 、 体 り は な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	情報共存にある。 0 30 時間 後学育職が含む)	

取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

本校では昭和29年に設けられた約17haの学校林を所有している。この学校林を生かした学習活動として「学有林学習」が行われている。PT A組織に「施設学有林部」があることも特徴的である。学有林学習では県と市の林務課、飯伊森林組合、栄林社など地域の林業関係者のお力 添えをいただいている。

学習の実際は、実地学習の前に座学を行い、SDGsの視点から森林が私たちの暮らす地域だけではなく、海洋環境にまで影響を及ぼすこと や、林業の未来について学んだ。事前学習の翌日、学校林へ行き実地学習を行った。前年度は学校林への道路が崩落し、通行できなかったため2年ぶりの作業学習となった。本年度は昔ながらの手作業による伐採と機械化された伐採との違いを学んだ。その中で安全なチェンソーの 使い方を教えていただき実際に操作する体験も行った。地域で林業に従事する方々の手際良い作業を間近で見学したことで、進路選択の一つとして考える生徒もいた。「学有林学習」は地域の支えなしには成り立たない伝統的な学習行事となっている。

学	校の	概要	学	校名	松	川町		立松	川中	Ь		学校	:	 学	校長	渡	邉 浩				児i	童生徒数	327	名
					+		Г	地域と	:共(こある	学杉	をづくり	上 儿	^	向けた	:仕	組につ	いしい	τ					
					学校	運営に必要		_ ,			• •						•		ティアの組織化(地	!域:	学校	劦働本部)	について	
海	当禾:	昌 <i>△ ()</i> =	.\I\\ ±	刊→ミ	,-=	ィスクール)	\cap			会議	のす	委員構	成	ż			0	ボラ	シンティアのリストが	ある	5			
埋	当安.	ez (15	7112	エーぐ	ューア	ィハソール)	\bigsqcup	市町		教委	\bigcirc				代表		0		ンティアの団体が		- (.,		いる)	
学#	☆潘-	量協議~	수 <i>(</i> ·		ニティ	・スクール)				代表	\circ				表	\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	情幸	设交 掺	美 会がある		
								地域コー地域学校	ディネ協働活	ペーターや 舌動推進員	\circ			教頭 交職	頁以外の :員	\bigcirc		ボラ	シティアの方を対	象と	とした	研修会がる	ある	
	松川	町保・	小•	中学	校運;	営協議会			.—	12.					名を記入		学校と	森価·	する様々な団体	14h 1-2-		,3. 5	1	
名称							[地域住員	-氏、	、ホラン	アイ	ア 代表	Ċ,	王1	任児童	妥	や地域	との	連携調整を行う	吧喊	ューディ	ィネーター	1	人
称													_				職員以	外に	こいるか(それぞ ***た記 7.)	動物	推進員	協働活 員(教育)委嘱を :者)	1	人
,	会議				、左座	5月12日 10月6日											中心的	はコ	ーディネーター Jストより選択)	教育	『委 』	員会職員	_	
開	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本																		ノヘトより選択)	_				
(-	予定)		(-	丁疋)	4月													銭(その他を選択し 場・役職を記入)	生》	厓学	習課嘱託	職員	
									••		譲	会の物	名言	議区	内容及	び±	也域と	劦偑	した活動状況	2				
اعد	六型		自己	う考え	、正し	く判断し、	行動	かできる	生徒															
字柱	义教	育目標																						
		:有され:い子ど	·集	団の「	中で作	句かって努 中間と協調 或に信頼さ	し、	関わり合	かいき	を広げる	5生紀													
運'	営委	員会また	たは	学校:	運営	茘議会での	協議	内容(2	本年	度もしく	は昨	€年度)	T	_			j	地域	と協働した活	動	伏況	l,		
1	上記	己の「排	1域	と共	有され	1た育てだ	_V _	子どもの	り姿	こについ	いて	. C)		١ مليل ١	12							7 187	
_						支援につい)		字校となの姿」が				上記「地域と共存る。	ĦЗ	なしだ	- 月 くたい	ナとも	0
3	地填	或の実情	情々	や課是	夏にて	ついて)		地域の できてい			될に	ついて学校とボ	ラン	ノティ	アで、情	報共有	0
4	子と	<i>i</i> もにど		な地域	城貢	献ができる	ろかり	につい	て)		ボランプ	ティ	アの方の		場所や交流スペ 目的で使用する					
												\top	t								ボラン	/ティア	53	人
5	教耶	職員の個	任月	用に関	貫する	ら一般的な	要	望につ	いて			\subset)	/	協働沿 人数	ョ虭	ルこ参刀	µ L 7	たボランティアの	<i>(</i>)	参加	者人数者延べ		
	<u> </u>			_									1	4		,		_		4	人数		430	人
		登下		の見句	子り	読。		かせ	0	児童会			+	_			『活動	0		经	0	休み	* 1. *	Ш
			清		11/-	10.15	ICT		Ш	学習ポ				0		間支	援	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	來	$oldsymbol{\perp}$	放課後 体験 ⁴	学習	0
対 均	也或			期休美 験学				范文化の る活動	Ш	子ども? カフェ		:(こども の連携	1	0	防災学習	習(避	難訓練)	0	遠足•登山			キャリア教 体験を		0
- - -	教科・体験学習 継承に係る活動 カフェ)												ſ			_						_		
重 <i>0</i>	助	学校・家庭・地域の協					2								5									
пМ	Z	働した取								12	t		NAME OF STREET	1	1				7		-	A.		
	\bot		也域	の方	の読	み聞かせ	(毎	月1回							フェア				3年総合	池	域請	構座(発表	長会)	
										代表的	な協	多動した	= }	舌重	かの取象	日例								

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

・しごと☆未来フェアは、2学年の生徒を対象に11月に開催予定である。学校としては「地域を支える様々な職場で働く方のお話を聞いたり、職業に関わる映像や資料を見たりすることを通して、地域で働く人の姿から「地域で働くこと」の喜びや大変さを知り、自分自身の将来の夢や進路を考えたり、選択したりしていくための機会とする」というねらいがある。地域としても「将来を担う中学生が地域企業を知り、郷就につながるキャリア教育。地域の次世代育成⇒「松川町でステキに生きる若者を」 子どもの進路選択の一つに「地域」をいれたい。」という願いがある。両者のねらいと願いを地域コーディネーターがつなぎ、「生徒が主役」ということと「同世代の中学生との交流を深める」という点で、今年度は大鹿中生とも一緒に打ち合わせを行いながら、計画を立てた。当日は町の公民館「えみりあ」を会場にして、各事業のブースを自分で選択して巡り、たくさんの方から話を聞いたり、仕事内容の体験をする予定である。体験を通して、働くことの楽しさやキャリア(生き様)を直接お聞きし、楽しみながら働くことへの希望を持てることを願っている。

学校の概要	学校名	高煮	茶町 立		高森	中 :	学校	学	学校長			上汽	睪 浩		児童生徒	E数	428	名
			「地域。	上共し	にある学	学校 [·]	づくり	J^	向けた	仕	組につ	いて	•					
	学	や校運営に必要	長な支援に	係る	協議の均	昜					ボラ	ランテ	ィアの組織化(:	地域的	学校協働本	部)に	ついて	
運営委員会(信/	以刊リつミっこ	ーニ /フカール)	\prod	_	会議(の委	員構反	龙			0	ボラン	ンティアのリスト	がある	·			
建 台安县云 (旧/	生一、	-7.4~2 /-/	市		教委	0			代表	\bigcirc	0		ンティアの団体				る)	
学校運営協議会	<u>-</u> ^(¬>¬ニ	 ティ・マクール)				0			代表	0	0	ボラン	ンティアと学校の	の情報	- 日交換会がる	ある		
			地域学校	ーディネ 交協働? 	ネーターや 活動推進員			•教頭	頂以外の 桟員	\circ		ボラン	ンティアの方をタ	対象と	:した研修会	きがある	٥ 	
小原ヶ丘コミ 会	ュニティス	スクール運営協			の委員]※			殳職	名を記入	,	学校と	カ働っ	よう様々な団体		× n		_	ı
			・部活・商工		卜部指導₹ ≳長	者代	表	-	_		や地域	との連	重携調整を行う	ALL AND	コーディネーター	1	2	人
名 称			•JA <i>Ŧ</i>	なみ	外信州高						職員以	<u>外</u> に	-ター等が <u>学校</u> いるか(それぞ 数を記入)	地域動推	学校協働活 推進員(教育 社会の委嘱を 受けた者)		0	人
会議	今年	F 第2回小原	京ヶ丘コミュ 京ヶ丘コミュ	ニテ	・イスクー)	ル運	営協語	議会	1/2	6	中心的の立	なコ- 坦 (1)	ーディネーター ストより選択)		館職員(公民	館長・ク	公民館主	事)
開催数 6	回 開催	富森町小	中学校運営	書協評	議会4/21	1, 10)/20,	12/	6, 2/14									\dashv
(予定)	(1)	正)		_	_					(その他を選択し ・役職を記入)	公臣	民館長・公	民館:	主事 _				
										び¤	也域と	協働	した活動状	況				
学校教育目標	三自の精		課題を見て を律し、自 見直し、互	ら判	断し、行!	動す	る											
		進んで挨拶の	できる子ど	t			<u> </u>	<u> </u>	EC~									\dashv
地域と共有され ・	主体的に	ものごとに取り えや思いを進	組み、学ん	しでい		ども												
運営委員会また	:は学校運	営協議会での	協議内容(本年	度もしくに	は昨年	年度)				t	地域	と協働した活	舌動物	犬況			
		された育てた				-		H	<u>.</u>								$\overline{}$	П
		·		クタ		- (1	学校となの姿」が				ニ記「地域と共 る。	有さ	れた育て	きい子	-5.£	\circ
		な支援につい					\cup	otaclustic	LIL LET (T)	士压	丰め細目	店リティ	- ションマ学長し	エニィ	ニッマベ	桂却	144-45	
3 地域の実情	や課題に	について					0	2	できてい	ハる	0		ついて学校と					\circ
4 子どもにどん		貢献ができる	うかについ	って				3					易所や交流ス 的で使用する					0
							\top		协働沿	に制	リア会力	nì <i>‡</i> ,	ボランティア		ボランティア 登録者人数	1	100	人
5 教職員の任	上用に関っ	する一般的な	:要望につ	ルバ	C			4	協働沿 人数	与到)	(こ参刀	U/C	ニかフンティテ	-	参加者延べ	╁	80	
3× 1-		1. =+,	- == > >	T_			71: A	igspace	. —	امات	->=				人数		1	人
	交の見守り	-+	み聞かせ	\circ	児童会			Ш	クラブ 総合的		『活動		給食 コロナウィルスタ	外竿		:み時 後教		Ш
	清掃		ICT	\perp	学習ボ			0		間支		0	の消毒・清排		体	験学	習	Ш
ادم رمد	·長期休業 ·体験学習	継承は	伝統文化の に係る活動		子ども食 カフェ))との			防災学習	習(避	難訓練)	Ц	遠足•登山			ア教育	*(職場 む)	0
学人	権教育	国	際理解		計	托児												
域学校協働活		0	Inc. Fr) A	8		-						M 6.	d washing Stag	アール地点	A PART SERVICE	400	
動 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Service L	W. C			70			10	15		1	1			A POLICE OF THE PARTY OF THE PA			
動地				21	1 M	-					-	100	1/4		W. S. S.	Ja pa		
概のの		PA		08	1			1	1				4.5	1				a
要協し				1				1.	6		1	4		nase no	但穿記錄* 21.863(1.03(10))	William Inc.		-
た 取	19	WATER STATE				*	0		1		-		高森町	3,515	i.42m 記錄達	減		
組 例	高森の	の時間 R4・8	3/26				芯援隊		動 R4		/15		流しそうめ	んギ	ネス挑戦	R4•	11/5	5

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

【高森の時間】《内容・取り組み》

・高森の時間(3年)では、高森の活性化に向けて、町の行政職員や地域の方と一緒に活動に取り組んだ。生徒による企画書をもとに、市田柿・観光・環境・竹活用・農業・自然未来設計の6グループに分かれ、総合的な学習の時間を中心に活動を重ねた。11月の参観日に保護者やお世話になった地域の方々に取り組みの様子を発表した。また、町企画の活動に一緒に参加したり、成果を外部に発信した。《成果・効果》

*地域の方と共に活動する中で、地域に関心をち、互いに協力し合いよりよい活動にしようと意欲的に取り組む姿が育った。継続的な活動や体験を通じて、皆で力を合わせて目標を達成する喜びや充実感をもつ姿がたくさん見られた。

・中学生の取り組みの様子を学校だよりや地域の広報、ケーブルテレビなどを通して発信する中で、地域の方々が学校や生徒の取り組みを理解し、協力してくださり、地域と共に歩む学校づくりにつながった。

学校の概要 学校名 阿南町	立 阿南第一中 学	校	学校長	田本けい	子		児童生徒	数 67	名					
	「地域と共にある学校で	ゔくり」・	へ向けた	仕組に	ついて									
学校運営に必要な	支援に係る協議の場			市	ランテ	ィアの組織化(地場	或学校協働本 部	部)につい	τ					
運営委員会(信州型コミュニティスクール)	会議の委員	構成		0	ボラ	ンティアのリストがあ	る							
ZIZZANIME (CONTOUR)	市町村教委	自治会	会代表		ボラ	ンティアの団体があ	る(組織化され	1ている)						
学校運営協議会(コミュニティ・スクール)	公民館代表 ○		代表	0	ボラ	ンティアと学校の情	報交換会があ	る						
	地域コーディネーターや 地域学校協働活動推進員		数頭以外の 職員	0	ボラ	ンティアの方を対象	とした研修会	がある						
阿南第一中学校学校支援会議	[その他の委員]※具体的				·協働。	する様々な団体 地	城コーディネーター	1						
名	·民生児童委員(会長·主 ·駐在所所員	E仕児	重委貝)	や地	或とのi	車携調整を行う	吸ューティ 不一 ター	1	人					
称	·歴代PTA会長代表						域学校協働活 動推進員(教育							
	•社会福祉協議会担当			Ž	1の人		過程歴員(教育 過会の委嘱を 受けた者)		人					
第1回 6月2	7日(月) 第2回 1月27日	3 (金)		中心	的なコ・	ーディネーター ##								
会議 今年度 明傑州 9 回 開催日							育委員会職員	Į						
芸成 開催数 (予定) 2 (予定) (表) (
	比比许常位军带拉莱人	소 사 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건	· * ch sto TL		-									
			製円谷以	ひ地域と		した活動状況								
学校教育目標	() v) ii [m] lee (W is m	-												
木年度重占日標														
地域と共有された音ででいるととである。 『自立・自律』 [知] 「なせ	・?を大切にしよう [徳]自名	分の考	えも友の	考えも大り	刃にし	よう [体]かけが;	えのない命・	体を大切	にし					
もの姿														
本年度重点目標 『自立・自律』 [知]「なぜ?を大切にしよう [徳]自分の考えも友の考えも大切にしよう [体]かけがえのない命・体を大切にしまう もの姿 』 と 「世域と共有された で は で が で が で が で が で が で が で が で が で が														
本年度重点目標 「自立・自律』 [知]「なぜ?を大切にしよう [徳]自分の考えも友の考えも大切にしよう [体]かけがえのない命・体を大切にしまう もの姿 軍営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度)														
運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況														
まの姿														
1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ 1 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども の姿」が共有されている。 2 学校運営への必要な支援について ○ 2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 できている。 4 子どもにどくな地域貢献ができるかについて ○ 2 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。														
2 字校連宮への必要な文接について □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □														
			力 禹立	エ新ルタ	hnì ₺	ニボランティアの	ボランティア 登録者人数	15	人					
5 教職員の任用に関する一般的な要	望について	4	4 人数	5野(こ参)	ЛД C/3	ニハフンテイチの	参加者延べ	100						
					т т		人数	100	人					
登下校の見守り ○ 読み間	別かせ ○ 児童会、生徒	ŧ会		、部活動	0	給食		み時間						
清掃 ○ IC		イア	総合印	りな学習の 間支援	\circ	コロナウィルス対策 の消毒・清掃	体	後教科・ 験学習						
地 土日・長期休業 地域の伝: 教科・体験学習 継承に係			防災学	習(避難訓練	i) ()	遠足•登山		'教育(職場 を含む)	易〇					
数科·体験字音 継承に登														
校場校		M	III. INC. OF THE PARTY OF THE P		LT			F/ 7.6	i i					
(m) (r) (s) (s) (s) (s) (s) (s) (s) (s) (s) (s					100			7 1						
活動。					100				7					
の域域		-	Jan A			-0	***	IN						
要 協	Shire and the same of the same				440		NAME OF TAXABLE PARTY.							
久														
L														
(型)	h;(5 (0)	11-7-	フェス(5/	(20)		11, 14	清掃(10/2							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

「総合的な学習の時間スタートナビ」では、生徒が総合的な学習の時間で追究していく地域をテーマにした材を主体的に決め出すための企 画を行った。阿南町役場と社会福祉協議会に協力を得て、農業・防災・観光・福祉・産業・文化の6ブースを設置。各ブースでは、町や社協の

四で17-7/-。門田門以家C11-云田江助戦云に助力を行く、展来・別火・観元・恒仲・ 医業・又16007 一人を設直。各プースでは、町や住協の担当者が専門的な立場から町の現状や課題、中学生に望むことなどをプレゼンテーションしていただいた。これまで、地域課題を決め出すのに、生徒の限られた経験や担当職員の調査力に頼って対応していたため、深まりや広まりに課題を感じていた。そこに、地域の方の力をお借りすることで、より詳しく具体的な情報を得ることが出来た。また、生徒が決めだしたテーマを追究するのに、困ったときに頼れる先を得ることが出来て、追究が進みやすなった。

地域に「お願いする」学習から一歩進んで、地域と「共に学ぶ」、中学生が地域へ「貢献する」ような学びに発展する可能性が感じられ、今後も さらに地域との連携・協働を進めたい。

学	校の	概要	学	校名	阿南町		立阿	南第	第二中		学校	<u> </u>	学校長	大	澤忠	史			児童生徒	b数	20	名
							「地域と	:共(こある	学校	づくり	1_^	へ向けた	:仕	組につ	いいっ	C					
				Ė	学校運営に	こ必要な	支援に	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(対	也域的	学校協働本	部)に	ついて	
潘	学 委	昌仝(信	小川五	リコミュ	ニティスクー	ール) (会議	の委	長員構成	戊			0	ボラ	ンティアのリストカ	ぶある	3			
連	白女	貝云(旧	1/11/3		.— / 1/1/	70)	市町	丁村	教委	\circ	自治	台会	代表	\circ	0	ボラ	ンティアの団体が	ぶある	5(組織化さ	れてい	いる)	
学	は 油	骨协議	<u> </u>	72.,-	ニティ・スク・	- n.)		4	代表	\circ			代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	最交換会が	ある		
1-1	区生	白加州	۸ (۰		-/1///	/ /	地域コー 地域学校	ディネ協働活	ベーターや 野動推進員	\circ		· 教! :校罪	頭以外の 戦員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	こした研修会	があ	る	
	新里	予学校ニ	ミュ	ニティ	スクール	•	_					役職	名を記入	,	学坊し	カ価・	する様々な団体					,
名									委員地[全育成:		長				や地域	との	連携調整を行う	地域:	コーディネーター		1	人
称								- WE :	E H 14%.						職員以	外に	ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ 数を記入)	動物	送学校協働活 推進員(教育 員会の委嘱を 受けた者)			人
					第一	回 4月	15日【中	业上]									ーディネーター		龙住民	1		
	会議 ¶催数			今 回 開	年度 臨時 第二	7月· 回 1月									の立	場(リ	ストより選択)	地場	(住氏			
	予定				产定)												(その他を選択し ・役職を記入)		野学校コミ コーディネ			_
					運営3	5昌会:	または学	₽校	運営協	議	会の揺	鴻	内容及	7	也域と	な価	した活動状況		2 11 1			
		1	知を	:耕す・	心を磨く・			·^	~ — —	U 1750, 2	L	o press			J-#C		, o, c, p, s, o,					
学村	交教	育目標																				
地地	成と#	っ有され			学び、郷				- 1.1													
		い子ど	• \[`\.	身を傾	まやかに成	長させ	、ふるさと	<u>〜</u> 真	献でき	る子	-F.A											
·=			+ 1-1-	774 T T 12	포쓰바육스	エの わ	業中☆/-	+ /-	中ナ しょ	14.04	ケー体)	1				ᄔᄱ	と協働した活	手上。	ши			
					運営協議会						1					也均	に励働した活	割1	人沉			П
1	上詞	記の世	地域	と共有	すされた育	うてたい	一子ともの	り姿	ここつ	いて	0	1					上記「地域と共	有さ	れた育て	という	子ども	0
2	学村	交運営	~O.	心必要	な支援に	こついて					0		の姿」だ	が共	有され	てい	ఏ 。)
3	地均	或の実	情々	課題	ほついて						0	2	地域のできて			題に	ついて学校とホ	ドラン	/ティアで.	情幸	段共有	0
4	子と	ごもにと	゛ん゛゙	な地域	或貢献が~	できるカ	パつい	て				3					場所や交流スー 目的で使用する					
													わ ほこ	工制	ルタカ	пì 🕹	こざい /ニ /フ	\mathcal{D}	ボランティア 登録者人数		14	人
5	教耶	職員の	任月	に関	する一般	的な男	望につ	いて	-			4	人数	5 期	に参り	µС/	たボランティア	()	参加者延べ		0.5	
																			人数		25	人
		登下	校の)見守	b	読み	引かせ		児童会	会、生	E徒会				ß活動		給食	Lánha		:み時		
			清			IC			学習オ	ドラン	ティア			りな。 間支	学習の :援	0	コロナウィルスタ の消毒・清掃			果後勢 験学		
	也	土日 教科	•長 •体	期休業 験学習			統文化の 系る活動	0	子ども カフェ				防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			ア教育 倹を含	で(職場でむ)	
±.	学	J	権	教育		国際	理解			託児												
植	或学交劦動舌	学校						E	,							17.00		-				1111
信	動	家		-	100				-							V			The same of		HEN	
重	助	庭 地	V		NE	47								7					i de		Sa 3	
相	D 既	域の	4							1				-			LHA					3
3	既 要	協働	7	1			-07	196			1									1	曹人	
		した	4	M			19/2		4	1	· /							4			# 1	
		取 組 例		東町	花壇定植	1(6月6	日)		TOP ISSET	紅棱	†山下	草〉	切り(6月	16	日)	WATER STATE	盆踊り)講	習会(7月	26 ⊨	1)	
		171										_	動の取締							•		

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

37年前、当時の生徒の「貴重なハナノキ群生地である紅樹山の自然を守りたい」という願いから始まった紅樹山の下草刈りを、今年度も新野学校協力会の方々と行った。今年度は作業時間確保のため、職員と生徒はバスで現地へ向かった。例年同様、1年生は協力会前会長さんに案内してもらいながら、紅樹山に自生するニッコウキスゲやササユリなどの希少植物を見て学習し、2・3年生が中心となって紅樹山および大村湖周辺の下草刈りを行った。下草と一緒に貴重な植物を刈ってしまわないよう、足元や場所に注意しながら、新野学校協力会の皆さんと一緒に作業に取り組んだ。約1時間の作業で、道路側の山肌と遊歩道沿いの下草がきれいになり、道からもはっきりニッコウキスゲが見えるようになった。生徒たちは、今年度も伝統を受け継いで、新野の玄関口に咲く貴重な植物を守る活動ができたことに喜びを感じ、誇らしい思いをもつことができた。

学	交の	概要	学	校名	á	阿智村		立 阿	智口	Þ		学校	学	校長	竹	内 良	之		ļ	児童生徒	数 18	2 名
								地域と	:共	にある!	学校	づくり		向けた	:仕	組につ	いい	C				
					学	校運営	に必要な	支援に係	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	イアの組織化(地	域学	校協働本部	邪)につい	て
運営	委員		含州西	Du 2	ュニ	ティスク	フール)			会議	の委	員構匠	犮			0	ボラ	ンティアのリストが	ある			
Ų	1903	A (1)	H / II =			2 - 12 - 2	,,,	市町	丁村	教委		自治	会付	代表			ボラ	ンティアの団体が	ある(組織化され	こている)	
学ね	が黒さ	台协議	· (-	73.,		ニュ・マノ	フール) 〇			代表	0		`A什		0		ボラ	ンティアと学校の	情報で	を換会があ	る	
子化	())	当历的	· 五(-		.— <i>)</i>	1.77	, ,,,,	地域コー		ペーターや 舌動推進員	\circ		· 教邸 校職	頁以外の 員			ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会	がある	
	阿智	中学	交運	営協	議会	슬		[その	の他	の委員]	※具体	本的な征	ひ職:	名を記入	,	224-11	++ t s sl	L-714 . L-1714				
名								学区内]学	咬代表((小学	校•高	校)			や地域	との	連携調整を行う	地域コー	・ディネーター	1	人
称																		-ター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		- 校協働活		
																		数を記入)		進員(教育 会の委嘱を	1	人
		1	1			6月	2日(木)	2月14日	∃()	<)						+ > 4-		ーディネーター	受り	ナた者)		
	議				今年	度	,	-, •	. ()	•/								コティネーター	教育委	桑員会職員	į	
	催数 P定		2	回り	開催 (予定											具体的た	~ 役 腊	(その他を選択し				
	, NL)																	・役職を記入)				
						運営	委員会ま	たは学	校	運営協	議会	€の協	議	内容及	び	地域と	劦偅	した活動状況	ļ			
24.6 des	h +1/1.	K II Tai	自ら	考え	之行! 包 L	動できる	る力(自主 心(清明))														
字形	〈教育	自日標				量かな う態度																
地域	と共	有され					内な学力を											2 4 4 4 4 4 2 2 4		7 # 17 .	- . \	
た育	てた	い子ど	(2)	相手	=0)7	存在を	意識し、目	他ともに	こより	り良く生	古の	できる	調杠	コのとれ	た与	产級、所	属原	や存在感を感	じ合え	える集団の) 育成	
	_	- '																	-1 1h			
連盟	了委.	負会ま	たは	字校	建	宮協議:	会での協議	長内容(ス	本年	度もしく	は昨	年度)					地垣	と協働した活	動状	况		
1	上訂	<u>∃</u> の「 」	也域	と共	有さ	された	育てたい	子どもの	り姿	こにつ	いて	\circ	1	学校と	ボラ	ンティブ	っで	上記「地域と共る	すされ	た育てた	:い子ども	
2	学材	を運営	~0	D必	要な	さ支援	について					0	1	の姿」な	が共	有され	てい	る。				
													_	地域の	実	青や課	頻に	ついて学校とボ	ランラ	ティアで、	情報共	f
3	地項	以の美	:情べ	ご課題	題に	こつい	. (0	2	できて	いる	00						
4	子と	*もに	ビん	な地	域	貢献が	ぶできるか	につい	て				3					場所や交流スペ 的で使用する				
																			ボ	ランティア	50	人
5	教耶	銭員の	任月	月に	関す	る一点	般的な要	望につ	いつ				4	協働活 人数	古動	に参加		たボランティア		録者人数加者延べ		
														/\9X						数	80	人
		登门	で校の	り見ち	守り		読み聞	かせ		児童会	会、生	徒会		クラフ	、音	『活動	0	給食		休る	み時間	
	ı		清	掃		\dashv	IC7	Γ		学習は	デラン	ティア			りな? 間支	学習の	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		後教科・ 験学習	
地	. -		日・長				地域の伝統			子ども				防災学				遠足・登山	+	キャリア	教育(職:	場
垣	ì L		斗•体				継承に係			カフェ		連携		177011	L1 (VE)	- XIII III 11/11/17			-	体験	を含む)	
学校協		学 L	人権	教育	(1)(-)	0	国際理	生 用牛	200	P - 0	託児	-	Tion 9		90 n							
協働		· 校					5					Sec. Marie	T T			1				A		Marie
泛	i I	家庭	1			10						3				POTE			1			
動の		地																				
栶		域 の		и			100		1			9	- n			5				1		V
要		協働		6	4	1				200								3		7	1	(e
		し た 取	1	1			12	11					4		3			III S		11	1	
			年職	場訓	周べ	・キャリブ	アメッセ(1	1月29月	月)	2年	職場	晶体験	学習	图(7月	13	314日))	3年若駒	アカテ	ぶっ(7月	~2月)	
	_	W1				-	,			代表的												

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

1年生対象に実施される『キャリアメッセ』とは、阿智村内の11の事業所が授業日に中学校の体育館にブースを設け、生徒とその保護者が自分が興味を持った事業所のブースに出向き、事業所の職員から事業の説明を受けたり説明の内容に生徒が質問をしたりして、地域企業の工夫や働くことに対する意識だけでなく、進路実現へ向けての実際やキャリアの積み方など学ぶことのできる機会である。1学年の生徒達は、『キャリアメッセ』を中心に、社会にはどんな仕事があるのかを学び、2学年の生徒達は、1年生時に学んだ知識をもとにして、実際に受け入れてくださった職場に2日間出向いて体験することで、働くことの価値を実感することができる。2年生で行われる職場体験学習と関連性を持たせた学習である。

学校	の概要	学校	名	下條村	立	_	下條中	Ä	学校	学	校長		,	小材	* 康彦		児童生徒	数 103	8 名
					「地均	或と共	にある:	学校1	づくり		向けた	仕	組につ	しいつ	C				
			学校	交運営に必要	を支援	に係る	協議の	場					ボラ	シテ	イアの組織化(地	域学	校協働本部	那)につい	τ
演党	← 目 △ (信	全川刑コ:	マュニ	ティスクール)	\cap		会議	の委	員構成	戈			0	ボラ	ンティアのリストが	ある			
) (土口)	KRA (II	1711 -z. -	\ <u></u>	/ 1/1/ /* /	Ī	市町村		0			弋表			• •	ンティアの団体が		()= (0-1		
学校;	- - 	_	- -, ーテ	ィ・スクール)		公民館		0		`A代		\circ	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会があ	る	
子仅。	里呂 协成	云(一、	ユー / 	イ・ヘシニ <i>/</i> レ /	地場	成コーディ 学校協働	ネーターや 活動推進員			· 教頭 校職	i以外の 員	0		ボラ	ンティアの方を対	·象とし	た研修会	がある	
						[その他	の委員]	※具体	的な	ひ職/	名を記入		学校と	点.働	する様々な団体	i de Loft-con	ーディネーター	1	
名称	1 7.	ドェっユ	++	- ノカ 全議								Ì	や地域	との	連携調整を行う	地吸一-	ーティネーター	1	人
称	<u>し</u> も	しよつコ 	・ルッ u 	とイカ会議									職員以	外に	いるか(それぞ	動推:	学校協働活 進員(教育 会の委嘱を けた者)	0	人
会	坐		人左口	・全体会 _並 ・学校支		季 員会		4月1 5月1			月15日 月 5日				ーディネーター		教育委員	員会職員	
開催	数 1	0 回	今年月開催1	・文化ス	ポーツ専	門委	員会 ⋯	8日	10月	月12日	ŀ			ストより選択)		-			
(予)	定)		(予定	・キャリア・健全育			月 9 日				(その他を選択し ・役職を記入)	:	地域連携	担当職員					
				運営委員会	会またに	は学校	運営協	議会	の協	議	内容及7	にす	也域と	劦偅	した活動状況	ł _			
学校装	改育目標			まとたゆみな の向上(知)		一所を :かな心			:開く」 :身の:			5							
子仅有	以月口1示)	*					<u> </u>			,								
た育て	共有され たい子ど の姿	② 自	他共	手で未来を切 に認め合い? も誠実に精-	温かな人	、間関係	系を築け	 る生徒			_								
運営	委員会ま	たは学校	交運営	委員会での	協議内容	(本年	度もしくに	ま昨年	度)				t	也域	と協働した活	動状	況		
1 上	:記の「は	也域とま	共有さ	れた育てた	い子ど	もの婆	き」につ	いて	\circ		~4+~] . 근	12:-	·	*;	. ⇒⊐ [44 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	トナコ	- + +-+	・、フ 184	
				支援につい					0	1	の姿」が	共	有されて	てい					
3 地	域の実	情や課	題に	ついて					\circ	2	地域の			夏に	ついて学校とボ	ラン	ティアで、	情報共有	
4 子	どもにと	ごんなま	也域員	貢献ができる	うかにつ	ついて			0	3	ボランラ	イブ	アの方の		場所や交流ス〜 目的で使用する				
									+	H						才	ボランティア	50	,
5 教	職員の	任用に	関す	る一般的な	要望に	こつい	7			4	協働活 人数	動	に参加	11/	とボランティアの		登録者人数 ≥+n+₹スエ゚。ご	อบ	人
											八奴						参加者延べ 人数	70	人
	登下	で校の見	上守り	読み	4聞かせ	0	児童会	₹、生	徒会		クラブ	、部	活動	0	給食		休。	外時間	
		清掃			ICT		学習ポ	ジランラ	ティア		総合的 時間	な引 引支		0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		後教科・ 験学習	0
地地		日・長期に 斗・体験学			伝統文化 こ係る活		子ども: カフェ	食堂(こ .)とのi			防災学習				遠足·登山		キャリア	教育(職 を含む)	易〇
学		人権教育		国	際理解			託児											
域学校協働活動の概要	学校・家庭・地域の協働した取組紀――――――――――――――――――――――――――――――――――――	下條歌	7舞伎	の学習(6/	3~10/	113)		職場	体験	(8/	30~	9/	71)		中学生村づ	くり意	意見交流	÷(7/	11)
	例	一床叭	9年1又	.0/十百(0/	5 -10/	10)					h O Bo se				十十工作 フ	ヘンル	3.允又(加)	云(1)	11/

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

毎年1学年で行っている下條歌舞伎に関する学習では、下條歌舞伎保存会の3名の方に来校していただき、6月~9月のほぼ毎週金曜日に、1時間ずつ演目の「菅原伝授手習鑑~寺子屋~」の第3場面の台詞練習をご指導いただいた。台詞練習については体育館や総合学習室を使い、暑さの厳しい時期は空調設備のある教室で行った。成果としては文化祭での発表へ向けて、生徒は保存会の方々にファックスでインタビューをし、歌舞伎保存会ができた経緯や活動内容、悲しかったことや嬉しかったことなどをパワーポイントにまとめ発表することができた。また、それ以外の生徒もインターネットにより歌舞伎に関する歴史、衣装、隈取り、舞台について調べ、パワーポイントにまとめ発表することもできた。演目の台詞については、最初は生徒も大きな声を出したり、抑揚をつけて表現することに抵抗があったが、保存会の方々の粘り強いご指導により、生徒たちの表現力は次第に高まり、休み時間や授業の合間に級友同士で歌舞伎の台詞を喋っては楽しんでいる様子も見られるようになった。文化祭でも生徒は精一杯の表現力を披露できた。さらに最後の感謝の気持ちを伝える会では、生徒一人一人から歌舞伎を通じて学んだことや感謝の言葉を伝えることができた。課題としてはコロナ禍のため、所作を付けた演目の発表を体験させられない点である。

学	校の	概要	学	校名	売木	村	立	売木「	†		学校	当	校長	濵	中浩				児童生	上徒数	16	名
							「地域	丈と共	にある	学校	づくり	^ر	向けた	:仕	組につ	いて						
				Ė	学校運	営に必	要な支援	に係る	協議の	場					ボラ	ランテ	ィアの組織化(均	也域的	学校協働	本部)(こついて	
潘,	分禾 (昌会(信	≑ ././.₹	刑コミュ	ーティ	スクール)			会證	髪の委	員構成	戊			0	ボラ	ンティアのリストカ	がある	5			
連	与女儿	e de (le	17112	王一ヘユ	ー ノイ・	~> /v)	Ī	有町村	教委	\circ	自治	会	代表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアの団体が	ぶある	5(組織化	とされて	いる)	
兴+	六二字	当协業	△ (·= .	スクール		公民館	代表	0			表	\bigcirc	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	及交換会	がある		
					-/1·	~9 —)V	地坝	コーディ学校協働	ネーターや 活動推進員			· 教母 :校職	頁以外の 員	\circ		ボラ	ンティアの方を対	才象と	した研修	を会があ	っる	
	うるき	ぎっ子に	芯接	団			[その他	の委員]	※具作	体的な征	殳職	名を記入		学校と	協.働 ∽	ける様々な団体	11.14			0	-
名															や地域	えとのi	連携調整を行う -ター等が学校	地東:	コーディネー	-9-	2	人
称															職員り	<u>以外</u> に	いるか(それぞ	地域動物	学校協働 推進員(教	動活 7音		
															れ	の人	数を記入)	委員	会の委引			人
2	会議			<u></u>		D5/24 D12/7											ーディネーター ストより選択)	公民	館職員(2	公民館長	公民館	主事)
屏	催数	女 2	2	回開	1 /2											~	(その他を選択し					
(-	予定			(1	/足)												・役職を記入)	公臣	民館主事	F		
														ぴ	也域と	恊働	した活動状況	兄				
学村	交教育	育目標	Γ	自分	から	しよう	とする	うる	ぎっ-	子」(の育	成										
			. ピ	5 /\l	一白月	きが柱	ナスフ.	じょ	<u>, 7</u> L-	△±	日なさま	- ا	2 h Z -	7. L	\$ \							
		有され い子ど					てる子。 れる子。						れる ⁻ 相手			>h	る子ども					
	もの	姿		- J.	- 1547.	T- C # 3.	,,,,,		12	-	.,,	- \	,,,	<u> </u>		.,, •	3, 20					
運	営委.	員会ま	たは	学校選	軍営協	議会での	協議内容	了(本年	度もしく	は昨	年度)		1		1	地域	と協働した活	動	犬況			
1	上記	己の「坩	也域	と共有	でれ	た育てた	とい子ど	もの婆	ミ」につ	いて	0	1	学校と	ボラ	ンティブ	アで_	上記「地域と共	有さ	れた育	てたい	子ども	
2	(さくいつ。 ボランテノアの主の早根託わな液スペースが学校内になる																					
3	3 地域の実情や課題について 2 地域の実情や課題について学校とボランティアで、情報共有 できている。 4 子どもにどんな地域貢献ができるかについて 3 ボランティアの方の居場所や交流スペースが学校内にある。 (専用の部屋や他の目的で使用する部屋との兼用でも可)															\circ						
4	# すどもにとんな地域負制ができるがについて																					
_	±4.4 m²	外旦の	HE	四) マ 日日	ートフ	ал.А. -З	ショニ 七日) マ	1	_				協働活	舌動	に参力	ロした	エボランティア				80	人
Э	乳事	以貝の	仕と	† (こ)判	195	一月又日ソイ	よ安全に	۰ ۷۷ ۳				4	人数						参加者延 人数	ベ	40	人
		登下	校	の見守	9 (う 読	み聞かせ	. 0	児童:	会、生	E徒会		クラフ	が、音	『活動		給食			休み間	持間	
			清	掃	()	ICT		学習は	ドラン	ティア			内なっ間支	学習の ・接	0	コロナウィルス対の消毒・清掃		7	放課後 体験学		0
爿	1			期休業 験学習		地域の	D伝統文化 に係る活動	iの 動	子ども カフュ	食堂 c)との			防災学				遠足·登山				育(職場	0
与	<u> </u>						際理解	-		託児										,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,	
村技	対																					
賃	協働。家																					
		庭 ・ 地	Living.	- 100			20 2			An		-4	No.					4	Mr a	15		
相要	, ,	域 の	1		161	13.	New York	7	1	1 185			1					è	FA SI		12	10
戛	Ē	協 働	n	如				1			-		W									
		した取										1		3	1 15			1		107	7	X
		和 組 例		(1)盆	踊り終	東習(7月	11日)			(2))西駒	登山	山(8月3	30日)		(3)お	話0	の会(9	月16日	1)	
	(1)盆踊り練習(7月11日) (2)西駒登山(8月30日) (3)お話の会(9月16日) 代表的な協働した活動の取組例 (上の写真の3つの取り組みの中から1つの活動を選択し、活動の内容を教えてください)																					
	TE-√r	200	5/1	» ~ 1 ×			で 当し									7	生秋ん くくにさ	いり				

(2)盆踊り・売木音頭の練習

内容: 売木村の伝統行事である盆踊りと売木音頭の踊り方を、村の方に直接指導していただく場所: 売木小中学校体育館 誰と: 村の音頭取りの方々3名成果や効果:

の表で効果: ①売木村の伝統に触れる機会 ②村の一員としての自覚を高める機会 ③山村留学生やIターンのご家庭は、コロナ禍で盆踊りも実施されてこなかったため踊りを詳しく知る機会

学校(の概要	学校名	天龍村	立。	天龍中	1		学校	当	校長	塩	澤孝仁				児童生徒	数 12	2 名
				「地域	と共に	こある	学校	づくり	J^	向けた	:仕	組につ	いつ	C				
		:	学校運営に	必要な支援に	に係る協	協議の	場					ボラ	ランラ	ーィアの組織化(は	地域学	校協働本語	邸)につし	て
運営委	員会(信	:州型コミュ	ニティスクー	·ル) 〇			の委	員構用				0		ンティアのリストカ				
				市	町村都		0			代表	0	0		シティアの団体な			/	
学校调	『 党協議	会(コミュニ	ニティ・スクー	21.1	:民館作		0		`Af		0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会があ	る	
1100	E III WARA	A (- \	-24 212	10.00	ューディネ・ 校協働活		0		教頭 交職	以外の学 員	0	0	ボラ	シティアの方を対	才象と	した研修会	がある	
天	龍学校C	S運営委員	員会	[4	その他の)委員]	※具(本的な行	 少職	名を記入								
b				教育	長職務	6代理、	社会	教育	委員	Į				する様々な団体 連携調整を行う	地域コ	ーディネーター	1	人
名 称														ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ	地域生	学校協働活		
														数を記入)		進員(教育委 の委嘱を受	0	人
			le Baa												V	ナた者)		
会静	É	会	年度 5月11	日、2月2日										ーディネーター Jストより選択)	教育	委員会職	員	
開催	数 2	2 回開	催日															
(予知	<u> </u>	(-	予定)											(その他を選択し ・役職を記入)	社会	教育委員	長	
			運営委	員会または	学校订	軍営協	議会	≩の協	議	内容及	ζĶŧ	也域と	な 価	した活動状態	₹.			
			自ら学び、自	ら行う生徒														
学校教	· 古日			善を求める生 わやかな生徒														
子仪的	(月口伝	' \$不/石 」 /	_\&U\\	42 (13 '431)	C													
		神様を	かみもります	切にし、地域	: 1071 10.	~17 ta	てるし	・ ナマカ	- 往									
				協働的に取り						徒								
	の姿																	
運営委	き 員会ま	たは学校選	運営協議会で かんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	での協議内容	(本年)	度もしく	は昨	年度)				ţ	地均	はと協働した活	動物	沈		
1上	記の「掛	九域と共有	言された育っ	てたい子ども	の姿!	につい	ハて	\bigcirc		NATE: Y				5				
\vdash					, , , , ,				1			ンティア 有され゛		上記「地域と共 ^っ る。	有され	に育てた	い子ども	, 0
2 学		への必要	な支援に	ついて				0		- 12								
3 地	域の実	情や課題	瓦について					\circ	2	地域のできてい			夏に	ついて学校とオ	ジランプ	ティアで、1	青報共和	
4 子	どもにし	ぶんけい地も	まる はっぱん でいかま かんしん	きるかについ	ハて				3	ボラン	ティ	アの方の		場所や交流スペ				
I 1	C 01CC	- 70 · & × E	X 只 Ⅲ/// ℃	C-0// (C)(9	(専用の	の部	屋や他	の目	目的で使用する		との兼用で ドランティア	*も可)	
5 数	離昌の	4.田に思	オス― 船台	りな要望につ	コムて				4	協働活	舌動	に参加	11/	たボランティア		登録者人数	30	人
3 3	(概員 ジ	上川に医		がな女主に	JV . C				4	人数						診加者延べ 人数	15	人
	群下	校の見守	:n	読み聞かせ		児童会	全	: 徒会		クラブ	产业	『活動		給食			み時間	
			´ 		+							学習の		コロナウィルス対	策		後教科•	+
	+ =	清掃 3·長期休業	£ 14h	ICT 域の伝統文化の	7	学習オ				時	間支	援	\circ	の消毒・清掃	r	体具	験学習 教育(職	1 8.
地 域		斗•体験学習			カフェ				防災学	習(避	難訓練)	0	遠足•登山			を含む)	- ³	
学	J	人権教育		国際理解			託児											
域学校協	学校			To Vice	1	1 P	-		160	013	N	-	1		1	BELL	Kar	2
働活	家		-88					10	A			9	0		1			
動	庭 地			160					-				(2			year
の概要	域の				1		M											
要	協働		- W	一种	4			4		A		DOM:						
	した		and the				A	4	3			1	3	1	4			= -
	取組	7	を摘み(5月	9月)	ng to fast	羍	在夕	ころかっ	あし	講座(g 日	23日)	W.	林娄	(休眠	食(10月25	(日)	
	例	7	1711月67年(67日)	<i>О Н)</i>		时代	木汀	~~~A U	×) (叶/土(シバ	20 H /		7个未	- r十号	くしてノコ 石む	, H /	
					4	代表的	な協	働した	:活!	助の取締	祖例							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

林業体験におけるの地域産業体験学習

株実体験におけるの地域産業体級子育 キャリア教育の一環として地域に根ざした産業を体験する学習。林業体験では地域の林業従事者を講師にお招きして、間伐、製材、加工の体験を3年周期で行っている。今年度は間伐を体験する年にあたり、学校近くの学有林へ行き、間伐体験を行った。3学期は、間伐して小さく輪切りにしてきた木材を使って、鉛筆立てやコースターなど、簡単にできる作品製作を実施する予定。生徒はこれらの活動を通して、職業観や勤労観を育むと共に、職業人との交流を通してその人の生き方の魅力に触れたり、地域の林業について考えたりして、自らの生き方や学び方についてまた。 て考えることができた。

学	校の	概要	学	校名	3			立泰	阜口	Þ		学校		学校县	ŧ	飯島	政材	尌		児童	重生徒数	39	名
							Γ	地域と	共	こある	学材	交づく	נו	へ向に	た仕	:組につ	いい	τ					
					学校	交運営に必要	更な	支援に係	系る	協議の	場					ボ '	ランラ	ーィアの組織化(対	也域:	学校協	協働本部)(こついて	•
運	李昌	 	計刊	型コミ	ュニ	ティスクール)	\cap				きのま	委員構				0	ボラ	ンティアのリストか	ぶある	3			
Į	122	Z A (III	1/11-			, . [Ŭ	市町		教委	0		_	会代表		0	_	ンティアの団体か		_ (-)		いる)	
学村	河面	対協議	会(コミュ	ニテ	ィ・スクール)			4	代表	0			A代表	0	0	ボラ	ンティアと学校の	情幸	银交換	会がある		
								地域コー 地域学校	ディイ協働活	ベーターや 舌動推進員	\circ			教頭以外 交職員	7)		ボラ	ンティアの方を対	象	とした研	研修会があ	つる	
	泰阜	コミュ、	ニテ	ィー	スクー	ール				2.2 12			,, -	:職名を言	己入	学校と	と 価	する様々な団体					
名								・有識・主任!		山村留: 委員	学施	設代表	ĘŦ	生事)		や地域	との	連携調整を行う	地攻	コーディ	ネーター	4	人
名称								•社会	教育	委員長		, — —						ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		成学校! 惟進員			
										援隊代 育て支援		•保育 《相談》		テトリップ からない かっぱい かっぱい かっぱい かいし かいし かいし かいし かいし かい	三事)	ħ	の人	.数を記入)	委員		委嘱を	8	人
						運営協議	会3							R5 2/		中心的	なコ	ーディネーター					
	҈議 催数	. .	5		今年』 開催	定定												リストより選択)	教育	育委員	会職員		
1	定))		(予定	·) 応援隊会	議2	日間 6	/9	実施		R	5	1/24	予			は(その他を選択し					
						定	A -L					A - 1			2			・役職を記入)					
			キシ	いわト	-A =							-	场员	養円谷	及び	地域と	協價	した活動状態	元				
きわめよう 泰阜らしさを 「信頼」「錬磨」「寛容」 学校教育目標																							
	*心を込めて取り組み、思いを表現しながら、人や地域に貢献できる生徒																						
	型域と共有され」・自分のよさと友のよさを理解し、切磋琢磨しながらそれを伸ばそうとする生徒 と育てたい子ど、自体の含さた切にし、思いないのとなませた。人物感覚が真い生徒																						
	『咽ど来有され』、白八のトナしたのトナな理解』、打成皮癬」ながらなわな仲だならしてと生まれる																						
運	電営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																						
1	運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 1 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について ○ , 学校とボランティアで上記「地域と共有された育てたい子ども															7 132							
2	₩ ₩	(宝兴	(D iV.	m <i>4</i> >	士控につ	17									ンティ 有され			用さ	オレバニ	育(たい	十とも	0
						:支援につい	, (1	lih la	の生	生め細	1百1ァ	ついて学校とオ	, :-, ·	(一)	マベ 桂:	却业去	
3	地域	の実	情々	や課	題に	ついて						C)	2 でき	ている)。							
4	子ど	もにと	ごん	な地	域員	貢献ができ	るか	につい	て			C)					場所や交流スペ 目的で使用する					
														₩₩	小千重	加ァ会力	ר וח	たボランティア	σ		ティア 皆人数	50	人
5	教暗	員の	任月	用に	関す	る一般的な	要!	望につ	いて					4 人数		J(C >> /)	μСΙ	CM/2/11/	0)	参加者	貴延べ	80	人
	<u> </u>	71/								10 de .		1. 41. 4	4	+				/A A		人数	//		
	L	登下		の見 '	子り	読	4聞	かせ	0	児童会			+			部活動	0		L-0:00:	igspace	休み時		
			清		VIII.		ICT		0	学習は					かな 時間す	学習の を援	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃			放課後 体験当	全習	
地位	}			期休 験学				記文化の る活動	0			:(こども D連携		防災	学習(暹	推訓練)		遠足•登山		3	キャリア教 [・] 体験を含		0
学	数科·体験字音											1											
杉材	:	学		-1	4	8	7//	11/1		4		*		1	25			公民館芸能発表	A	-	REP.		•
負		· 家		-	2																		
重	動																						
の 概 の													ı	1					7	1	LA ST		
要	<u> </u>	カ 弱 動	9			7 46					1		١.					A PARTY		3/		型	
		#/ - -				K	1					1				16				BAN		186	
]	取 組 _→	ンナ	ゴルー	ークラ	ブの読み聞	カル	上(年8回	1)	休	: 杳:	武道の) 邦	受業「弓	· 道 (10月)		公民館芸	能图	後表 4	会参加(11/3)	
		列	· /	- / *		> -> H)/I././Hd	,,,	- () OE						活動の				ムスなり	נייוניו	U 24 7	ムシハロ(.	.1/ 0/	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

【弓道学習】

- 【号道字智】
 ・2012年から武道が必修化されたことを受け、毎年、保健体育の学習として村内で盛んな号道に2、3年生が取り組んでいる。
 ・体育館で基本を学び、15メートルほどの距離から射る練習を重ねる授業を経て、3年生は総仕上げとして最後の授業を村内の弓道場で行った。(上記の写真は弓道場での様子です)生徒と一緒に体験する職員もいる。
 ・前村長をはじめ、村の有段者が指導してくださっている。今年度は4名の方にご指導いただいた。
 ・礼儀作法から始まり、自らを鍛錬するきっかけとなった。生徒たちは落ち着いた雰囲気の中、真剣な表情で的を見つめ、背筋を伸ばし懸命に弓を引いていた。大変貴重な時間である。
 ・毎年行っているこの授業をきっかけに、高校の部活動で弓道を選択し活躍している生徒もいる。

学	交の	概要	学	校名		木村	立	看			学校	<u> </u>	 学校長		Ī	武夫	丰 利]博		児童	生徒数	178	名
							「地域と	:共	こある!	学校	さづくり	^ر	向けた	仕	組につ	しい	τ						
				学	校運営	に必要	な支援に	系る	協議の	場					ボラ	シフラ	「ィア(の組織化(均	也域学	学校協	働本部)	について	
海位	4 禾	昌今(信	ᅰ표	リーミュー	ティフィ	ケール)	\cap		会議	長の委	€員構E	戊			0	ボラ	ンティ	ィアのリストカ	がある	5			
Æ	1女)		7113		-7 420	, ,,,,	市町	丁村	教委	\circ	自治	会	代表	\circ		ボラ	ンテ	ィアの団体だ	がある	5(組織	は化され つ	ている)	
学は	2:13	学协議/	<u> </u>	73	ティ・マ	カール)	-	4	代表	\circ			大表	0		ボラ	ンテ	ィアと学校の	情報	及交換	会がある	1	
7-1	使	□ 000时交。	A (-		/ 4 / 2	, ,,,,	地域コー 地域学校	ディネ 協働活	ベーターや 舌動推進員	\circ		· 教母 :校晴	頭以外の 裁員	\circ		ボラ	ンティ	ィアの方を対	対象と	:した研	肝修会が	ある	
	喬木	中学核	泛 崇	之校運営	営協議:	会	_			※具	体的な行	殳職	名を記入		学坊い	カ届い	ナスド	美々な団体					
名							,-		童委員 沚協議:	수수.	長				や地域	との	連携	調整を行う	地域:	コーディス	ネーター	2	人
称							○スポ	ニーツ	/指導者		K							-等が <u>学校</u> か(それぞ		学校協			
							○地域		表者						れ	の人	数を	記入)	委員	推進員 会の多	長嘱を	0	人
			T		第	1回 6.	月 9日								由心的	たコ	ーデ	ィネーター		受けたる			
	議			今年	度 第2 第3	2回 10	月13日 月22日											り選択)	公民	館職員	(公民館長	浸・公民館3	主事)
	催生			回 開催) <u> </u>	/122 H											他を選択し	ΛΕ	是館長	<u> </u>		
															た場合は					√ EÞ 1×			
			0.4				•	•••						びt	也域と	劦偅	加した	:活動状》	兄				
学村	を教う	・生きる力の育成																					
•	○自主・自律 ・声を出し、汗を流し、心を動かせる 喬木中生徒 校教育目標 ・地域で生き、地域から学び、地域を生かす ・生きる力の育成 の生涯、共に学び、誇りと愛着をもったグローバルな人材を育むむら																						
	・地域で生き、地域から学び、地域を生かす ・生きる力の育成 ・地域で生き、地域から学び、地域を生かす ・生きる力の育成 ・地域でまされ、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では																						
	学校教育目標 ・地域で生き、地域から学び、地域を生かす ・生きる力の育成 ・生きる力の育成 ・地域と共有され、地域を重ないます。地域の強力とようないに対することで、地域の強力とようないに対することで、地域の強力とようないに対することで、地域の強力とようないに対する。																						
地域と共有され ・地域行事に関わり共に学び合うことで、地域の絆やふるさとに対する誇りと愛着を育みます。																							
1	┝≢	700 T #H	1 献.	レ北右	さわた	杏てた1	ハ子どもの	ひ谷		レノて													
_								73](C)	•		1	学校と					「地域と共	有さ	れたす	育てたい	子ども	\circ
2	学村	交運営	∼ σ.)必要7	な支援	につい	7				0		- \ -										
3	地垣	成の実	情や	課題	こつい	て					0	2	地域のできてい			夏に	つい	て学校とオ	ドラン	ノティ	アで、情	報共有	\circ
4	子と	きにと	んれ	な地域	貢献か	ぶできる だ	かについ	て			0	3						や交流スで使用する					
											1							- 2 4/ 17 / -		ボラン	ティア	40	人
5	教耶	銭員の位	任用	に関っ	する一	般的な	要望につ	いて				4	協働店 人数	古虭	(に参加	117	こホ	ランティア		登録者 参加者			
													7 (2)(人数	~=	60	人
		登下	校の	見守り	0	読み	聞かせ		児童会	会、生	上徒会	0	クラブ			0		給食			休み	時間	
			清排	帚		I	CT	0	学習は	 ラン	ティア	0	総合的時	りな。 間支		0		ナウィルスダ)消毒・清掃			放課後 体験		0
地				期休業 験学習	0	地域の伝継承に	- 統文化の 係る活動		子ども: カフェ				防災学習					遠足・登山	_	3		育(職場	0
均学材括 價			権			国際		託児												<u> </u>			
杉材	•	学 校	-	-	Sales -	-/-			1				COL	H						-			A
負		家			and A			100												me e			
注 重		庭		15	Mark.				-				7	C									
O.		地域の		50	A				-						\$ #						100	1	
要	概要 協 協																			7			
	J	した	-			-	*			1	1	4		Nº			4			3	1		
		取	100	授 型	- 古坪	(7月13日	7)		- 10	14部	温 休 縣	一	習(7月	201	H)			垣が	休殿	学型	7(7月5	日)	
		例		汉未	××1万	(1711)	<i>⊣)</i>		华丰的				白(八月動の取締					田作工	一沙	· 十 E	(1月)	H /	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

○職場体験学習

7月に2学年で職場体験学習を実施した。その活動支援として地域の方々に関わっていただいた。学校で、生徒たちが希望する職種を調査し、その希望をコーディネーター(公民館長)に伝えることで、コーディネーターがその希望にあった職場と交渉し、職場体験学習の活動支援を受け入れてもらった。コーディネーターに関わってもらったことで、地域にある職場と生徒とが繋がることができた。職場の方からは「このような活動を通して故郷である喬木村にある事業所を知り、社会人になった時に喬木村に戻って働いてもらえると、大変うれしい」という感想をいただいた。新型コロナウイルス感染症感染警戒レベル上昇のため、1日(本来は3日間)しか実施できなかったが、生徒たちは職場体験学習を通して、働くことや社会人となることについて深く考えることができた。

学校	の概要	学校名	豊	上丘村	<u> </u>	豊	上丘中		学校	学	栏校長		į	人保	田みどり		児童	生徒数	205	名
					「地域と	:共(こある	学校	づくり]^	向けた	:仕	組にて	いい	τ					
		j	2校運営	に必要な	支援に	系る	協議の	場					ボ	ランフ	ティアの組織化(地	域等	学校協	働本部)	について	
運営を	·昌 <i>△ (信</i>	州型コミュ	ーティフィ	7-11			会議	の委	員構反	戈			0	ボラ	シンティアのリストが	ある)			
建呂多	で見去い言	が一型コミユ、	ーノイへジ	7—70)	市町	丁村:	教委	\bigcirc	自治	会	代表		0	ボラ	シンティアの団体が	ある	(組織	化されて	いる)	
32¢ 1-1-25	3.34.14.34	A (.	公月	と館/	代表	\circ	PΤ	`Af	表	\bigcirc	0	ボラ	シティアと学校の	情報	交換名	会がある		
字仪週	基宮協議	会(コミュニ	・アイ・スク	グーバ)			ベーターや 舌動推進員	0		· 教頭 校職	頁以外の 注員		0	ボラ	シンティアの方を対	象と	:した研	F修会があ	らる	
								※具体	本的な征	ひ 職	名を記入		学校と	切価	する様々な団体					,
名「豊	身斤村コ:	ミュニティー	-スクー,	ル・地域学	社会教	育	委員 委員						や地域	えとの	連携調整を行う	地域=	ューディネ	ベーター	3	人
称		岛働本部 ji					が課長	Ę							ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ	地域	学校協	働活		
															、数を記入)	委員	推員(会の委	:嘱を		人
			第一	一回 令和	┃ 14年 7月	8日	(金)						H-2.6/		ーディネーター	Š	をけた者	f)		
会請		今年	宇宙 第二	二回 令和	14年10月	16 E	(木)						の立	Jなー 場(!	リストより選択)	公民:	館職員	(公民館長	公民館事	È事)
開催			崔日 第 - 定)	三回 令和	15年 37	1							具体的力	2.役職	哉(その他を選択し	++> -	- LL/	~ ==		
(1/			,												・役職を記入)	豊」	上村公	:民館長		
			運営	委員会	または学	校	運営協	議会	会の協	議	内容及	び±	也域と	協賃	した活動状況	2				
シャン・マ	- 七 口抽	ハカナー	2.4 4	-1 4.4	ナノナ [†]	1 +	0.0	. - 1 1	4											
字仪率	学校教育目標 ゆたかさ たしかさ たくましさ つつましさ http://dx.a.s.																			
地域と	也域と共有され																			
た育て																				
	ってたい子ど 地域を知り、地域の方々との交流や地域のつながりの中で学びあい、夢・希望・ほこりを持てる豊丘の子もの姿																			
運営	もの姿 軍営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																			
1 上	記の「批	也域と共有	iされた	育てたい	子どもの	の姿	ころについ	いて	0	1					上記「地域と共石	有さ;	れた育	育てたい	子ども	
2 学	校運営	への必要	な支援	について	-				0	1	の姿」か	共	有され	てい	る。					
3 地	域の実	情や課題	につい	て					0	2	地域の できてV			題に	ついて学校とボ	ラン	/ティブ	アで、情	報共有	0
\vdash	びも、にし	んな地域	計量がか	バできろか	ルテつい	7				3	ボランラ	テイ	アの方		場所や交流スク					H
. I	C 01-C	. /U·&+111·9	K MN//	- C C. NW	·(C) v					J	(専用の	D部	屋や他	1の	目的で使用する		量との う			Щ
5 教	職昌の	任用に関	ナス	処めを更	ヴァ〜	1.17	_			1		動	に参加	11 L	たボランティア				26	人
り叙	概良い	上川 (二円)	90	7000000000000000000000000000000000000	・釜にっ	V · (-			4	人数						参加者. 人数	延べ	100	人
	群下	校の見守り	b 0	読み間	かみ	\cap	児童会	-> 生	: 往 仝		カラブ	· 辛	『活動	0	給食	Ħ	八奶	休み間		П
	<u>⊅</u> . 1					\cup					総合的				コロナウィルス対	策		放課後	* *	
⊥ µh	+ F	清掃 ・長期休業		IC 地域の伝			学習ボ				時	間支	援	\cup	の消毒・清掃	-	#	体験学	学習	0
地 域		- 皮易你果 - 体験学習		継承に係	る活動	0	カフェ				防災学習](避	難訓練)		遠足•登山		٠,	体験を		0
域学校協	J	権教育		国際:	理解		i	託児								Ì				
協	学校								e file				į.					800		
働	· 家	8 20	1						THE REAL PROPERTY.		TO LA									
働活動	庭・			174					1 2			n			en.			-		
の 概	地域の															_		1	17.1	
概 要	協働								21.5	7			4						100	
	した									1	-	1				-		THE REAL PROPERTY.		
	取组	の年ルク	油油状	乍業 (4月	20 🗆)			上車	フ・ニー		ェア(6月	1 20	0 0)		9年批測公	公兴	羽士	+平(10 F	196日)	
	例	2年リン-	△ 1問 1匕 1	作来(4月	28日)						ェノ (6) 助の取 制				3年放課後	2 子	省人	抜(10)	3 ZO p /	
			(上の2	写真の3つ	の取り	組み	の中か	で 511	國のた	動	も選択し	人法	「 動の「	内容	を教えてください	(۱,				

- 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)
- ・3学年では、1学期の終わりから地域のボランティアの先生方にお世話になり、豊丘みらい塾として、水曜日の放課後と土曜日の午前中にお忙しい中を生徒のために時間を作っていただいて、毎週学習の指導をしていただいています。
- ・水曜日は、英語1、理科2、土曜日は数学1、社会1の4教科5講座を開設し、英語2名、理科2名、数学2名、社会1名の計7名の先生方にお
- 世話になり、水曜日は中学校、土曜日は村の「ゆめあるて」を会場にお借りして実施しています。
 ・講師の先生方から熱心に指導していただいて、生徒の学習意欲も向上しています。また、時には先生方が自作の資料やテキストを準備していただいたり個別に丁寧な指導を対応していただいたりして、大変ありがたいです。
 ・今年度の夏休みには、5日間でしたが「サマースタディ」として、全学年の学級を対象に、午前3時間を質問したい内容についてご指導いただ
- きました。

学	交の	概要	学校名	大鹿村	寸	立大	鹿口		Ä	学校	学	校長	林	淳子			J	見童生徒	数 13	名
						「地域と	:共	こある	学校~	づくり	_^ [向けた	c仕	組につ)().	7				
			!	学校運営	に必要な	支援に係	系る	協議の	場					ボラ	ランラ	ティアの組織化(地	域学	校協働本語	邸)について	7
運営	(委	員会(信	言州型コミュ	エニティス	クール) (の委					0		ンティアのリストが				
7.	, , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			市町		教委	0			大表		0		ンティアの団体が	-		-	
学杯	〉演	並協議	会(コミュニ	ニティ・ス・	クール)		4	代表	0		`A代		0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報な	を換会があ	る	
1 1	·×-	iii (20) μ3Χ.	4 (2.1.4.5	, ,, ,			ベーターや 舌動推進員			· 教與 :校職	[以外の 員	\circ		ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会	がある	
	大旗	訂村の	学校協力	隊」		[その	の他の	の委員]	※具体	的な行	殳職 4	名を記力	(学校し	カ届	する様々な団体				
名														や地域	との	連携調整を行う	地域コー	・ディネーター	1	人
称																ーター等が <u>学校</u> _いるか(それぞ	地域学	校協働活動		
														ħ	の人		推進員	(教育委員会を受けた者)		人
		1		4月	6日、10	月24日、	2月	17日						由心故	1727	ーディネーター				
	議	.		午度												リストより選択)	教育才	\$ 員会職員	l	
	催数 文定		3 回開	催日 予定)										具体的な	2役職	桟(その他を選択し	ᄉᄆ	於 十事		
, ,																・ (文献を記入)		館主事		
											議区	内容及	∵U‡	也域と	協價	した活動状況	?			
学坛	s 払h =	4日 1年	心も体も(1 多様**	建康で、	自らの殻を	・破って	自立	できるり 徒			/ 老・	ラ 白き	、准	いで学に	ヂゔリ	マオス生徒				
-1- 10	交教育目標 1 多様性を認め、互いに思い合える生徒 2 物事を深く考え、自ら進んで学ぼうとする生徒 3 困難から逃げず、自分と向き合える生徒 大鹿村を愛し、伝統や文化・歴史を受け継いで村の次代を担っていこうとする生徒																			
地域	大鹿村を愛し、伝統や文化・歴史を受け継いで村の次代を担っていこうとする生徒																			
	地域と共有され 大鹿村を愛し、伝統や文化・歴史を受け継いで村の次代を担っていこうとする生徒 こ育てたい子ど もの姿																			
	もの姿 																			
建语																				
1	上言	己の「坩	也域と共る	有された	育てたい	子どもの	の姿	こについ	いて	0	1	学校と	ボラ	ンティブ	アで.	上記「地域と共石	有され	た育てた	:い子ども	
2	学校	交運営	への必要	要な支援	について					0	1	の姿」;	が共	有され	てい	る。				
0	Lih k	4 n 4	た 今細 町	百)ァ へい							2	地域の	実	青や課題	題に	ついて学校とボ	ランプ	ティアで、	情報共有	Î o
3	地址	以の夫	情や課題	見に、フト						0		できて			η F	担定も表法さ	0 5	. 1 > 2 < 1 < 1	コンナフ	0
4	子と	きにと	ごんな地域	或貢献が	ぶできるか	につい	て			0	3					場所や交流スペ 目的で使用する				
												かほい	て玉山	1-54	m) J			ランティア 録者人数	40	人
5	教耶	裁員の	任用に関	する一	般的な要	望につ	いて	-				過剰で 人数	古男	(こ参刀	IIし/	とボランティア	´´	加者延べ		
												, ,,,,			_			数	26	人
		登下	校の見守	± り	読み間	かせ		児童会	≧、生	徒会		クラフ	ブ、音	『活動		給食			み時間	
	Ī		清掃		IC	Т		学習ポ	デン ラ	ティア			的な。 間支	学習の ・揺	0	コロナウィルス対 の消毒・清掃	策		後教科・ 験学習	
地			・長期休業		地域の伝統		0	子ども						難訓練)		遠足•登山		キャリア	教育(職場	
域 学 校 協	-		斗·体験学習 人権教育	理解		.)とのi 託児	里拐								14年初史	を含む)				
核	:	学	CTE-XX FI		国例	生// +		1		110-12		a. 40	a.			***		4.2		1
協働		校								401014										
泛		家 庭									#			15					MA	
動の		地域			5				1		4			4			-5	CE A	A Mal	
概	;	の	A STATE OF	VAV.				de	1	An.		1/1	à.						1284	
要		協働し		The B				1	1			10	-111			14	V.			
		た 取		3		9		100	1/4			M						- 1	-	
		組例	中学校	歌舞伎	公演会(1	0/2)		地	域貢	献ボ	ラン	ティア	(10	7)		林業体	験;	空習(10/	/13)	
		•						代表的	な協働	動した	:活重	かの取:	組例							

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

大鹿村を愛し、村の次代を担っていく生徒を育成するため、300年近い歴史がある大鹿歌舞伎について、総合的な学習の時間を「大鹿タイム」と名づけ全校生徒で学習している。10月に行われる中学校歌舞伎公演会に向けて4月より稽古を重ね、実際に役者や黒衣として大鹿歌舞伎に関わることで、村の文化への理解を深めている。投業には大鹿歌舞伎愛好会の方々が毎回お見えになり、役者の生徒には台間の言い回 しや所作等について、黒衣の生徒には舞台裏での動き等について、村の方々から直接子どもたちへと受け継いでいる。学校の授業に村の 方々が関わってくださることで、伝統文化が着実に継承されていると感じる。

学校	の概	要学校名	根羽林	寸	立根	羽		学	園	学	校長	松	岡一成	Ì			児童生徒	E数	41	名
					「地域と	:共	にある学	ዸ校づ・	くり		向けた	:仕	組につ	いい	τ					
		ij	学校運営	常に必要な	支援に	系る	協議の場	元					ボラ	ランフ	ティアの組織化(坩	也域学	校協働本	部)に	ついて	
運営	委昌 <i>4</i>	会(信州型コミュ	ニティス	クール)〇			会議の	の委員	構瓦	戈			0	ボラ	シンティアのリストか	ぶある				
Į	× , , , ,	(III/III. V-	. 2 - [2 - 1	, ,, ,	市町	丁村	教委 (0 1	自治	会	代表		0	ボラ	シティアの団体か	ぶある	(組織化さ	れてい	る)	
学坛	蛋骨 核	協議会(コミュニ	テルフ	カール)		4		_		Άď		0	0	ボラ	ンティアと学校の	情報	交換会がる	ある		
							ネーターや 舌動推進員			·教頭 校職	I以外の 員	0		ボラ	ンティアの方を対	象と	した研修会	がある	5	
1	ば杉	の子サポート	隊運営	委員会	[その	の他	の委員]※	(具体的	な名	と職 を	名を記入		学校と	カイ かんしゅう ないまい ないまい ないまい ないまい おいまい おいまい おいまい おいまい	する様々な団体	tat. Lab	<i></i>		0	
名													や地域	との	連携調整を行う	地吸口	ーディネーター	1	2	人
称															ーター等が <u>学校</u> こいるか(それぞ		学校協働活	 		
													れ	の人	、数を記入)	委員	進員(教育 会の委嘱を			人
			5月	6日(金)	5月1	9日	(木)]	12月1	5日	(木	:)		中心的	けっコ	ーディネーター		けた者)			
会			年度												ノストより選択)	保護	者(PTA)			
開催			作口()												哉(その他を選択し					
															・役職を記入)					
		16-7-1-1				•••					内容及	びt	地域と	拹偅	した活動状 況	兄				
学校	教育目		艮基(学、	ぶ力)」「自	主(やる	気)	」「敬愛()	思いや	り)_]										
, 12	W117 F																			
	地域と共有され 根羽村に誇りと自信を持ち、「生きる力」を身に付けて、「自立」できる子ども た育てたい子ど まのな																			
	地球と共有され。 た育でたい子ど もの姿																			
海台	もの姿 運営委員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況																			
	要員会または学校運営協議会での協議内容(本年度もしくは昨年度) 地域と協働した活動状況 上記の「地域と共有された育てたい子どもの姿」について																			
1 1	:記0	川地域と共和	すされた	育てたい	子どもの) 妥	こについ	17	\bigcirc	1						有され	1た育て	とい子	こども	\bigcirc
2	之校追	2営への必要	な支援	について					0		の姿]7	が共	有され	てい	ら。)
3 封	1域の	実情や課題	につい	て					\circ	2				題に	ついて学校とオ	ドラン	ティアで、	情報	共有	
\vdash)	-			_		できて			の居	場所や交流スペ	~~;	スが学校	内にあ	5る。	
4 寸	-50	にどんな地域	双貝 脷ん	いいさるか	۱۱۵۰۵۱۱	(\cup	3					目的で使用する	部屋	との兼用			
_ l±z	Lush =	lak mizile	上フ	自用される。まま	七日)ァ 〜		_				協働活	5動	に参力	Dし7	たボランティア		ドランティア 登録者人数	2	20	人
5 発	以職員	員の任用に関	195	版的な要	室につ	(\ (4	人数				,	Ź	参加者延べ		10	人
	5	登下校の見守	9 O	読み臂	カルナ	\bigcirc	児童会	生 往	\triangle		カラつ	ў ±	『活動		給食	-	\数 () 休	 み時	EEF	
	-			10-71.									学習の		コロナウィルス対			果後教		
		清掃 土目·長期休業	0	IC′ 地域の伝統		\circ	学習ボラ					間支		\circ	の消毒・清掃			験学習	習	
地域		本口・反射作業 教科・体験学習		地域の伝統継承に係			子ども食 カフェ)				防災学	習(避	難訓練)		遠足•登山			教育験を含む		0
学		人権教育		国際理	里解		託	E児												
域学校協	学 校		-						m						-			V Val	ALI	
働	家	V	11								FIRST .				ALE ALL	110 mm				
活動	庭								100	7					The same of the sa				l.	
の概	地域の								4-	3			W SE							
要	協働		311	Lis	The L			F.	NB.											
	した							9		and the same of	5	4								
	取組		たた出	5月11	日(小)			あいさ	~≥	雷垂	h Æ F	110) Fl		PTA魚つかる	ルム	$an+\Delta$	7日空	3日(十)
	例	作 月 月 月	」り作業	€ 5月11	口 (小)		代表的な				毎月				FIA黒ンかる	グ思	フリ人芸	1月23	0日(工	.)
			(Fo	写直の3つ	O HV U									力空	を教えてくださ	LV)				

・5月11日(水)に根羽村森林組合の方と南信州地域振興課林務課の方を講師に迎え、椎茸の菌打ち(コマ打ち)作業を行った。作業に入る前に林務課の方から椎茸を含むキノコについての基礎知識や、森林の性質についてお話をしていただいた。その後体育館大走りへ場所を移して椎茸の菌打ち作業を行った。児童達は毎年行っている活動なので原木を運ぶことや、電動ドリルで原木に穴を開けることにも慣れていて、順調に作業を進める姿が見られた。今回は保小連携として保育所の年少の園児も参加したことで、園児に自信を持って教えながら作業をすることで、地域の産業に関わる喜びが増しているようだった。

学	校の	概要	学	校名		長野	県飯田耆	養護			学校		学校長	浦	野 憲	一郎			児童生	徒数	180	名
							「地域。	と共に	こある	学校	きづくり)]/	へ向けた	:仕:	組につ	いて	•					
				<u> </u>	学校運	営に必要な	支援に係	系る抗	協議の場	易					ボ	ラン ⁻	ティアの組織化(地	域学	校協働	本部)に	ついて	
運営	(季)	 	含州五	リコミっこ	ニティス	(クール)			会議	の委	員構					ボラ	ンティアのリストが	ある				
Ą	1 25 5	₹ Δ (II	= /11=		2 -1-	, ,,,	_	丁村					代表				ンティアの団体が				る)	
学お	な活動	分切業	: △ (-	73	ティ・フ	クール)		已館付		\circ			代表	0		ボラ	ンティアと学校の竹	青報る	を換会が	ある		
子化	人生;	当 1000 時效	· 五(-		74.21		地域コー 地域学校					教 校職	頂以外の学 桟員	0		ボラ	ンティアの方を対	象とし	た研修会	きがある		
							[そ	の他の	の委員]	※具作	体的な	役聙	も と 記入		244++ 1 .	L+ 1年L	トッド・ シロケ					
夕															や地域	との	連携調整を行う	地域コ	ーディネー	7	1	人
名称																	·ター等が <u>学校職</u> るか(それぞれの	地域:	学校協働	舌		
															貝///		か記り	動推進	進員(教育)委嘱を受	委		人
Ш			- 1		7	月2日 12	月19日	3.5	予定										た者)			
4	議			今年	F度	, 2 H	7) 13 H	0)	111								ーディネーターの ストより選択)	公民館	官職員(公	民館長	公民館主	(事)
10.00	催数 产定)		3	回開作											E 14-66-7:	シバル 昭然	(その他を選択し					
(.	[作]			(1	/E/												・役職を記入)	公民	館長			
		•			運	営委員会	または	学校	運営協	協議会	会の協	易護	内容及	び均	也域とは	協働	した活動状況					
運営委員会または学校運営協議会の協議内容及び地域と協働した活動状況 持てる力をめいっぱい発揮し、共に学ぶ喜びをもち、明るく心豊かに生きる子どもを、一人ひとりの心身の発達に応じて育てる学校教育目標															てる							
学校教育目標																						
学校教育目標 地域と共有され 自らの良さを発揮し、「今」を精一杯生きる子ども																						
た育	てた	い子ど																				
	もの	姿																				
運営	委	員会ま	たは	学校運	営協議	議会での協	議内容(ス	本年	度もしく	は昨	年度)					地垣	はと協働した活	動状	況			
1	上記	<u>こ</u> の「爿	也域と	と共有る	された	育てたい	子どもの	姿」に	こつい	て	С		学校い	ボラ	ンティア	· で l	:記「地域と共有	ナカ	た杏で	÷1.\Z.	レオ.の	
9	学长	(電子)	~ T	V ⊞ .4	2年校	について						1			されてい		- 記域と共有	CAU	/C 月 (/	_v . 1	C 800	
	子12	、埋呂	· \U_	/少安/	人义(反	(C-)((_	44 kgt 00	生 k	主め細目	ゴ)ァ.,	ついて学校とボラ	3) /=	シマベ	生却	#4%	
3	地域	の実	情や	課題に	こつい	て					С	2	地域のきている		月~~~ 珠虺	₫(⊆*	フいく子(父と小)	///	1) C	1月 年収 :	共有し	
4	子ど	もにと	ごんた	よ地域	貢献カ	ぶできるかり	こついて					3					易所や交流スペ で使用する部屋。				る。(専	
\vdash												H	用の司	座へ	ろ低のド	印力	で使用する部屋の		ボカして			
5	教暗	員の	任用	に関っ	トる一	般的な要質	望につい	て				4		5動	に参加	した	ボランティアの	`⊢	於録者人物	_		人
		., .			,		-						人数						》加者延 人数	<	30	人
•		登丁	「校の	り見守り)	読み間	引かせ		児童会	会、生	E徒会		クラフ	が、音	『活動		給食			休み時	捐	
	-		清	掃	С) IC	T	H	学習ボ			H	総合的	内な:	学習の	\cap	コロナウィルス対	策	方	(課後者		\vdash
地	,	+1		期休業		地域の伝			子ども食			╁		間支			の消毒・清掃		キャ	体験学リア教育	:習 育(職場	0
										とのi 託児	連携		防災字1	首(班	難訓練)		遠足・登山			、験を 言		\circ
数科· 体験字音 継承に保る店動 フェ											ı											
協		按				Anne Market		300	100				A		1				1	W		
働活]	家庭			-			17 0					1 2	40						4		
動]	地					The same	=	7		1							*/		10		
の棚) .	域の			A.				A.	4					1		•		1			
要協働													1113	1						1		
		し た		- 1	1		-	-	6	J.					7				1			
		取组	П	赤素/	+171 -	ボランティ	ア作業		1000	P)	一		とのコメ	作》)			14日/	うとのこ	え作り)	
_		例	Н	小半1	다기 /	いノイノイ	/ 未		** **				- 20017		<i>'</i>		当 层	で小口。口	コ こりノー	ンコトリ	,	

○ 取組の内容(どのような内容を、どこで、誰と取り組み、どのような成果や効果があったか)

小学部5年の学級でJAを通して営農組合の方々とつながり、コメ作りを行った。身近なコメを自分たちで育て、田植え、収穫、脱穀などの作業に取り組むことで、コメができた実感を持つことができた。 また、このつながりをもとにJAから本校高等部に対して仕事の依頼のお話をいただくことができた。高等部における作業学習の幅を広げられる可能

性が見えてきた。なかなかできなかった顔の見える交流、体験が少しづつできそうである。